

くづし字手本兼用

實用手紙上達寶典



婦人倶楽部 附録



身體がほかく温って

風邪も引かないと喜ばれます

淀橋區戸塚町 中島藥局主 中島文路

此頃のやうに厳しい寒さが続きますと、懐爐などを用ひ、どんなに注意して居りましても自然冷え込みますので、足腰が冷えるとか、頭が重いとか、始終湿がはてる程のほせて、まだそれ程のお年でもないのに肩が凝つたり貧血を起したり、眩暈がしたりして、お食事なども思ふ半分も進まず、連も風邪を引き易いので困つて居りますが、何か良いものはないでせうかと云つてお尋ねになられるお客様が澤山御座います。

私の店では今迄の経験から、貧血や冷え込みに悩む斯う云ふ方々へはいつも信州伊那の谷特産、熊澤家傳の養命酒をお奨めして居りますが、誰人からも養命酒を頂くと血行がよくなつて身體がほかく、温り、食事が美味しく進み出し、連も丈夫になつて肥るので、寒中も寒さ知らずに過ごせ、風邪を引かぬやうになると喜ばれて居ります。

弱く息切れるとか、神経衰弱のやうで眠れぬとか、肺や胸が弱いか、産前産後の御婦人等凡て病弱虚弱の方々へ御奨めして、いつもこんなよいものはないと喜ばれ、お丈夫になられてからも續けて召上る方が尠なくありませんが、とりわけ足腰が冷えて夜分床に就いてお却々寝付かれぬと云ふ方々からはお休みになる前養命酒を一杯召上ると身體がほかく、温つて氣持よく安眠出来ると大變感謝されて居ります。

養命酒の評判が年々高くなつて、良く賣れるのは、品質が良い爲、多くの御婦人方が御自分の體験から、御主人や御知合ひの方々にお奨めになると、定價が徳用瓶四圓、大瓶三圓、御常用一圓五十銭になつて居て、滋養強壯劑としては大變割安である爲、誰人も續けて召上り、一方身體のお弱い方々ばかりでなく、お丈夫な方々も根氣と體力が強くなつて仕事に疲れずと云つて召上る方が非常に多くなつた結果だと思ひます。

大ながら手紙にて

不
一

かし
一

二
伸
二
伸

追
伸
追
伸

追
白
追
白

尙
々
尙
々

重
ね
重
ね

御
中
御
中

侍
史
侍
史

右
御
左
右
御
左

御
前
御
前

○あれもこれも拜眉の折にと申し残しました

○お逢ひの上、委細をお傳へ申す可く

○お目もじの日を楽しみに筆を擱きます

○詳細は主人が参上の節に申述ぶべく候

○詳細は主人が参上の節に申述ぶべく候

○具體的なことは後便にて御相談申し上げ度

○只今取急いで居りますので、詳しいことは改めて申し上げます

結びの用語

○敬具 ○敬白 ○頓首 ○敬上 ○草々 ○草略 ○早々

○匆々 ○不一 ○さらば ○かしこ ○かしく ○めでたく

かしこ ○あらくかしこ ○では ○では又 ○ではお大切

に ○以上まで ○さやうなら ○さよなら (目下へ) ○御機嫌

よう ○では、ごきげんよろしく

○お元気で ○元氣でいらつしやい (目下へ) ○お達者でゐて下さ

いませ ○どうぞ皆様おすこやかに ○よくお勉めなさいね

協附、追て書の用語

追て書の用語

○二伸 ○追伸 ○再伸 ○追啓 ○追白 ○追つて ○尙 ○な

ほ ○尙々 ○なほ

○一寸申し忘れましたが ○それからなほ申遅れましたが

○つい失念いたしました ○一寸思ひ出したのですが

○重ねて ○重ねて申し上げます

宛名の所へ書く協附

○御前へ ○御前に ○みもと ○御前に

平
信
平
信

親
展
親
展

披
御
直
披
御
直

至
急
至
急

下
玉
案
下
玉
案

机
下
机
下

在
中
在
中

緘
緘

封
封

糊
糊

殿
殿

様
様

○親北 ○御左右 ○侍史 ○机下 ○玉机下 ○玉案下

封筒の上へ書く協附

前項にある「宛名の所へ書く協附」の文字を使ふ他に、なほ次の

うなががあります。普通の場合では、

○平信 ○平安

目上に對しては、

○御左右 ○侍史 ○待曹

他見を憚かる時は、

○親展 ○親剪 ○御直 ○直披 ○御直披

高貴の方に差出す場合は、

○御家扶御中 ○執事御中 ○御侍史

急ぎの場合は、

○至急 ○いそぎ ○急用

お弔ひの場合は、

○御弔詞

返事の手紙には、

○返信 ○拜答 ○御返事 ○貴答

○御中 ○各位

人にことづける手紙には、

○幸便 ○託幸便 ○使幸状

他の書類を同封した場合は、例へば

○願書在中 ○履歴書在中 ○原稿在中

紹介状の時は、

○何野誰子様御紹介 ○秋

封へに使う

○原稿在中

謹賀

新年

賀正

御慶

御壽

芽出

申納

初春

新春

新玉

年立

謹賀

新年

賀正

御慶

御壽

芽出

申納

初春

新春

新玉

年立

新年の用語

○謹賀新年 ○賀正 ○恭賀新年 ○明けましてお芽出度うござい
ます ○改暦の御慶めでたく申し納め候
○新年お芽出度う存じます ○新年の御慶めでたく申納め候
○初春のお慶びを申し上げます ○謹んで新年のお慶びを申し上げます
○新年のお慶びめでたくお祝ひ申し上げます
○謹みて改年の御祝詞申し上げます
○謹んで年の始めの御よろこびを申し上げます
○併せて御一家様の御慶昌をお祈り申し上げます

○あら玉のとしのはじめの御壽
○新玉の年立ちかへるけさのお慶びめでたく申納めまらせ候
○初春のお慶びを、遙か東都の空より謹んで申し上げます
○新年の愛でたさ、何方も同じ御事に祝ひ入り参らせ候
○新年の御壽、いづ方も同じことに御喜び申上げ候
○皆々様にはさぞかし幸多い新春をお迎へ遊ばしたと存じ
○都から遠く離れた山里にも、おほらかな初春の光照射映えて
○初日の光りに身も心もおのつと晴れやかに淨められ、新しい希望
も湧いて参り
○私も今年からはもつと、意義深い生活を送りたく
○躍進日本にふさはしいこの初日の出の輝やかさ
○新しい春と共に勇氣をあらたにして
○生家を離れて始めてのお正月を無事に迎へまして
○どうぞ今年も相變らず御指導御鞭撻下さいませやう
○先生には御氣色うるはしう愛でたき年に移らせられ候事
○伯母様から頂きましたお心入れの御屏簾道具で祝ひ
○年頭の御祝詞申上げた
○いよ、御幸多からんことを
○御一家さま御機嫌麗しく御越年遊ばされ

希望

躍進

日

本

年

御

年

御

御

御

御

躍進

日

本

年

御

年

御

御

御

御

御

○舊年中は家族の者ども一人々々、
晴れ、とさしのぼる初日の出を迎へる
○舊年中は一方ならぬ御厚情にあつかり乍ら御無音に
○昨年中は本當に御無沙汰いたしてしまひました
○本年も舊に倍しての御厚誼のほどひたすらにお願い
○すが、しき初日影の御まどるを偲びつ、
○皆々様お揃ひにてめでたく御加算 ○御加壽
○本年もよろしくお導きのほど ○今年もよろしくお引廻しのほ
どを

○新年のお喜びに兼ねて、私のこの深い感謝とこの堅い誓ひをど
ぞお受け下さいませ
○元旦早々の雪に瑞氣一しほのめでたさを覚え
○御主人様並に奥様には御身おすやかに御越年遊ばされ
○お蔭様にてさ、やかながら一家平安の新陽を仰ぎ申候
○本年も相變らず御愛顧を頂き、至らぬところは十分に御さとし賜
り度

○一同無事息災にて正月を迎へ候こと
○こちらの新年のニュースとして、明け方姉が可愛い赤ちゃんを
挙げ
○立ちかへる春の晴れ、しさも一入と存じ上げ
○家をもちまして始めてのお正月とて
○おぼつかないお重話を作りましたが、永い間下宿でお正月をし
てゐました主人には珍しいとみえ
○結婚第三年目の春を親子三人打揃つて相迎へ
○子供をもつて始めての新年とてなんとなく心賑やかで
○私のもいたつて元氣にて二十一の春を迎へ
○同封の爲替は、弟と妹へのほんの心ばかりのお年玉に
○あなたの今年の輝かしい首途をお祝ひ申上げたたくて、改
持ちで筆をとり

お知らせ下

して興へられる上品な傑作漫画澤山

(1)

改年

加算

元旦

瑞氣

息災

お雑煮

初笑い

年賀

初詣

若水

居蘇

居蘇

○誰よりも心をこめたお芽出度うを申し上げます
○『姉さん、お嫁に行つたらどんな口をしてお雑煮を食べるの?』
なんて弟にからかはれ、みんなで初笑ひを

○賑やかな御越年の御様子、目に見えるやうにておなつかしく
○御一同様の上にあります、御榮えのありますやうに

○こんな改まつた年賀状を差上げるまでもないやうに存じましたが
○『相變らずに』と申しますが、今年は大いに變つて一つ頑張りた
いものですね

○港の町のこの小さな家にもお正月は長閑におとつれて
○手馴れぬながらも心ばかりのお重話も出来て新家庭にも春が訪れ
○お歳暮に頂いたあのお羽織、今日の初詣に着て参り
○都會のお正月は珍しくても矢張りお國の正月がなつかしく思
ひ出されて

○お陰さまにて一同元氣に新年を迎へ
○佳きことのあれかしと祈りながら今年も清らかな若水を汲んで
○わけて今年も、御主人様は戦地で御殊勲をたてられ
○お慶ひの幾重にもかさなる此の春のめでたさ

○御一族様さぞや賑々しくお正月を御迎へ遊ばしたること
○開かな田園にて元旦を迎へ
○この地方は舊でお正月を致しますので
○今年もまた筆始めにまづ先生へと

○晴れわたつた初日麗かな元旦で
○新築の御別荘にて御越年の御由
○降つて、私こと舊年中は一方ならぬお世話様に相成り
○佳きお正月を迎へられましたのも貴下様の御引立によることと
○いづれ新年會にて拜眉の上、御祝詞申し述べたく存じ居りますが
○どうぞこの上とも至らぬ私どもを御導き下さいませすやう

○年賀状に餘事は失禮とは申しますが、ついおなつかしくて
○とりあへず書中を以て改年
○服喪中でございますので
○年賀状

重詰

新年會

賀状

佳年

年末

年末

年内

日數

余日

暮の善

年の漸

押迫

○御喪中につき年頭の御挨拶と御遠慮いたし候
○御喪中とも存せず年賀状を差上げ申譯ございません

○本年も數へ日となりまして、○いつしか年の瀬と相成り
○カレンダーの頁もいよゝ残り少く
○年内も餘日少なくなりまして、○日迫の折から
○早いものでもう年の暮でございませす
○いつの間にか今年も残り少なくなりまして
○もう今年もあと十日となりまして
○漸く年の瀬も迫つてまゐりました
○本年もいよゝ、押迫り余日少く相成りましたが
○今年もあわたゞしく過ぎて行かうとして居ります
○押し詰つてお忙しくいらつしやいませう
○今年も暮れに迫りましてさぞかし御繁忙でいらつしやいませう
○年内は格別のお世話さになりまして
○本年は、弟が大變御厄介になりお蔭様で安心して新年が迎へられ
○今年も残り僅かになりました
○年内は代るがはるお伺ひして大變お手数をおかけいたしました
○あなたも佳いお年をお迎へなさいませすやう
○新年にはせひゆつくりお話しにいらつしやい
○年内も押詰りお宅の方も何かと定めしお忙しいことと
○年末御多忙のこととお察し申上げませす
○お母様も今日この頃はさぞ御多用の御事と、○御多端
○いよゝ、本年も押しせまり寒氣も厳しうございませす故
○お二人ともお揃ひでよいお年をお重ね遊ばしますませすやう
○お年越しのお仕度でさぞお忙しい
○何れ春にはゆるゝ参上、久々に御高話を拜聴いたし度
○私どもも東京でお正月を迎へ

年末の用語

新芽 惜春 遊春 若葉 風薫 五月晴 向暑 新緑 初夏 青葉 溪流 海邊

新芽 惜春 遊春 若葉 風薫 五月晴 向暑 新緑 初夏 青葉 溪流 海邊

○ビルディングの空も霞んで快い秋気
 ○窓下の街路樹にも新芽が萌え出して
 ○今日も終日の春雨に閉ぢこめられてをりますが
 ○橋の上を通る蛇の目傘に春雨の煙る風情も美しく
 ○晩春の候 ○行く春を惜んでか雨さへ降り出でて
 ○惜春の候と相成り候ところ ○惜春の情に不堪候
 ○若葉の蔭もなつかしい五月が訪れて来ました
 ○風薫る五月晴れの昨日今日 ○行く春のけしき心淋しう覚えられ

夏の用語

○向暑の候 ○輕暑の折柄 ○大分お暑くなりましたが
 ○新緑の候 ○若葉の薫りなつかしき候と相成り
 ○若葉の蔭に風かをり候 折から
 ○お天気も定まつていよ夏らしくなつてまゐりました
 ○すがすがしい初夏となりました
 ○爽やかな初夏が訪れて参り ○よほど夏めいてまゐりました
 ○街路樹の若葉のみづ／＼しいこの頃
 ○裏山の雑木林の若葉が日毎に明るくなつてまゐります
 ○せめて偶さかの一日位は青葉や溪流のせゝらぎに親しみたく
 ○相模の海は夏らしく躍きはじめて
 ○青葉を吹きぬけて行く風もすがしい、時候と相成り
 ○見るものなべて爽やかな夏景色となり
 ○御地ではさだめし麥田もゆたかに稔つたこととございませう
 ○母と二人、楽しみに作りしました小さな花壇の薔薇が咲き出しま
 して
 ○日増しにお暑くなつてまゐりました
 ○かすかな汗を覺える頃となりました
 ○目に青葉
 秋も酣に馬

梅雨 霖雨 五月 螢狩 満目 炎暑 酷暑 田植 草取 夏

梅雨 霖雨 五月 螢狩 満目 炎暑 酷暑 田植 草取 夏

○青葉がまた紅葉の季節に
 ○遅れ咲きの梅
 ○いつの間にか葉さくらの花
 ○螢が田面の闇を飛ぶ季節に燈り
 ○熟れゆく麥の香のなつかし
 ○青葉美しい初夏となり満目一碧の
 ○此の宿からは、新緑の色の限りを盛り上げた春日山が眺められま
 して

○いつの間にか夏が来ましたのね (友人又は目下への場合)
 ○もうすつかり緑の世界になつて了ひ
 ○田舎はどこを見てもすつかり緑の色にとりまかれて
 ○馬酔木の花の盛りも過ぎ
 ○貴女の好きな藤の花が今まつ盛りに咲いてゐます
 ○この頃、あの青々とした故郷の山野が目には浮びます
 ○山々の緑も色濃くなりまさりて ○暑氣加はり候 折柄
 ○も早や梅雨に入りかけて居りますが
 ○五月雨の候 ○連日の霖雨まことに鬱陶しく
 ○農家ではこの順調な梅雨氣候にはつと致し居り候
 ○毎日いやな雨ね、でも海邊は雨も明るく降ることとせう
 ○かう毎日降り續いてはお子供さん達の御通學は大變でございま
 せう
 ○連日の霖雨うつたうしき限りに御座候
 ○来る日も来る日も雨ばかりで氣が減入つてしまひます
 ○梅雨とは申しながら何んとかよく降ることとございませう
 ○此の頃はとかく雨ばかりで母上様の御持病が氣遣はれて
 ○久しぶりにて梅雨ばれの空を仰ぎ
 ○今日はまた梅雨じみた雨で變に冷えびえ致しますが
 ○炎暑の候 ○酷暑のみぎり ○お暑いことと

此方よ
 知らせ下
 して與へられる上品な傑作漫畫澤山

避暑
避暑

暑中
暑中

休暇
休暇

水泳
水泳

水着
水着

西瓜
西瓜

胡瓜
胡瓜

茄子
茄子

月見
月見

高原
高原

海濱
海濱

別荘
別荘

○梅雨があがつては、向もなく、このお暑さ

○梅雨あけの蒸暑い日が續きますが、

○日増しにお暑くなつて参りましたが

○昨日は庭の梅の實をまきまして

○うす物が肌心地よい時節となり

○今年の夏は案外に涼しく大變涼きよいやうでございますが

○庭前の杏もそろそろ色づき初め

○この間植付けた田が今はもうすつかり青くなり

○何十年來かのお暑さと聞きますが

○稲田の草取りにお忙しいことでせうね

○夏休みが間近になり、暑氣相加はり候折柄

○今年はまだ葉山の方へ御避暑でございませうか

○もうそろそろ學期試験でござお忙しいらつしやることと

○お子様たちは暑中休暇の來るのをさぞお楽しみになさつて

○花壇のお花は如何でございます、さぞ美しく咲き揃つて

○この二三日急にお暑くなつて來たやうでございますが

○昨今のきびしいお暑さに格別の御障りもございせんか

○母を看病しながら青い夏海を心に浮べるだけで過して居ります

○今年もまた海の戀しい季節になりました

○楽しい暑中休暇がまゐりました

○海に山に御避暑中かと存じますが

○只今午後の水泳から歸つてまゐりましたらお手紙が机の上に

○今日も朝から海につかつてまゐどの位黒くなつたと思召しますか

○今年、こはあなたにクローラを教へて戴きたく

○すがすがしい水着姿のあなたを想像しながら

○汗を流して働く氣持ちはまた格別でございます

○炎暑の候益々御清稈の段賃し奉り

○今更にお暑さを感じて居ります

○昨日の御地が假は

○昨日の御地が假は

○昨日の御地が假は

○昨日の御地が假は

○昨日の御地が假は

○昨日の御地が假は

○昨日の御地が假は

○昨日の御地が假は

黒山

登山

新盆

浴衣

残暑

朝夕

秋氣

初秋

新秋

立秋

涼風

打風

○今年の暑さはまた格別のやうに存せられますが

○陽炎たちのぼる灼けたアスファルトの道、思つても凌ぎ難い熱

○西瓜の出盛る候となりました

○この炎天に御通勤も大變でございませう

○帝都の暑熱と戦ひながら懸命にお働きのことでございませう

○こちらの海濱は毎日大變な賑はひで

○月見草が砂丘に入り亂れて咲き出しました

○松林の間から紺碧に輝やく夏の海がチラ／＼と見えて

○私は今、更科高原でキャンピング生活をして居ります

○只今表記の海岸にまゐつて居ります

○涼しい貸別荘暮して、毎夜花火が打ち上げられて

○子供たちはまるで黒山坊のやうになり

○水上には颯爽とヨットが走り

○楽しい藪入りの日も近づいて

○別送のメロン今年はじめての試作にて

○海拔一千米の高原でございませうから

○登山者の姿も追々と見えて來ました

○毎日裸で暮して居ります

○もう新盆も直ぐでございませう

○ビルディングの事務所はまるで蒸籠のやうで

○湯上りの浴衣にそゝろ歩きの快い頃がまゐり

○夏とは申せ朝夕は大分涼しく

○今年暑さがいつまでも去らないやうでございませうが

○残暑の候、暑さはなほ烈しく、残暑なほ去りがたく

○朝夕はいくらか涼しくなつてまゐります

○夏休みもあと少し、お過ごしませう

○近頃は仕度でございませう

○五、六日にはゆる／＼参上、久々に御高話を拜聴いたし度

○私どもも東京でお正月を迎へることにございませう

の馬肥 天高く 芋掘り 栗拾い 穂の穂 月光 讀書 燈下 彼岸 鈴蟲 鈴赤蜻蛉 蟬の

馬肥の 天高く 芋掘り 栗拾い 穂の穂 月光 讀書 燈下 彼岸 鈴蟲 鈴赤蜻蛉 蟬の

○初秋のみぎり ○新秋の折から ○秋氣 ○秋冷相催し候とき ○いづれ時候でございませぬ ○日中はまだなかくお暑くございませぬが、それでも朝夕は立秋とは名のみにてまだなかくお暑く ○そろそろ涼風のたつ頃となりました ○今日この頃の朝夕の涼しさ ○晝の暑さにかへて夜はさすがに涼しく ○二百十日も穩かに過ぎまして ○厄日も平穩に過ぎまして ○波の音をきながら時折り山里の氣分が戀しく ○日増しに細る蟬の聲に心淋しい秋を感じ ○赤蜻蛉がすい〜と池の面をかすめて ○あなたのお好きな鈴蟲の聲がどこからか聞えて來ます ○お湯から上つて藤椅子に倚りますと、蟲が靜かに湯の街の秋を奏でて ○昨日けふ俄かに秋らしく空氣が澄んでまゐり ○爽かな新秋の候となりました ○いよ〜明朗なスポーツの秋となり ○秋になるとしみ〜と故郷が戀しく ○秋冷快適の候益々御清安に涉らせられ候や ○暑さ寒さも彼岸までと申しますが ○いつの間にか朝夕お涼しい時候となりました ○燈の下に讀書に親しむよい秋となり ○街路樹の銀杏が黄ばんでまゐり ○臺所の隅でこぼろぎが鳴き出すやうになり ○窓下の篠懸の葉が月光に濡れて ○山近きこの地には門田吹く風に穂波もさやく〜と一入秋は早く ○月の色も星の光もすつかり秋でございませぬ ○月の光が夜ごとに澄んでまゐりました ○栗拾ひや芋掘りの楽しい時候となり ○天高く大氣も澄んで秋も 酣に ○馬肥の

秋深 晩秋 露の 紅雁來 稻刈 白菊 黄菊 芒の 冷雨 夜長 紅葉 秋酣

秋深 晩秋 露の 紅雁來 稻刈 白菊 黄菊 芒の 冷雨 夜長 紅葉 秋酣

○今年もまた紅葉の季節 ○快い晴天が続きますこの頃 ○追々と移す ○冷氣相加り候處 ○秋も早や半ばとなりました ○朝夕は冷えびえとして ○木犀のかをる頃となりましたが ○道傍の櫨が美しく紅葉して ○燃えたつやうな紅葉を見るにつけ ○二三日降りつゞいた冷雨でひとしほ秋が深まりました ○軒端をたたく時雨の音に幾度か夢を破られて ○秋意はもうすつかりおしまひになりましたか ○日に〜秋も深まつて参りました ○紅葉の湖邊からおたよりを致します ○垣根にみだれ咲く黄菊白菊に一ぱいの露でございませぬ ○稻がゆたかに稔つて ○稻刈る人々の姿もいそ〜と ○秋茄子の味にも故郷がなつかしく思はれて ○雁來紅の葉が燃えるやうな色に ○庭の萩の葉におく露も朝ごとにしげく ○蓮の破れ葉にそ〜雨も秋らしく忙しげに ○晩秋の砌 ○向寒の候 ○霜寒の折から ○早や晩秋と相成り ○秋漸く深く ○行く秋をしみ〜と感じ ○今朝初めて霜を見ました ○寒さに向ひます折から ○小春日和のよいお天氣がつまみませぬ ○時節から栗も實りましたし、柿も色づいて來ました ○只今別便にて裏庭の柿を少々お送りいたしました ○丁度けさ裏山から採つた松茸、辛便を得てお届け致します ○本當にひどい暴風雨でございませぬが ○こぼろぎの聲もだん〜と細つて ○晩秋の眺め物悲しく候折柄 ○松茸もやうやくしゆんになりました ○河原の芒の穂も白くそよいで ○谷川の流れるも紅葉の錦を敷いて ○日比谷、國技館の菊花大會も始まり

金子 子 様に安心して與へられる上品な傑作漫畫澤山

小春の日

柿の實

松茸

向寒

霜柱

初冬

寒氣

炬燵

落葉

冬枯

底冷

裸木

小春の日

柿の實

松茸

白き

霜柱

初冬

寒氣

炬燵

落葉

冬枯

底冷

裸木

○ 障子に映る干柿の影ももうそ寒く
 ○ 顔洗ふ朝毎の水も漸く冷たく
 ○ 御地は早や冬のお仕度でお忙しいことと

冬の用語

○ 初冬の候 ○ 寒さの折柄 ○ 寒氣日増しに募り
 ○ だいぶお寒くなつて参りましたが
 ○ そろそろお寒さに向つて参りました
 ○ ストープの戀しくなる頃になりました

○ 十二月に入つてから急に炬燵が戀しくなり
 ○ 今日もすさまじい風が玻璃戸にはらりと落葉を吹きつけて

○ いよいよ冬に入る寂びを小庭の立枯れ菊にとめて居ります
 ○ 昨日けふお寒さが急に身にしみて参りました

○ 冷たい風が吹きつけて朝夕お寒さ身にしみる頃となり
 ○ 二三日はだつてお寒さきびしく存せられますが
 ○ お寒さ日ごとに加はり凌ぎがたう存じます

○ 満洲は寒いといつても元氣なお兄さんのこと大いに張り切つて
 ○ 今年のお寒さはまた格別のやうに感ぜられますが

○ 十二月に入りましてから、さすがに東京もめつきり冬らしくなり
 ○ 庭の山茶花に射す陽の光も弱く、沁々と底冷えのする日が續いて
 ○ 東京でもこの寒さまして北海道にお住ひの御両親様には如何かと

○ こちらでは初めて雪が降りました
 ○ 落葉しつくした樹々が寒さうに裸へて
 ○ 校庭の櫻もすつかり裸木となり

○ 零下何十度の北支で奮戦する勇士達を思へばこんな寒さ位
 ○ 今朝の霜に金柑の實が一ほ色づき
 ○ うら淋しい冬枯れの景色と成り

○ 嚴寒の候 ○ 酷寒の折から ○ 寒さ厳しく
 ○ 寒氣身に沁み申し候

蜜柑

金柑

嚴寒

酷寒

吹雪

寒中

古寒

編物

初雪

冬籠

南天

梅の花

蜜柑

金柑

嚴寒

酷寒

吹雪

寒中

古寒

編物

初雪

冬籠

南天

梅の花

○ なんといふお寒さでございませう
 ○ お寒さが大層きびしいでございますが
 ○ 本年はまた格別のお寒さ

○ お寒い日がいつまでもつゞきますが
 ○ 當地は相變らず吹雪、吹雪の明け暮れでございます

○ 大寒に入つてからお寒さもひとしほ厳しく
 ○ 寒中お見舞申し上げ候 ○ 弟は寒稽古とやら申して毎朝
 ○ 霜柱がきびしく立つやうになりましたが
 ○ 私どもでさへ火の傍が戀しくなり

○ 毎日冷たい風が吹き荒れて居りますが
 ○ 室内ながら氷がはりかねまじきお寒さで
 ○ 初雪のあとのお寒さは格別でございますが

○ 上越地方はもう相當の降雪と承りましたが
 ○ この頃の寒氣御地はとりわけ降雪深くお凌ぎにくいことかと

○ 白いものが朝からチラ／＼降つて居りますが
 ○ 昨日けふ妙高山は高々と晴れ新雪がくつきりと光つて
 ○ けさは井戸のポンプさへ凍りつきました

○ お炬燵の中で一日編物に餘念がなく全くの冬籠りで
 ○ 火の番の拍子木の音も凍るかど
 ○ 敷かげに咲く枇杷の花も淋しく

○ 雪の中に南天の實ばかりが赤々と目立つて
 ○ 汽車もたび／＼逆行するほど雪が深く

○ こつた煮の湯気の匂ひもなつかしい山國の冬が訪れて
 ○ 寒さ時には何處でも火事が多いことですから御注意を
 ○ 今朝はまた思ひがけない大雪で

○ 當地はも早や雪に埋れて
 ○ こちらはまた寒さがぶり返したやうでございます

○ 今年もそろ／＼寒さ明けが近づいて参りました
 ○ 梅の便りもぼつ／＼聞えて参るり、もう春も間近のやうで
 ○ も早や早咲の梅がちらほらと

先約 御芳志 遺憾 欠々 御同情 物件 物堅 御信 御内

先約 御芳志 遺憾 欠々 御同情 物件 物堅 御信 御内

出席を断る用語

○明日の若葉會には是非出席いたし、久々にて皆様にもお目にか、
りたいと楽しみにしてをりましたところ
○新年會にお招き下されまことにありがたく御禮申上候、當日は
是非参上いたし度存じをり候ところ
○今度ばかりは残念ですけれど出席出来ませんの
○一昨日國許の母が上京しましたので、折も折泊り客にて
○親戚に不幸がありました、生憎と先約があり、○餘儀なき差支
○御芳志にそひかね遺憾に存じ候へども
○あなたも是非にとおつしやつて下さいませ、私共から待つ
てゐたのですけれど(友人の場合)
○久々に先生や皆様にお目にかゝりたいのは山々です
○考へるとほんたうに残念なのでございませ
○今回は缺席させて戴きます、あしからず御ゆるし下さいませ
○御出席になりましたら皆々様にこの由よろしくお傳へ下さいませ

借金申込を断る用語

○御細々のお手紙くりかへし拜見いたしました
○只今お手紙を拜見、涙ぐましい御奮闘ぶりを承り、深く御同情
申上げます
○お申越の物件、日頃お物堅いあなた様のこと故よくのことと
失禮ながら深く御同情申上げます
○數ならぬ私どもを御信頼下さいまして細々とお打あけ下され、御
内々の御相談にもあつからして戴きました事は、忝く
○御事情まことに御氣の毒に堪へず、○何とかお力になりたいと
○さし當つての御入
お役に立たせて戴

ございませが

破損

金子

子

内實 力及ばず 如何にも 在る世 御訪来 約束 日一兩 密附 勸誘

内實 力及ばず 如何にも 在る世 御訪来 約束 日一兩 密附 勸誘

來訪を断る用語

○私にも頭々さうした細部
○他へ御融通いたしました分が先月末にお返し戴ける筈でしたが、
それがのび〜になつてしまつたため
○商賣の方を少々手を擴げましたので内實は申すもお恥しい程の苦
しさ
○こちらも只今すつかり手づまつてをりまして
○父の病氣にて出費がかさみました後とて
○何分にも力及ばず此度は如何ともお役に立ちかね
○この度は何卒御見逃し賜り度
○主人在世中なればそれ程のことに御不自由はおさせしないので
すけれど
○あなた様の上によい道の開けますやうにと祈つてをります
○明日はお訪ね下さいませとのこと
○次の日曜御來訪下され候趣のお手紙頂き
○まことにうれしくせひお目にかゝり度くと存じをり候ところ
○實家の母がこの頃加減がわるく、私も毎日そちらへ見舞にまゐり
ますので
○少々發熱引籠り中でございます故
○父がこの頃すつと臥つてをりますので
○生憎と他にお招かれする約束をしてをりますので
○のつくりお話がいたしたうございませが
○まことに恐れ入りますが近日改めてお出で戴く日を御通知申上げ
ます故
○一兩日後におわびかた〜此方より参上いたし候
○おさしつかへなき日をお知らせ下さいませ

信人繪話

ませし、可愛いお子様に安心して與へられる上品な傑作漫画澤山

錢十五價定 (繪本) (録三料送)

催促の用語

堅く

催促

申頃

心な

心苦

御沙汰

迷惑

新調

その

不用

養生

ため

○先日御願申上り候 寫眞一昨日が御約束の期日に御座候ところ、未だお送りされなく

○去る十五日お頼みした女物拾 昨夕までと堅く申上げておきまして、今朝になつてもまだ届きません

○去る二月初めお申入れによりまして御用立て申上げましたもの、三月中頃にはとのお約束でございましたが

○お尋ねいたしますこと、何となくお返事のお催促をいたしますやうで恐縮でございますが

○こんな事申上げるのは心なき業と心苦しうございますが御事情をお察しいたし今日までお手紙もさし上げずにをりましたもの

○四月に入りましてまだ何の御沙汰もございませんので、心配いたしてをります

○その節も申上候 通り急に入用の儀も候へば、遅く候へば誠に迷惑いたし候 次第につき

○少し急いで頂かないと間にあひかねるかと思ひます

○いつもお約束とちがつたことのないお店の事ですから、ふだんなら一日二日おまちして見るのです

○御承知のやうに三日のお祝ひに間にはない事には、この洋服を新調する理由が半分はなくなつてしまふので

○その節も申上げました通り今日旅に出るものが着てゆくの、後れてはまことに困るのです

○その日が過ぎると全く不用になりますので

○仕事にとんだ手遣ひを来します故

○期日の點だけはそちらで責任をもつて戴きたいのです

○僅かばかりのものをかやうに御催促申上げて、心苦しうござい

寄附

扱

扱

氣

お渡

出来

手間

取調

氣短

右様

宿下

帽

梅

○實は子供の入浴の都合に合せに差出しておきます

○それにあのお金は十日ばいたいたしましたもので御座います

○かう長びきますとまことに工合が悪く、埋合せのついででございます

○承ればそちら様でも御老母様が御不快の由にて催促がましく申上げるのも如何と存じながら據なく

○さういふ御中へいろ／＼やかましく申上げますのは、不本意でございます

○もしそれまでに戴けませんやうですと、私もほんとに抜き差しがならなくなりそうです

○もし主人に知れましたは、私の立場もなくなり

○御多忙のところ頻並に御催促申上げ恐縮に存じ候へども

○この分でおくれると間に合はないやうな事になるのではないかしらと、些か気が気でなく(株など目下)

○願へますやうならばこの使にお渡し下されたく

○お手間がとれるやうならば出来上りの確かな時間を使のものにこそつて下さい

○何卒出来期日御返事たまり度

○何卒至急お取調べの上よろしくおはこび下さるやうお願いいたします

○氣短かのやうですけれども右様のわけで御催促する次第です

○この點よく御諒察の上至急に御都合下さいますやう

○七日までにはお出で下さるとのお手紙でしたが

○折角の宿下り故も暫くそちらに居させてあげたいのは山々です

○他、同合せ申上り候こと、昨日で過ぎ

○梅の梅がちらほらと

玉之月
不快

小
康

有
讀

表
紙

檢
束

貴
書

拜
讀

御
茶

不
快

不
調

違約を詫びる用語

- 今日の御約束を無にし何とも申譯ございません
- ぜひ出席いたすつもりで御返事さし上げておいたのですが
- 期日までには間違なくお届けいたすつもりで候ところ
- 母より至急用との電話がありまして、そちらへまゐり
- 実はこの二三日不快にて臥床いたしてをります父が今朝になって
- 容態かはり、家中醫者よ薬よと大騒ぎいたしましたので
- 心にかかりながらついお断りの使も出さず失禮してしまひました
- 前日になつて俄かの手違ひ生じ候ため
- かさねの御迷惑おかけしておきながら、手紙の御詫びではすまないので
- お詫びの申上げやうもなく、〇たゞ御有恕下され度願上候
- 然様のわけでございますので、どうぞあしからず御ゆるし下さい
- 只今病人些か小康を得ましたので、この手紙認めます
- いづれ近日御詫びに伺ひます
- その代り今度の日曜こそは、あなたの御都合さへよければきつと
- きつと伺はせて戴きます
- 今日のお詫びはいづれお目にかかりまして萬々

書物器物を破損したお詫びの用語

- かねて御秘蔵の御茶入永らく拜借いたしをり
- 御本を長らく拜讀させて戴きましたが
- 實は申上げにくい事でございますが

ならぬ最大の務め

早くお求め下さい。各地の有名書店で、此の外に色々揃へて販賣

書店

御
手
紙

御
不
満

御
謝
儀

九
谷

御
元

お
償
ひ

御
承
諾

金
子

子

子

○何とも致しやうなく途方に暮れてをります

○まことに申譯ない事をいたしました、お詫びの申上げやうも

ございませぬ

○とんだ不調法をいたしましたして

○私の不注意から子供が汚損いたしましたして

○いろいろ試みましたがとれませぬ

○何とも御はづかしく申譯なく

○只今書店へ註文いたしておきましたから、兩三日御猶豫をお願ひ

いたします

○お手慣れの品とちがひますのでさぞかし御不満と存じますが、何

卒これにて御勘弁下さいませ

○この上は九谷の御元より同様の品とりよせて、お償ひいたすつも

りでございますから

○とりあへず手紙を以て御詫び申上げます

○ふとした機にとり落し、〇氣づきませぬ中に汚點が出来をり

返金のおくれたのを詫びる用語

○先日は勝手なお願ひを申上げましたのにお快く御承諾

速御融通下さいましてまことにありがたく

○かねて御恩借の金子御返済申上げべき期日が来てをります

○その節この二十五日までは必ずお返し申上げますやうに

ておきましたのですが

○堅く御約束申上げておきましたのに



漫画と偉人繪話

可愛いお子様に安心して與へられる上品な傑作漫画澤山

銀十五價定 (銀三料送)

銀十五價定 (銀三料送)

御趣旨	存	心細	現狀	お仲間	不本意	察察	御起	拜禮	言上	出張
お手紙	一	心	現	お	不	察	御	拜	言	出
振	存	細	状	仲	本	察	起	禮	上	張
方	存	き	状	召	意	察	發	禮	上	張

寄附の勧誘を断る用語

- お手紙ありがたく別紙募金の御趣旨も拜承いたしました
- 出来ませればぜひお仲間に入れて戴きたいのですが
- まことに結構なお企てと存じます
- 私共では運わるく主人の勤めてをりました會社がつぶれ、長く失職の後やうやく昨今新しい勤め口につきましましたばかりで
- 實は先頃より主人病氣にて経過思はしからず、この程入院いたさせましたやうな次第にて
- 只今主人旅行中にて私一存にては計らひかねます故
- まことに心細き限りの現狀にて
- この様の事情に候 間失禮何とぞ御ゆるし下され度候
- まことに不本意でございます
- 折角のお勤めをお断り申上げねばならぬ辛さお察し下さいませ
- 右の事情御賢察下さいまして、あしからず御ゆるし下さいませ
- 御發起の方々へもあなたからよろしくおゆるしお願ひ下さいませ
- 又何かの折にはぜひお役に立つやうになりたいと
- いづれ他の機会に母校のため何かさせて戴ける事と存じます

招待を断る用語

- 伯父様遠慮を迎へさせられ、十五日の御賀宴には私共までお招きにあつかり嬉しう存じます
- 当日はぜひとも拜禮の上御祝詞言上いたすべき筈のところ
- 今年もぜひとも伺ひたく楽しみにしてをりましたところ
- 丁度その日は始がはじめて上京いたします由、昨日知らせがまゐりました
- 生憎主人出張中に加へて妹が風邪氣で臥つてをりますため

不参	後日	物色	奔走	人事	課長	會食	情實	差出	不利	得策
不	後	物	奔	人	課	會	情	差	不	得
参	日	色	走	事	長	食	實	出	利	策
参	日	色	走	事	長	食	實	出	利	策

就職依頼を断る用語

- 實は子供の入院に合せに差出しておき
- 心多にあのお金は十日ばかりとの
- 事情御察しの上御ゆるし座いますから
- いづれ後日参上いたしましたし拾拾悪く、埋合せのつけやうがない
- ご母さま様へはあなた様よりよろしく御傳へ下さいませ
- 御息様御就職につき御細々のお手紙拜見いたしました
- 私の力で御紹介なり御推薦なり出来る方面もあれこれ物色いたしました
- 主人も大變御同情申し出来るだけの事をしたいと言つてをり
- 主人とも相談の上御希望の方面にて私共の存する限りは奔走いたしました
- 先方の人事課長と昨日會食の運びとなりましたので、その席でゆつくりとお話いたしましたのですが
- 何分あなた様の御修業がその仕事とは畑ちがひでられますので
- しかし主人はあゝ見えてもなか／＼に物堅く、殊にこの度の入社試験は情實を容れぬ事をモットーといたしてをりますだけに
- 私共の差出口は却て御息様に不利を來すのではないかと
- 如何とも都合のつけやうがないといふので
- つい先頃今年の採用決定いたしましたばかりで
- この上は一日も早く他にお心當りをお求めなさいませ 方得策と
- まことに頼みがひないものと思召すでせうが
- 一しり申さじ遊ばさず、御息様の御才能に信頼してよい結

押し詰り 御多忙 御多端 御多越 御多走 御多賣

押詰り

御多忙

御多端

御多越

御多走

御多賣

○暮の仕度も今までと様子が變りなとなう心忙しく
○私共もお母様のお膝元で年越しを致し度く、ふる里戀しい思ひがして

○何分にも馴れぬ新所帯でお正月を迎へようとするのですから
○歳末といふ聲になんとなく心忙しく

○今更この一年が夢のやうに顧みられ
○師走の街はさすがに人の足音も落ちつかず

○商店街は大賣出しの旗賑やかに
○節窓のサンタクロースの笑顔もなつかしく

○新年の仕度でデパートは大變な混雑で
○戦時状態だけに街の賣出しもなんとなくひそやかに

○教會の鐘の音も年の名残りを惜しむ氣に響いて
○餅つきの際の音も遠く年を思はせ
○歳暮のおしるしまでに海苔とお菓子をを送り致しました
○御歳暮のおしるしとしてのいつもの御鏡料の他に手編みの靴下を

子供の運命は母の手にあり

可愛いお子様を

いよく御立派に

育て上げるのは、

銃後婦人の忘れて

ならぬ最大の務め

お子様方は誰も彼も、偉くなる天分をもつて生れてゐます。將來出世するものでもない、偏へにお母様方の御教育如何に依ります。現代で最も賢明なお母様方は、「講談社の繪本」をお興へになつてお子様の御教育をなさつて居りますが、誰方からも、全く立派な家庭教師をつけてゐる様だと感謝され、一冊でも多く與ふればそれだけ目に見えて良くなると申して居ります。大事なお子様の幸福を希ふ方々は、早くお求め下さい。

●各地の有名書店で、此の外に色々揃へて販賣●

名残り 餅つき 杵の音 越年 奪善 大晦日

名残り 餅つき 杵の音 越年 奪善 大晦日

お習字用品

○別送の鴨は良人の出張先で獲れましたもので
○使ひに託してほんの年末の御挨拶のしるしまでに
○せめてお歳暮だけでも、私の手作りの品をと思つて
○これは郷里の鹽鱒でございます、どうぞ新年に御用ひ戴きたく
○生活改善の御趣旨には添はないかと存じました
○そんなに仰言つて戴くほどのものでは御座いませんのよ
○どうぞ皆様御揃ひ御機嫌よく御越年のほど
○どうぞお揃ひで佳いお年をお迎へ遊ばしませ ○大晦日

◇一流大家の御選定品を御愛讀皆様へ特別御奉仕！
〔御希望の方は東京市小石川區高杉町・大日本書籍會社〕
〔代理部：振替東京六六二九へお早くと申込下さいませ〕

- 竹堂先生御選定の毛筆、軸に竹堂と銘ある逸品です。太字用三十五銭、中字用二十銭、短冊用二十八銭送料 内地十二銭
- 假名基本帖 竹堂先生の筆になるお手本帖 二圓送料同色
- ▲特選「短冊」天竺の無地一枚一組 鹿島紙四十銭、鳥の子四十銭 錦用百枚綴り六十銭 無地十枚一組 鹿島紙四十銭、鳥の子四十銭 錦用百枚綴り六十銭 無地十枚一組 鹿島紙四十銭、鳥の子四十銭 錦用百枚綴り六十銭
- ▲特選「色紙」大判の無地一枚一組 鹿島紙四十銭、鳥の子四十銭 錦用百枚綴り六十銭 並判の無地一枚一組 鹿島紙四十銭、鳥の子四十銭 錦用百枚綴り六十銭
- ▲「日の丸色紙」御用一枚五十銭 送料同色 三十二銭
- ▲「桐紙」五枚入七十五銭、玉蘭紙一枚入四十五銭 新書紙一枚入二十銭、(送料同色) 假名基本帖一枚入三十五銭、(送料同色) 並判五枚入三十五銭、(送料同色)

新發賣の講談社の繪本



漢口 皇軍戰書報

支那事變 附 美談
漢口 皇軍戰書報 附 美談
忠勇な日本軍の大活躍が、手に取る様に分る感涙繪本！
銭十五銭定 (銀三料送)

安壽姫と厨子主丸

附 世界名作 繪物語
安壽姫と厨子主丸 附 世界名作 繪物語
やさしい少女 感心な少年のお話。思はず泣かされます
銭十五銭定 (銀三料送)

孫悟空

附 教訓 夏ばなし
孫悟空 附 教訓 夏ばなし
昔から有名な物語を特に子供向に苦心した素晴らしい繪本
銭十五銭定 (銀三料送)

漫画と偉人繪話

可愛いお子様に安心して與へられる上品な傑作漫畫澤山
漫画と偉人繪話
可愛いお子様に安心して與へられる上品な傑作漫畫澤山
銭十五銭定 (銀三料送)

旅行	新婚	御祝品	御祝詞	お出度	首途	人生	趣味	祝福	御典	華燭	披露
旅行	新婚	御祝品	御祝詞	お出度	首途	人生	趣味	祝福	御典	華燭	披露
旅行	新婚	御祝品	御祝詞	お出度	首途	人生	趣味	祝福	御典	華燭	披露

披露 ○大事な人生への首途ですから、立派におやんなさい(目下へ)

華燭 ○誠に不束な者でございませうが何分よろしく

御典 ○表記の所へ二人の新居を構へることにになり

祝福 ○左記の所にさ、やかな家庭を持ち

人生 ○一生の記念に寫しました寫眞

趣味 ○記念の寫眞よく撮れてもませんけれどお送りいたしました

人生 ○お前もつとハイカラな娘かと思つたら、案外に優しいお嫁さん

人生 ○だねえと言はれました(近親、親しい人へ)

人生 ○死ぬまでこのお家に暮らして戴く堅い決心で居りますから

人生 ○亡くなつたお母様のお若い時分の御辛抱をばあやに聞かされて

人生 ○今まで父母の許にて我儘にいたして居りましたが

人生 ○主婦のつとめを一年生から始めて

人生 ○あまり身邊が一時に變りましたため

人生 ○日々夢のやうに過して居ります

人生 ○常々の御教訓を固く守りまして

同 お祝ひに對するお禮の用語

○お心こめての御祝の品、うれしく有難く頂戴いたしました候

○この度は御鄭重なる御祝ひを頂き

○御鄭重なる御祝詞並に御祝品を拜領いたしました(目上の人へ)

○私どもさ、やかな新居に、始めてのお客さまとしてお招き申上げ度(本人から)

○時節柄披露宴とりやめに致し候に代へて

○長男一郎の結婚披露に際しては、御多業中御貴臨の榮を辱し

○何分未熟の者共に御座候間將來特に

○何も分らぬ新婚生活とは申せ、心配したほどのこともなく

○愚息結婚式滞りなく相済み

○お蔭様で私共の結婚式も新婚の旅も無事に相済み(本人から)

御産後	御産初	譲や	坊や	二太郎	一姫	第二世	御生	難産	御産安	女児	御子男
御産後	御産初	譲や	坊や	二太郎	一姫	第二世	御生	難産	御産安	女児	御子男
御産後	御産初	譲や	坊や	二太郎	一姫	第二世	御生	難産	御産安	女児	御子男

御男子御安産の由

○第二世の御出生おめでたく

○まだかゝと毎日お待ちしてゐたところへこのお悦び

○今日か明日かと待つてゐたところへこの吉報

○御令閨様には玉のやうな男のお子様を擧げられました由

○奥様にはこの度女のお子様をめでたく御分婢の由

○今朝ほど觀ばじい御安産のお知らせを頂き

○御安産の御電報けさほど頂戴いたしました、お目出度うござい

ます

○お坊ちやまの由、お祖母様はどんなにかお喜びで

○めでたい紀元節のお生れできつと赤ちやんは御福運多いことと

○本當によい時候にお産れになつて ○諺にも一姫二太郎とか申し

○御初産のこととお知らせ頂くまではとく不安に思ひ

○随分お苦しかつたでせうね ○おあとは呉々々御大切に

○三週間はお床にいらつしやるやうに

○御産後の御無理はあと々々でも體に障るさうですから

○あまり早く床をお離れになりませんやう

○いろ／＼と御行届きのことは存じますがお氣をおつけになつて

○御主人様にはさぞかし御満悦の御事と拜察致し居

○皆々様の御満足もさこそと

○御男子とあれば御出征中の御主人様もさぞかし御満足と

○思ひの他の御安産、お姉さまふだんのお心懸けの賜と(妹から)

○お二方の御立派な素質を受けてお生れなされ候こと故

○とりあへず平凡にベビー服をお祝ひさせて頂くことに

○手製の涎掛を一つ添へ ○別包葡萄酒は龜屋の特製にて

○母體の不健康はすぐ赤ちやんにひんきます故

○お母様に似てさぞお美しく ○初見には女の子が育て易いとやら

出産祝の用語

命 名	姓 名	前 名	柄 手	お 乳	笑 顔	初 孫	和 子	肥 立	御 満	御 満	御 満
名	姓	お名	お子柄	お乳	笑顔	初孫	和子様	肥立	御満	御満	御満

○その後のお肥立ち如何かと ○案ずるより産むが易いとの諺通り
○近い内に参上して和子様にもお目もじ致したく存じますが
○お望み通りお坊ちやまで ○御家門御繁榮の御基と
○初孫に夢中になつていらつしやる、御祖母様の笑顔が
○今度のお産は大變お軽いさうで ○お乳も十分おありと承つて
○お初めの御事として、心ひそかにお案じ申上げてゐました
○お氣永に充分御静養なさいませう
○赤ちやんのお寫眞拜見出來ます日を楽しみに
○お嫁様も今度はお手柄と申さねば(母親へ)
○御褒めしき父上様にお似遊ばし定めしお健かに
○女は子を産み母親としての苦しくもまた楽しい経験を經てこそ
○重い軽いも初産からの癖と申します故
○母さんはいつも安産でしたから貴女も(娘へ)
○御令息様ばかりのところへ初めのお嬢様なのですから
○幸多い御成長を見守つてゆかれることは
○赤さんの一生のために讀みよく書きよお名を
○おめ、はお母様似ですか、お口元は? などと想像して
○お母様がおいでなのですから産後の御養生は十分とは存じますが
○出産祝の記念として赤ちやんの名にした愛國貯金帳と認印を
○承りますれば大變お重くいらつしやいましたさうで
○大層御難儀遊ばしたさうで、でもお肥立ちのい、のが何よりと
○皆様どんなにか御心配でしたせう、しかし、お目出度く御出産
遊ばして
○出来ながら手製のおくるみを
○眞綿で赤ちやんのお蒲團を上下二枚作つて上げた
○新型の赤坊 盥をお届けいたしました

同 通知とお禮の用語

○待ちに待つてゐた赤ちやんがやつと産れました
○いよゝゝ生れました ○女の子でした

順 調	共 母 子	夜 お 七	愛 兒	育 兒	赤 坊	體 重	目 方	産 婆	發 育	丸 々	産 褥
順調	母子共	お七夜	愛兒	育兒	赤坊	體重	目方	産婆	發育	丸々	産褥

○朝の八時頃産氣づき ○とても樂な産で
○赤ちやんは丸々とよく肥つて ○元氣な赤ちやんのうぶ聲
○健かな聲をはりあげて勢よく泣き ○赤子も丸々と肥り居り
候間
○昨日とは打つて變つた家の中を見廻し
○かねてお心にお懸け下さいました姉事、今朝六時安々と男兒を
○發育も非常に良好だと産婆さんも申され
○仰せ越しの『勝男』といふ御命名を良人も非常に喜びまして
○早速出産届の手續をも済ませ
○お乳がよく出ますせるか、日に目方も増えました
○私は八日目から少しづつ起きられるやうになり
○御親切なる御思ひつきの愛國貯金まことに有難く
○赤坊の將來のためにぜひ引續いて、毎月貯金をしてやるつもりで
○産婦も難産で大變苦勞でしたが、只今では食慾もございますので
○子供も一時は弱つて居りましたが、昨今はめきめきと元氣づいて
○首兒についているくと御注意ありがたく
○私共は経験のないものですから、この後とも御注意願ひ上げた
○これまで知らなかつた新しい世界が展けたやうで
○『子を持つて知る親の恩』といふ諺も今更の様に身に沁みて
○初産のこと、て心配しましたが ○豫定より三日ほど遅れて
○體重は三・五疋もございました ○至極安産で母子共に丈夫で
○産婆も醫師もまれに見る健康兒と
○何よりのお祝品まで頂き ○お心入れの御祝品を賜はり
○お蔭様でその後の肥立ちも至極順調にて
○一生身に添へるい、名をつけて戴いて
○この非常時に生れた兵隊さんの卵もお蔭様で
○別送の品は春雄の命名の記念として
○明日はもう三十一日のお宮詣りで
○本日形ばかりのお宮詣りを致し
○ほんの内祝をいたし度くお名づけのお二方には何を措いてもと

七五三

御成

發育

軍裝

一揃

禮福

寫真

童心

健康

小学校

入學

七五三祝の用語

○今年は福子様お七つのお祝ひでございますさうで

○大層御立派に御成長なさいましてさぞ御満足の御事と

○まことに健やかな御發育ぶり

○身分相應なお祝ひをさせて戴きたく

○軍國日本を強調して英ちゃんに軍装一揃をお祝ひ申したく

○花子さんお三つの御祝として蒔繪のポツクリを別送いたしました

○お孫さんには目もない御祖父様はどんなにかお喜びでせう

○三人のお子様も丁度七五三のお歳でそのお喜びも如何ばかりかと

○光子ちゃんにとても可愛い服がみつかったので届けさせました

○いよ／＼おすこやかに御成長なされて早や七五三も近づき

○承り候へばお坊ちやまには今秋はお五つのお祝ひの由

通學

物々

成績

制服

幼稚園

學齡

首尾

利發

學業

丹精

點點

體格

同 返事の用語

○見事なお祝ひの品を頂戴いたしましたして子供達も飛び立つばかりで

○敝子の成長を御祝福下さる御心なんと御禮を申し上げます

○當日の十五日にはぜひ／＼お二人連れでお出でを願ひ度

○軍裝姿をした我子の成長を見ましてつい嬉しさに胸が一杯になり

○お蔭さまで一度も病氣をせず町内でも健康兒との評判を頂き

○ほんの心ばかりの祝ひ事をいたしました

○當日は子供本位のお祝ひですから、お子様方はぜひお連れ下さい

○祝つて戴いた御禮のしるしに ○別送の粗品親心の印まで

○この春はいよ／＼武雄ちやまが小学校へ御入學なさいます由

○女子さんはいよ／＼小學生さんに ○さぞ可愛い小學生さん

○お嬢さま初め皆々様の御歡びさこそと

小學校入學祝の用語

出 身 檢 査 雨 具 靴 靴 登 校 責 任 不 安 緊 張 府 立 縣 立 市 立 私 立

出 身 檢 査 雨 具 靴 靴 登 校 責 任 不 安 緊 張 府 立 縣 立 市 立 私 立

のみにて

- 新しき制服のお姿目に見るやうに存じまらせ
- この間幼稚園へ入らつしやいましたばかりと存じますのに
- 御隠居様御自慢のお孫様の小學生振り、微笑ましく心に描き居り
- いよ／＼御學衛、指折り歎へ候へば正にうなづき候
- お母様が御出身の小學校へ御入学あそばして
- 首尾よく高師附屬小學校に御入学のよし
- 御兩親様に似させられて御利發のお子様のご定めし御學業も
- お兄様と同じ師範の附屬へ御入学遊ばされました由
- これからは御兄弟お揃ひにて御通學、共々お嬉しいことと
- 日頃お母様の並々ならぬ御丹精もあり
- お兄様やお姉様に負けずきつと御成績もよろしく
- お祝品にこれと申すよい思ひつきもありませんが
- 御準備もすつかりお整ひになり御不足のお品もなき御様子に承り
- お點などあまり氣をおつかひにならず、のび／＼とお育てになつて
- 日頃から感じ易い道子さんのこと故寧ろお體の方にお氣をおつけ

同 通知と返事の用語

- 詳一はこの四月から小學一年生になりますので
- 毎日柱曆を數へては入学の日を樂んで居り
- 近年はめつたに風邪もひきませず背丈も伸びて肉付きもよく
- この間體格検査のため學校へよばれ
- あのひよわかつた子がもう小學校へ上るやうになりまるで夢の様
- ランドセルや雨具の支度などまづ一通り整へ
- 入学式の日にはぜひ寫眞を撮つてお送り致し度
- 頂きました靴をはき喜び勇んで入学式に登校いたし
- 嬉しさうな入学姿について胸がいつばいになり
- これからは幾分手もはぶけることと存じ
- 至らぬながら親の責任もいよ／＼重く

出 來 榮 格 志 願 者 本 望 滿 悅 天 稟 才 能 勉 強 難 關 突 破 吉 報 薰 陶

出 來 榮 格 志 願 者 本 望 滿 悅 天 稟 才 能 勉 強 難 關 突 破 吉 報 薰 陶

中等學校入學祝の用語

- 不安と緊張の思ひで ○なほこの上とも御心添へ頂きたく
- 正夫の入学のお祝ひにて結構な御品を頂きまして
- 平素お世話になります伯父様へ先づ第一に無事入学のお知らせを
- 入学出来たお知らせを申し上げて共に喜んで戴きたく
- 誕生以来とりわけ伯母様には御厄介になつた春子も早や入学で
- お祖母様、一年生になつた雪雄の寫眞をお送りしましたから
- 首尾よく御入学遊ばされました由(目上には御由)
- 選ばれて縣立一中に御入学の由心からお喜び申し上げます
- 群を抜いたお出来榮えと承り誠に御目出度く
- めで度合格遊ばされ候由 ○さぞ御安心 ○御安堵 ○お歡び
- 多數の志願者中から選ばれて ○御本人のお得意もお察しが出来
- かねて御望みの府立第一高女に御入学と承り
- お見事に合格なされてお目出度うございます
- お父様もお母様もどんなにかお喜びでせう、本當によかつたこと
- 嬉しさのあまり輕はずみな行ひがあつてはいけませんよ(目下へ)
- あの六ヶ敷い××校へ御入学との御事
- お見事な成績にて ○御本人も定めし御本望のこととせう
- 御主人様もさぞかし御滿悅のことと存じ上げ
- 御本人の天稟の御才能と平素の御勉強の然らしむるところと
- あなた様の並々ならぬ御心勞が察せられて
- 御平生の御努力が今こそ此處に報いられて
- 多數の志願者の中から選ばれて見事に合格遊ばされし由
- 一番の御成績にて首尾よく御入学遊ばされましたさうで
- 天稟御發明でいらせらるゝ御ことと故
- きつとパスなさると信じて居りましたら果して只今吉報を
- 難關突破の御通知うれしく拜見 ○御兩親様御薰陶の結果と
- 御兩親様初め皆様はどんなにかお歡びで

鴻恩 指導 發表 學用品 學問 過度 緒の 恰惻 模範 母校 競争 試験

鴻恩 指導 發表 學用品 學問 過度 緒の 恰惻 模範 母校 競争 試験

○日頃から御勉強家と承つて居りましたので
 ○御本人よりもお母様の御安心、御およろこび如何ばかりかと
 ○入學試験は見事にパスしたんですつてね(親しい人へ)
 ○あちらは大層試験がむづかしいと伺つて氣をもんで居りましたが
 ○今年はわけても競争が激しかったと聞き
 ○合格の御通知によつてほつと胸を撫でおろしました
 ○あつばれ母校の模範となられ ○母校の名を擧げさせられて
 ○生來御恰惻な御性質でいらつしやいましたから
 ○聞くもいとほしいほどの御勉強ぶり伺つて
 ○お父様に似てよくお出来でしたから
 ○かねて御氣がかりの入學戦線も鮮やかに突破され
 ○いはゆる勝つて兜の緒を締める御覺悟こそ肝要と
 ○今までの小學生時代とは違つて
 ○のび／＼と豊かに朗かに、心身共に強くお育て上げなさいませ
 ○先づ充分の休息と睡眠、食慾などに御注意を
 ○過度の御勉強のために御健康をお害なさいませぬやう
 ○その覺悟を入學の初めにしつかりと胸に刻み込んで
 ○學問が出来ても人間としての修養を怠つては
 ○絶え間なく進むやうにとお祝に時計を
 ○何かお好きな物でもと商品切手をお祝ひにお届けいたさせ
 ○同封の爲替は學用品の足しにでも
 ○お約束の腕時計すぐ買つて來ましたから

同 通知と返事の用語

界實業 つ集立 榮譽 答辭 飾る 賞状 優等 拔群 卒業 盛雪 専心 一意

實業界 集立 榮譽 答辭 飾る 賞状 優等 拔群 卒業 盛雪 専心 一意

○正夫の府立一中の入學に就き我が事のやうに御心配をかけ
 ○入學の叶つたのも偏に先生のお蔭と存じ
 ○入學の叶ひ候は全く皆々様の御指導の賜ものと
 ○ひとへに先生が長々の御導きの御蔭と感謝いたして居ります
 ○先生方や御両親のお蔭と深く感謝して
 ○この上ともよろしく御導きのほどを
 ○この上は一意専心學業に精出して御鴻恩にむくいたく
 ○お心盡しの萬年筆、丁度ほしがつてゐた矢先とて本當に嬉しく
 ○御心をこめられました入學祝の御品 ○誠に有難く ○忝く

卒業祝の用語

○首尾よく御卒業でお目出度うございます
 ○盛雪の功空しからずめでたく御卒業の由
 ○御勉強の甲斐あつて拔群の御成績にて御卒業遊ばされ
 ○お優等で御卒業遊ばされましたさうで
 ○このよい春にあなた様には首尾よく御卒業遊ばされ
 ○取敢へず御祝詞きこえ上げまゐらせ候
 ○あなたもいよ／＼中學を卒業なさつたのね(目下へ)
 ○榮えある賞状をさへお受けになり
 ○錦を飾つての御歸郷はいつ頃に候やらんとお待ち申上げ
 ○卒業式には答辭をお讀みになるとのこと
 ○平素の一方ならぬ御勉強に對する當然の御榮譽で
 ○御一同様のお喜びは申すまでもなく
 ○私でさへ飛び立つばかりに嬉しく
 ○お待ち兼ねの卒業の日もたうとう來ましたのね
 ○殊に大變よい御成績とのこと
 ○ほんたうに永い間よく勤勉して立派な成績を擧げられ
 ○蠶雪の五ヶ年、晴れ／＼と人生の大空にお集立ちなされ
 ○かねて御志望の通り實業界に御進出の御こと

銀行

川

會社

三社

實地

實地

實務

實務

應用

應用

家事

家事

見習

見習

總代

總代

肩書

肩書

學歴

學歴

覺東

覺東

職業

職業

○叔父様のお世話で御就職早や銀行の方へお決りの由

○この後の御活躍ぶりこそ如何に目覺ましくあらせられ候はんと

○恩師や御両親様の御苦心をいつまでもお忘れなきやう

○學問はこれを實地に應用して始めて社會に活かされるのですから

○上級の學校へ行かずに實務に向かはれる健氣なそのお心掛け

○これからの世の中は實際に働くといふことが一番大切ですから

○一層お元氣で新生活にお入りのほどを

○教へて頂いたことを役立たせるには卒業後の心掛けが大切で

○卒業は實社會への新入學に外ならぬのですから

○どうぞ將來に對する御用意をお始めになるやうに

○母校の様子も伺ひたく、久しぶりに一度お出掛けを

○御卒業後は御家事のお見習ひ? それとも何か

○良妻賢母となられる日も近く

○世の中の見初めに一度東京見物にいらしては如何?

○お祝ひにお約束の旅行を實行したいと思ふのですが

○去年からお約束の腕時計をお祝ひ申したく

○お祝ひのしるしに丸善の圖書券封入いたしました

同 通知と返事の用語

○お祝ひのお手紙有難うございました

○呑氣な學生生活ともいよ／＼お別れして専ら母の手傳ひを

○式の當日は總代として答辭を述べることになり

○卒業式の喜びの悲しみといふやうなことをしみるゝと味はひ

○いよ／＼社會の一年生になりましたから

○中學の卒業位ではまだやつと人間としての土臺が出来た程度で

○肩書や學歴ばかりではまだとても覺東なく

○勉強は却つてこれからこそ本氣に始めなければ

○なんだか卒業が嬉しいやうな悲しいやうなこの頃で

○その癖一方では急に肩が軽くなつたやうな氣持もいたし

就職

就職

奉職

奉職

入社

入社

採用

採用

勤務

勤務

決定

決定

確定

確定

求職

求職

榮冠

榮冠

首途

首途

實力

實力

會社

會社

○家庭へ入る準備として先づ裁縫のお稽古をいたすつもりで

○頂きました圖書券は早速その方に必要な書物を手に入れたく

○お心盡しのほど御禮の申し上げやうもなく

就職祝の用語

○御入社の由おめでたく ○御就職なされたさうで

○御勤務のことに御決定の由 ○御奉職遊ばされ候おもむき

○銀行へ御就職の御事に御決定のよし

○只今はお目出度く御就職御確定のお知らせを頂き

○專賣局へ御奉職のことお喜び申し上げ候

○見事に就職戦線を突破なされ ○世路艱難の第一歩に成功せられ

○求職者の巷に溢れる時、逸早くこの榮冠を獲得された御盛運

○大變よいお勤先の由 ○あなたの性分につ合つたお勤先の由

○年來の御志望ゆゑぞ御本望と ○日頃の御勉強と御實力の賜と

○その方面には御造詣深きあなた様故

○同窓の一人として肩身廣き心地し

○御多幸なる人生の首途を ○どうぞ精一杯腕によりをかけられて

○あなた様の實力の認められる時節がまるること

○時どきお目にかつて活社會の實狀を伺ひたく

○年若な可愛らしい先生の初陣ぶりを見まほしく存じ候

○優しい女先生を與し易しと見て、我儘をいふ生徒もあるべく

○次代の教育者たるに必要なあらゆる資格をつけられますやう

○學窓から持ち越しの純情と愛と、意氣込みとを以て

○多くの志願者中から選ばれてデパートに御就職出来ましたさうで

就職

就職

入社

採用

勤務

決定

確定

求職

榮冠

首途

實力

會社

學窓	軍需	工場	精勤	眞劍	荒波	待遇	同僚	職務	研究	獨立	學窓
學窓	軍需	工場	精勤	眞劍	荒波	待遇	同僚	職務	研究	獨立	學窓
窓	需	場	勤	劍	波	遇	僚	務	究	立	窓
窓	需	場	勤	劍	波	遇	僚	務	究	立	窓

○職業婦人としての眞劍味を思ひきり發揮されますやう
 ○世の荒波のまつ只中に乗り出して
 ○社會人としての御修養こそ御肝要にて
 ○御勤先もしつかりしてゐるし、その上待遇もおよろしいさうで
 ○この上は一層御精をお出し遊ばして ○同僚との折合にも御注意
 ○職務に對しては常に研究的態度を失はれぬやうに
 ○得意なあなたのお顔が目に見えるやう
 ○女性が社會に出て一廉の職業婦人として認められますことは
 ○あなたは今日ほど御自分の力をお感じになつたことはないでせう
 ○その上經濟的獨立が得られるやうになつたのですから
 ○感激と緊張の中に毎日をお送りのことと
 ○どうか誠意を傾け全力を盡して仕事に當られたく
 ○平素より御人格、御學才ともに群を抜いて居られますこと故
 ○貯蓄のお心掛けもお忘れなく

同 通知と返事の用語

○私こと今度青山幼稚園の保母となり
 ○いよゝ／＼サラリーマンの生活に入り 候間
 ○一番先きに貴女に私の就職の幸運をお知らせ申し上げたく
 ○昨日旭工業から採用の通知がまゐり
 ○長い年月御苦勞をおかけ致しましたが、今度幸ひにも就職出来
 ○御心配頂き居り 候 忠雄の就職の件昨日決定いたしました候
 ○早速明日から出社せよとの通知がございまして
 ○本當に奥様の御推薦の賜と心から有難く
 ○全く御親切な御紹介のお蔭で ○早速御奔走下され誠に有難く
 ○庶務課の方へ御採用頂き ○これからが本當の勉強だと
 ○明日から出勤なので胸がわく／＼して落ちつけず
 ○當分は見習ひで朝は九時から夕方五時まで勤務です
 ○こんな早く採用の通知ですから全く夢のやうに嬉しく

技師	推薦	出世	最善	抱負	通勤	俸給	榮轉	榮進	昇進	出世	德望
技師	推薦	出世	最善	抱負	通勤	俸給	榮轉	榮進	昇進	出世	德望
師	薦	世	善	負	勤	給	轉	進	進	世	望
師	薦	世	善	負	勤	給	轉	進	進	世	望

○就職後のこま／＼の御注意ありがたく
 ○最善を盡して働くつもりにて ○母が大變喜んで呉れまして
 ○伯母様が明日はお祝ひに赤飯を炊いて下さるさうで
 ○一人前の女性として立派に行動して行きたいと念じ
 ○何もかも並々ならぬ先生のお心盡しの賜と
 ○就職に最も困難な唯今、誠に身に餘る御盡力に依り
 ○お指圖に従ひ何事にも精を出すつもりにて
 ○折角のお世話に無にしないやうに精一杯に働くつもりで
 ○今後もよろしく御指導のほどを ○毎日楽しく通勤して居ります
 ○陰日向なく懸命に勤めたき心組みにて
 ○部内の人々もみんな御親切な方にて
 ○職を得ましたお蔭で私の生活にも張りが出来て
 ○學校で親しくお教へ戴いたことが今は一つ／＼役に立つて
 ○次々と仕事か片附いて行く嬉しさは職業婦人ならではの味へませす
 ○毎朝心榮しく出勤出来る私は本當に幸福だと思ひます
 ○始めて頂く俸給がこんなに嬉しいものとは今まで想像もつかず
 ○私の就任につきまして御丁寧な御祝詞を頂きまして

榮轉祝の用語

○この度は大層御榮進遊ばされ誠にお芽出度う存じます
 ○大尉に御昇進の由 ○大阪の本店へ御榮轉遊ばさうで
 ○この度は御榮轉の趣 本日の新聞紙上にて拜承いたし
 ○全く先生の御德望と平素の御精勵の結果によることにて
 ○御兩親様、御奥様にもさぞかし御満悦のことと存じ上げ
 ○恰も順風満帆の御威勢とも申すべく
 ○わけても御高潔なお方でいらつしやいましたから
 ○お喜びのお人出入り多く、奥様もさぞかし御多忙のことと
 ○わが郷黨の誇にて ○私どもまで肩身ひろく
 ○御出世の第一階段と存せられ(目下の場合) ○前途愈々御高望

古稀	還暦	御健勝	賀壽	暇乞	御別懸	前途	肩身	郷黨	高潔	御將	精勵
古稀	還暦	御健勝	賀壽	暇乞	御別懸	前途	肩身	郷黨	高潔	御將	精勵

○随分御責任が重くいらつしやいますから
 ○氣候なども幾分違ひませうから折角お體を御大切に
 ○別便の小包新海苔一箱、御榮轉のお喜びまでにお邪魔でもございませうが

同 通知と返事の用語

○主人はこの度突然東京の本社へ轉勤致すことになり
 ○永年御別懸にお願ひ申しましたのに
 ○永い間ほんたうに御親切にして戴き ○御懇情忘じ難く
 ○どうぞ従来通りおよろしくお願ひ申したく
 ○何卒この上ともお見捨てなくお導きたまはりたく
 ○いつれ御暇乞ひには、主人同道で伺ふつもりではございますが
 ○始めての轉勤がいきなり滿洲といふのですから一層淋しく
 ○お忙しい中をわざわざ、驛までお見送り下さいまして誠に恐れ入り
 ○御地を離れるのが本當に名残惜しうございました
 ○お見送り頂いた上に、いろ／＼と御心盡しの御餞別を賜はり
 ○お蔭さまで途中無事任地に到着いたしましたから何卒御安心を
 ○子供にはまだお友達もなく、毎日美彌子さまのお噂ばかりして
 ○會社の住宅も近所には澤山あつて、思つたほど淋しくはなく

賀壽の祝の用語

喜壽	米壽	隱居	春秋	御高齡	御長壽	御長命	召連	賀宴	開店	開業	異彩
喜壽	米壽	隱居	春秋	御高齡	御長壽	御長命	召連	賀宴	開店	開業	異彩

○たぐひ稀なる御長壽の上に壯者をしのぐ御すこやかさにて
 ○なほ幾久しく鶴龜の御よはひを重ねさせられ候やう
 ○學園にて親しく御薫陶を蒙りし頃の、お若き御姿思ひうかべて
 ○この上とも御健康にて喜壽米壽のお喜びをお重ね遊ばされ候やう
 ○何か御祝ひ致したいと存じ、家事の暇々に衿巻をお編み致し
 ○おちい様のお氣に入りの五郎をも召連れませうと存じて

同 通知と返事の用語

○祖母こと本年丁度喜の字の祝ひ年に相當り
 ○父こと本年はいよく還暦と相成り益々元氣に致し居り
 ○來月三日は祖父の喜の壽の小宴を催したく
 ○もういくつ寝るとお祝ひぢやと子供の襟に指折り數へる有様にて
 ○祝日は母の誕生日に當る本月十五日に致したく
 ○永年の父の勞苦を慰め、健康をも祝ふ意味にて小宴を開き度
 ○老母も元氣な孫達の打揃つたところを見ればさぞ満足かと存じ
 ○歳はとつても、まだ一仕事も二仕事も致すつもりと見えまして
 ○大勢の孫達の顔を見るのを今から楽しみにしてゐる様子で
 ○御真心からのお祝物を頂戴いたしましたして
 ○頂いたお胴着早速着せました處輕くて温かいと申して嬉し涙を

開店開業祝の用語

○いよく三月一日より婦人子供服店を御開業の由
 ○煙草店をお開きの由、お芽出度うございます
 ○この度下町の方へ支店をお開き遊ばす由
 ○賑々しき御開業にて ○お思ひつきのよいあなたの御計畫で
 ○衷心より御開店をお祝ひ申上げます
 ○大層よい場所へ御支店をお設け遊ばされ
 ○場所も大變よろしいとのこと ○あの邊には同業者もなささうで
 ○必ず御繁昌遊ばすことと存じ上げ

花輪	信用	店飾	寶御商	業御事	有望	者同業	支店	功御成	負御抱	驗御經	業昌
花輪	信用	店飾	宝商	事業	有望	同業者	支店	成功	抱負	經驗	業昌

○さうした方面には御経験もお深く
 ○必ず御成功疑ひなしと存ぜられ ○今後益々有望の御事業ゆゑ
 ○長い年月の間、涙ぐましいまでの御修業が實を結んで
 ○御主人様には御退社の上、獨立で御開業遊ばされるさうで
 ○亡き御主人様も蔭ながらさぞかし御満足の御ことと存じ上げ候
 ○未亡人生活もかうしてお働きになつてこそ意味があり
 ○貴女様の御本望もさぞかしとお察し申し上げ
 ○時勢に適した結構な御商賣にて ○永年お心掛けのこととて
 ○交通の便といひ、附近には住宅地があつて申分のない場所とか
 ○あなた様のサービスぶりなどその中にゆつくり拜見に上りたく
 ○どうかその緊張味をいつまでもお失ひにならないで
 ○お店飾りの具合、御商賣への御熱意、ひたすら敬服いたし
 ○御店のお榮えを心からお祈り申上候
 ○信用第一の人氣をお集めになられんことを
 ○店頭へお飾り下さるやうにと、花輪をお届け申し
 ○お祝のお印までに金十圓小爲替にて同封申し上げ候間
 ○店飾りの費用の一部にでもお加へ下さらば

病氣全快祝の用語

○すつかりおよろしくなられましたさうで
 ○御全快おめでたう ○退院なさつたさうで本當に嬉しく
 (友への場合)

○あの御難病をつひに御征服遊ばされ候由
 ○永々の御病氣御全快とのお芽出度きお便りにて
 ○御病氣御快癒の由、承り本當に安心いたしました
 ○御主人様もすつかり御全快遊ばされて早やお床上げの御祝と承り
 ○永い間の御看護の御苦勞を今更の如く思ひ浮べて
 ○召上り物もおすゝみになりますさうで
 ○御尊家皆様にもさぞ御安堵の御ことと

病苦	奇蹟	美味	暗雲	護御加	神様	愁眉	案外	拜姿	戒御警	保養	服御征
病苦	奇蹟	美味	暗雲	護加	神様	愁眉	案外	拜姿	戒警	保養	征服

○奥様には日夜御看護にお心をお盡し遊ばされましただけに
 ○皆様のお手厚き御看護のかひがおありになつて
 ○お子様には御登校遊ばされるまでに、御恢復なさいました由
 ○お母様の愛の御看護で早くお治りになり
 ○お治りになつても御油断なさらずに
 ○御全快後はいい油断しやすいものですから充分の御警戒を
 ○體のために規則正しき生活を實行なさるやうに(目下への場合)
 ○なさらうたいこともなるべく我慢して、充分に御保養を
 ○この頃頂くお手紙本當に生々してゐて嬉しく(親しい場合)
 ○御全癒の後も御酒だけはせひともお控へになりますやう
 ○御看護疲れがでませんやう、充分にお氣をつけられて
 ○病後にも、「どりのこ」がよいとお話にて少々お送り申上げ

同 通知と返事の用語

○最初醫師が申しましたよりは、案外早く退院が出来
 ○やつと愁眉を開き ○お蔭さまで生命びろひを致しました
 ○もう四五日も経ちましたら學校へも行かれるかと存じ
 ○三月目にかうして自分の手でペンがとれる嬉しさ
 ○病氣前よりも目方が五百匁も増えまして ○日ならず外出も出
 来ようかと存じ

○一時はどうかと案じましたが ○やはり神様の御加護と嬉しく
 ○あの時よりも早やこの世に望みなき生命と諦めて居りましたものを
 ○今はかうして希望に充ち満ちて居ります
 ○今はもうすつかり暗雲を拂ひのけたやうな心持で
 ○思つたよりは長引きましたが ○皆様の御親切のお蔭で
 ○昨今はなんでも美味しく頂けて ○久しぶりに自分で髪を梳り
 ○少し頬のあたり肉が落ちましただけで ○運よく助かりまして
 ○母も今度ばかりは奇蹟だつたと喜んで居ります
 ○病院から出て見た世の中は、なんとといふ新鮮さでせう
 (親しい場合)

應召

出征

念願

望御本

東亞

永遠

平和

聖戰

御名

第一線

御奮

皇國

○御主人様にはこの度應召せられいよ／＼御出征の趣拜承
○御令息様にはこの度晴れの御出征遊ばされます御由
○御主人様には日頃の念願叶はせられ晴れの征途におつきの由
○御勇ましく御出征の御鹿島立ち殊に御目出度
○御本望通り海の護りとして御出動と承り
○東亞永遠の平和建設のため、尊き御戦に出で立ちたまふ御名譽
○この度の御出征まことに目出度く ○お勇しき限りに存し候
○戦の野に出で向はれ候こと ○御男子なればこそと御羨しく
○御兄弟お三人がお揃ひにて御出征遊ばされ
○第一線に立たれ候上は存分御奮闘、御活躍遊ばされることと
○國のため世のため一身を献げられて
○御老母様は及ばすながら私共にてお力にならせて頂くつもりにて
○御留守中の御氣づかひを遊ばさすに
○萬事お心残りなく御出立遊ばされ度
○御國のために背の君をお送り遊ばすあなたの健氣なお心を偲び
○御男子としてこの上の御名譽はあるまじと
○あつぱれ武勳を樹てさせられ、恙なく御凱旋遊ばされますやう
○御奮戦の御模様お暇の折にお知らせ戴けますやう
○戦地のお勇ましきお便り待ち上げ候
○國民の一人として心からなる感謝と御祝とを申し上げたく
○軍人の妻としての健氣なる御覺悟を、承り誠に心強く
○御用の節は心おきなく申越されたく(目下への場合)
○晴れの御出征お見送り申上げたく存じ候へ共何分遠隔の事とて
○伯母の志として眞綿の胴着二枚、一枚はお家を守る母上へ
○戦地の寒氣が思ひやられ不細工ながら手編のシャツ二枚を
○暮の街ゆく人々に一針づつ求めて縫ひ上げ候 千人針を
○お祝ひの印に鮮魚一折 ○幟一旗 ○するめ一折お祝ひ申上候

出征祝の用語

留守中

武勳

御凱旋

戦地

軍人

御覺悟

千人針

御出陣

御別

萬歳

國家

干城

○榮えある御門出に際し些か御餞け仕り度 ○拜祝の寸志を捧げ度
○些少ながら御餞別の印にと ○出征のお祝として金一封にて
○御出征のお仕度の一端にもと失禮ながら商品切手にて

同返事の用語

○お蔭さまで件も元氣で出征致し ○主人もやつとお國の役に立ち
○この度はお忙しい中をわざわざお見送り頂きまして誠に有難く
○その節は御餞別まで賜り ○萬歳の聲に思はず嬉し涙が
○數々の御厚情御禮の申し上げ様もございませぬ
○出征の際は何かと御心盡しを賜り ○種々と御采配下さいまして
○主人出征後は頭是な國雄をどこ迄も立派に育て上げる覺悟にて
○國家の大事は申すまでもなく私どもの大事でもございませぬ
○まだ子供のやうに思つてゐた忠男がお國の役に立つとは(母親)
○兄出征の後はまだ弟妹も幼く両親が私のみを力にいたし(妹)
○この事あるを覺悟して居りました私どももゆるゑ
○子供らに對する夫の深い愛情を思ひ出しては心を勵まし
○小店ではございませぬが女手で商賣を續けたく
○手柄して皆様に報いたいと雄々しく申して件は出發いたし(親)
○皆様の御温情に勵まされて私ども心強く
○御町内の方々、婦人會皆様の御親切は勿體なきほどにて
○一家が揃つて戦地にある覺悟にて ○家族一同出征の心地
○いづれ落ちつきましたらせむ御挨拶に伺ひたく
○何よりの御餞別有難く拜受いたし
○取敢ず忝けなき御贈物への御禮申し上げ度

入營祝の用語

○承れば御子息様には本月いよ／＼御入營なさいませ御趣(親へ)
○此度あなた様にはいよ／＼御入營遊ばしますとか(本人へ)
○この度はいよ／＼御入營の由何よりお目出度く存じ上げます

忠良 兵役 合格 公御奉 姿軍服 軍務 重責 時非常 本懐 營御入 手柄 忠勇

忠良 兵役 合格 公御奉 姿軍服 軍務 重責 時非常 本懐 營御入 手柄 忠勇

○お兄さまお目出度い御入營もいよく近づきましたわね(妹)

○日本男子として此上なき御名譽で ○只々お喜びに堪へませぬ

○立派な御子息様をおもちになりお羨しいことにて

○願うても叶はぬ方もありますに ○欣快此上なく

○男子の本懐ゆる(目下への場合)

○選ばれてお入りになるあなた様の御名譽

○誠にお目出度き御儀とお喜び申し上げ候

○これまでに御養育遊ばした貴女様の御苦心のかひがあつて

○この非常時に國家の干城となられるのは此上もない御榮譽で

○國家の重責を双肩に擔うて軍務に服せられますことは

○凛々しい軍服姿を御覽になる御両親様のお喜びいかばかりかと

○これで中村一家から五人の軍人を出したと主人も大喜びにて

○御留守中は少しも御心配なさらずに

○大切なお體ですから充分においとひになつて

○女ながらも羨しくて ○甲斐なき女であることが恨めしく

○軍務に御精勵遊ばされて ○何分お元氣で御奉公のほど

○娘ばかりの私共では主人が本當に羨しがつて

○あなたのお蔭で 私どもまでが肩身がひろく

○日曜日毎に軍服姿の勇しい御様子が拜見出來ますのを楽しみに

○お送り致したくとも何分遠く離れてゐる私(親しい場合)

○軍隊内のめづらしいことども時々はお知らせ賜はりたく

○輕少ながら同封の爲替御入營祝のしるしまでに(目下への場合)

○お祝のしるしに萬年筆にあなたの頭文字を刻みつけて

同 通知と返事の用語

○かねて合格の次男春雄こと本月いよく入營いたすことに相成り(以下親族の立場)

○この度兵役に採用され入營の運びとなりまして

○お蔭さまにて伴も大變元氣で入營いたし

○長男一郎の入營につき御鄭重なる御祝詞を賜はり

砲煙 君國 報 新 辛 行 殊 潰 連 連 皇 軍 規

砲煙 君國 報 新 辛 行 殊 潰 連 連 皇 軍 規

○入營の際は心盡しのお祝を賜りまして

○入營の際は寒い中を、わざわざお見送り下さいまして

○皆様のお蔭をもつて無事入隊 仕り候 間何卒御安心下さい

○あくまでも陛下の忠良なる一軍人として(以下本人から)

○陛下に捧げた身體であるといふことを忘れずに

○厳正な軍規に従つて大いにやるつもりですから

○國民としての當然の義務でございます ○忠誠の一端を捧げ

○非常時日本の護りのため、大いに奮勵努力いたす堅い決心にて

○男子の本懐として ○皆様の御期待に背かぬやう

○軍人の模範となる覺悟で ○立派に勤務を果すつもりですから

○二ヶ年の軍隊生活は心身を鍛へるに何よりのよい機會と存じ

戦地の兵隊さんへ出す用語

○暴戾なる蔣政權の潰滅を目ざして

○皇軍の向ふところ敵なく ○百戰百勝 ○連戰連勝

○數々の殊勳 ○目覺ましい御武勳のかすく

○銃とる手も凍るお寒さと伺ひ ○嚴寒の上に水浸しの行軍と伺ひ

○文字通り肌を灼く炎暑と傳聞致し ○御辛苦の數々お察し申上げ

○毎日新聞にて戦勝また戦勝の報道を見るにつけ

○御一身を君國に捧げての御奮闘たゞ有難く ○感激の至

○砲煙彈雨の中に身をお曝しになり ○空の荒鷲の勇者として

○さだめし食物なども御不自由勝ちのこととお察し致し

○戦地の御辛苦を思へば内地の私たちの苦勞なんか

○私どもがかうして平穩に暮せるのも、全く皇軍の皆様のお蔭と

○強く雄々しい皆様のお働きを思つて 私共は毎日感謝の日を送り

○銃後の護りは私どもの力でといふ堅い決心で

○戦地での御不自由を思へば、蒲團の中でやすむのも勿體なく

○ニュース映畫を見てから家族一同が早起きを勵行いたし

○長期建設、堅忍持久と銃後の者は心を一つにして勵み居り

袋慰問	祈願	戦捷	地圖	部隊	持久	堅忍	建設	長期	銃後	荒鷲	彈雨
慰問袋	祈願	戦捷	地圖	部隊	持久	堅忍	建設	長期	銃後	荒鷲	彈雨

○戦地にはいろんな悪疫がはやりやすとのこと何卒御油断なく
 ○飲み水もとてもお悪いさうですから御要慎遊ばされますやう
 ○なほこの上とも皇國のため一層の御奮闘を祈り上げ
 ○目出度く御凱旋遊ばしますやう祈り上げます
 ○私もやつと心が落ちついてお舅様と力を併せて商賣に勵み居り
 ○長男は今學期も全甲でまた級長に選ばれ
 ○田の方も相當な出来榮えて、この分なら心配はなく
 ○村の青年團や女子青年團から勿體ないほどよくして頂き
 ○町内では「兵隊さんのお菓子屋」と言はれてお客も多く
 ○先月から愛國貯金に五口も入りましたし
 ○家のことは決して御心配なく○暮向きは御案じなさらぬやう
 ○お兄さんの部隊は今日は何處まで進んだ、明日は何處を攻め落す
 と、弟は地圖に一々日の丸をつけて喜び居り
 ○私共も戦地にゐる氣で懸命に働いて居りますれば
 ○鎮守さまへ朝夕戦捷祈願にお詣りいたして居り
 ○同封のお守は戦捷祈願にお詣りして頂いて来たもので
 ○新聞を見るたびに御前様の勇ましい奮戦ぶりが目に見えるやうで
 (目下への場合)

○「僕も兄さんにまけないよ」と軍装姿で威張つてゐる弟の寫眞を
 ○花子の勉強ぶりを見て戴くやうにと何も教へないで書かした手紙
 ○どなたもお幣がぼう／＼でお困りでせうと、安全剃刀を添へ
 ○お友達と三人で心を籠めて作りました慰問袋
 ○このお餅は小學生の弟が戦地の兵隊さんにと、ありたけの力
 で揃えましたもので○手製の勝利餅を
 ○母と二人で夜なべに作った眞綿のチヨッキをお送りいたし
 ○干柿と勝栗、故郷の香りをしので召上つて戴くやうにと
 ○一針々々に心をこめて編みました靴下
 ○あなたのお手許へ届く時分にはもうお寒い頃と眞綿の胴着を
 ○慰問袋に入れた錫は父から、母が海苔、南京豆は妹からです
 ○昔の顔を一つ／＼思ひ出して戴けるやうにと品物に名前をつけ

進歩	御勳	白衣	衛戍	病院	野戰	海軍	陸軍	激戰	歸還	御負傷	御戦傷
進歩	御勳	白衣	衛戍	病院	野戰	海軍	陸軍	激戰	歸還	御負傷	御戦傷

戦傷者とその家族に出す慰問用語

○承れば名譽の御戦傷遊ばされて御歸還御入院の御趣
 ○あの激戰に名譽の御負傷遊ばされましたさうで
 ○先日御負傷の御報に、私共一同心も落ちつかず、御案じ申上げ居
 候處○御名譽とはいへ不慮の御負傷にて
 ○目下海軍病院にて御經過も御良好の由
 ○白衣の勇士としてこのほど御歸還陸軍病院に御入院と承り
 ○野戰病院にて御加養遊ばしますとのこと
 ○嬉しくも御武運強く輕き御負傷にて○幸ひに御輕傷ださうで
 ○この度の御戦傷かへす／＼も残念に思召しませうが
 ○御戦傷遊ばした時の御心持ちさぞや御無念の御ことと
 ○あの戦勝も偏にあなた様方の尊いお働きがあつたからこそと
 ○御戦傷そのものが活きた御勳功のお印にてこの上もなき御名譽と
 ○戦地では飲み水もお患かつたのでせうし
 ○その後の御容態は如何でいらつしやいませうか
 ○只今では外科手術が驚くほど進歩してをりますから
 ○戦地とは違つてお手當も充分でせうから
 ○義手にても立派に飛行機の操縦さへ出来ますさうで
 ○白衣の勇士のお姿を見る毎に思はず頭かさがり
 ○私共は永久にこの感謝の心を忘れないで
 ○名譽の戦傷勇士の手足に代つて盡すのが婦人の勤めと存じ
 ○手術をお受けになつてからは大層およろしいとのこと
 ○特に行届いた看護をお受けになつていらつしやるのですから
 ○早く治して再び前線へとの御希望をお洩しの由
 ○再び愛機を戦ひの空に翔られる日の來れかしと
 ○何れ近日中に、私共もお見舞ひに伺ひたいと存じますが
 ○御快癒もやがてお近いさうで○皆みな安堵の思ひにて
 ○程なう御平癒遊ばさるべく○一日も早く御快癒のほど

義手 義足 義士 永久 手柄 雑話 攻略 御戦死 赫々 先頭 壯烈 御最期

義手 義足 義士 永久 手柄 雑話 攻略 御戦死 赫々 先頭 壯烈 御最期

戦死者遺族への用語

○一日も早く御元氣なお體になられますやう
○御平癒を神かけてお祈りいたします ○心からお祈り
○早き御全快を邦家のためにお祈り申し上げ
○戦場のお手柄話を携へての御歸村を喜んでお待ち申して
○召上り物は御不自由ないとお承りましたのでお好きなレコードを
○お見舞ひに行かれるお父様にことづつて雑誌二三冊ばかりを
○御主人様には漢口攻略戦の真只中にて名譽の御戦死遊ばされ候由
○赫々たる武功を樹て廣東攻略戦の花と散られ候趣
○隊の先頭に立つて御奮戦中、名譽の御最期を遂げられました御由
○新聞では日章旗を握りしめたまゝの壯烈な御最期とか
○只今御戦死のお報らせを受け ○今朝新聞にて拜見
○空中戦にて壯烈極りなき御最期を遂げられました御由
○この度は兄上様名譽の御戦死を遂げられました趣
○只今御戦死の御報に家中内襟を正して黙禱を捧げ
○野戦病院にて御加養中と伺つて居りましたのに
○護國のための尊い犠牲となられ ○護國の花と散られし英靈
○御父子二代の御奉公とは ○忠魂永へに鎮まりませと
○武人の龜鑑と申すべき御最期 ○立派に忠義の二字を全うなされ
○東亞の平和建設の尊い礎として永遠に
○あの××陥落を見られないでさぞや御無念の御ことと
○空の勇士として數々の御功名がせめてものお心やりと
○新聞で目覺しい御活躍を拜見して胸を轟かせて居りましたのに
○荒鷲の颯爽たる御勇姿を遙かに偲んで居りましたのに
○この傷が治つたら再び前線へとお勇しきお言葉でしたのに
○あの勇躍征途に就かれました面影まだ目に見えるやうにて
○驛頭にてお見送り申上げた折の御勇姿が今なほ目光にちらつき
○昨日スケッチ入りのおハガキ頂きましたばかりですのに

日章旗 黙禱 犠牲 護國 英靈 忠魂 龜鑑 陥落 御功名 手術 武運 戦塵

日章旗 黙禱 犠牲 護國 英靈 忠魂 龜鑑 陥落 御功名 手術 武運 戦塵

凱旋を祝ふ用語

○お互ひに軍國の妻として雄々しく歩みませう
○御武功の數々は永く歴史の上に輝き候ことと
○護國の神として永遠におはしますことゆゑ
○軍人としての使命を立派に果たされたのですから
○今は亡き方のおかたみ、お子様方の御養育に御專一遊ばされ度
○御子様方の御養育に就ては及ばすながら私共お力にならせて頂き度
○軍人の妻として恥しからぬ御覺悟とお見上げ申し
○護國の神となられ候英靈に對し無限の感謝と敬禮を捧げたく
○皆様の御胸中深く御推察申し上げます
○御子様御成人の上はいかほど肩身廣く思召すことか
○今は亡き御主人様の代りともなられて幼き方をお守り遊ばされ度
○御香華の料として僅かばかりの郵券封入いたしました
○御主人様にはこの度目出度く御凱旋遊ばされ誠に
○なんの御障りもなく御武運めでたく御凱旋あそばされ
○御恙なく御凱旋の由心から御祝福申し上げます
○御令息様には數々の武功を樹てさせられて原隊へ御歸還の由
○御兩親様はじめ皆々様のお歡びいかばかりかとお察し申し上げ
○かすり傷一つ負ひ給ふ事なく ○御武運あくまで強くおはして
○國民の一人として心からの感謝とお祝ひを申し上げます
○數々の御功名をお樹てなされた戦地で伍長に御昇進あそばされ
○皇軍勇士のお一人として漢口へ入城をもして來られ嗚かし御本懐
○お家にも村にも輝かしい御名譽にて
○御祖父様の嬉しいニコ／＼顔が目に見えます
○御休養がたゞ／＼せひ泊りがけてお遊びにおいで願ひたく(目下へ)
○愉快な土産話を伺ひたく主人も私も娘も楽しみに致して居り
○お手柄話を伺ひながら粗餐を共に致したく
○戦塵のお疲れもまだおやはらぎにならないでせうが

見舞 風邪 發熱 入院 大患 容態 手術 經過 挨拶 快癒 養生 御高

見舞 風邪 發熱 入院 大患 容態 手術 經過 挨拶 快癒 養生 御高

病氣見舞の用語

- お父上様には御風邪にて御臥床遊ばされ候趣
- 承りますれば、奥様には先頃からお風邪にてお臥りの御由
- 承りますれば御主人様には、このごろ急に御發病遊ばされ御入院の御由、おどろき入り候
- お子様急に御發病との御事さぞかし御心配の
- お熱がお高いさうでお案じ申してをります
- 何分お年弱の御大患の事とて、今後の御用心が何より御大切と存せられます
- その後御容態いかゞでございますか
- 手術後の經過は順調におすゝみでございますか
- 御主人様のお傷のあとが挨拶しく御快癒に向はせられず、未だに御養生中とのこと
- 承ればあの晩から御發病とのこと
- 存じませぬことは申しながらお見舞にもまゐりませす
- 熱はお下りになりましたでせうか
- 召し上りものは、おすゝみになりますでせうか
- その後の御經過いかゞに候や
- 何分日頃の御元氣、豫後は思ひの外に早くお快くなられますことと存じます
- 御回復の ○御快癒の
- 日頃とりわけお丈夫でゐられますこと故、日ならず御全快の御ことと存じます
- 今年の風邪は質のよからぬ由に候へば
- 大分およろしいとはお母様より伺つてをります
- このお寒さの上に御高熱の御大患なれば
- 御看護の方々の御心勞御察し申上げます
- 勿論御快方の御ことは存じますが、何分御加養專一にと
- 何かと御不自由な御こととお察しいたします

看養 加養 解熱 油断 療養 併發 病勢 薄紙 平靜 熱誠 輕快 氣長

看養 加養 解熱 油断 療養 併發 病勢 薄紙 平靜 熱誠 輕快 氣長

- 解熱後も油断をいたしますと耳をいためます由
- 何とぞ暫くは御無理を遊ばしませんやうに
- 病氣には勝てませんから
- 病氣は一に氣のもの申す位なれば、お心をゆつたりお持ちになりまして御養生專一に遊ばすやう
- お氣長に御療養遊ばしますやう
- 餘病など併發のことなきやう、御用心くれぐれも祈り上げます
- 御病勢も峠を越したとお知らせ嬉しく、この後は日一日と薄紙をはぐ様に御回復のことでございます
- 少し快くなるとつい油断しがちでございますが
- もう一息といふところが最も大切でございますから
- 度々御失敗の後ゆるゑ、この機會と申しては失禮かも知れませんが、今度こそいよいよ思ひ切つて根本的の御治療をなさいますやう
- お手當は十分になさいましても、お心を平靜におもちになることが大切でございます
- あなた様の熱誠な御看護だけでも、日ならず御輕快の御ことと存じます
- 一日も早く御全快の御知らせに接したく
- たゞ一日も早く、御全快をいのりながらこの手紙認めます
- 早く氣ついて、養生がとゞきさへすれば必ず全快すると伺ひますから、あまり御心配なさらず、お氣長に御養生遊ばすやう
- 閑靜な土地での御靜養もよろしきことと
- 吳々も御大切に遊ばしますやう
- 折角御療養專一にいのり上げます
- 何分御養生專一に遊ばしませ ○御加養 ○御加養 ○御用心
- 御食事も固形物までおすゝみになりました由
- 御看護疲れの出ませぬやうにと祈ります
- 何卒一日も早くお丈夫におなりになつて、元の様な明るい御一家に立ちかへられますやうお祈りいたします
- 早速御見舞に伺ひたいのでございます

固形物

固形物

流動物

流動物

開靜

開靜

果物

果物

壽司

壽司

一折

一折

御如

御如

再發

再發

氣分

氣分

食欲

食欲

濕布

濕布

服藥

服藥

○皆々様のお手厚き御看護により御病状も峠をお越しになりました御由、何よりくと御喜び申し上げます

○お熱のあるお口に何かあふものと、新しい葡萄のしぼり汁少しお目にかけます

○この品お口にはあひませんでせうが

○お見舞の方々へのお茶菓子にもと

○これはお母様の御病中、何かとつれづれのお子様方へお相手はりにお目にかけます

○お手少なにて御不自由がちと存じ、つまらぬ品ながら御看護の方々へのお口よしに、壽司一折おとつけ申上げます

○この花お見舞のしるしまでにお目にかけます

○もとより御如才ないことは存じますが、萬に一つも再發のことなどないやう、この際十二分の御療養お願ひ申上げます

同 返事の用語

○あるじの病氣につき早速御見舞下さいまして

○おかげ様にてこの頃は気分もよろしく、日増に顔の色つやも出てまゐりまして

○御心配頂きました餘病も幸と起らず

○食欲も些か出てまゐり候へば

○なか／＼歩々しからず一進一退にて

○お贈り下さいました花を美しいとて毎日あかすがめてをります

○お心入れのスープは、病人が何より喜び頂戴いたしました

○御心づくしの見事な果物、病後の口にまことにおいしく

○胸の濕布もとれ、只今は吸入と服薬ばかりになりました

○一時熱高く衰弱も甚しく、随分と心配いたしました

○解熱と共に呼吸も平調となり一回愁眉を開きました

○離床も近いことと存ぜられます ○やがて床上と

○本日は少し熱が高く食事も進まず

○この分なれば櫻のたよりを聞く頃には、すっかり元の體にかへる

衰弱

衰弱

御驚

御驚

轉地

轉地

甲斐

甲斐

近火

近火

延焼

延焼

類焼

類焼

炎上

炎上

鎮火

鎮火

猛火

猛火

火足

火足

安堵

安堵

○こと喜びをります

○久しぶりに庭先をそぞろ歩きいたしました

○兩三日中には退院のお許しを得まして、病人ともく飛び立つほどのうれしさでございます

○何分老人のこと故義弱甚だしく

○御懇篤な先生方の御手當を頂きまして、こんなにも早く全快の日を迎へました

火事(近火)類焼見舞の用語

○昨夜の御近火さぞくお驚きの御こと

○御近火のため一時のお立退きまで遊ばされ候由

○只今ラヂオにて函館市大火を承知、大いに驚き即刻電報にてお見舞申し上げましたが、御無事でございましてせうか

○ニュースによればお宅様のあたりは、延焼お免れのやうに察せられ些か安堵いたしますが

○風の方向よりすればお住ひは風上ゆゑ大丈夫と存ぜられ候へども

○皆々様御無事お立退き遊ばされました由

○僅か一時間たらずの間にあれほどの大火

○真夜中の出来事ではありお寒さの折柄、お姑様はじめ皆々様おさはりはありませんでしたか

○御心身の御疲れいかばかりと御察し申し上げます

○皆様のお驚きもいかばかりか、御老母様、お小さい方々などにお怪我などございませんでしたか

目 抜	烈 風	具 道	隣 家	災 難	附 跡	邊 御 知	我 御 怪	中 眞 夜	風 向	風 上	立 退
目 抜	烈 風	具 道	隣 家	災 難	附 跡	邊 御 知	我 御 怪	中 眞 夜	風 向	風 上	立 退

○お知邊には定めし御類焼になつた御家もございましたでせう
○跡片附にお大變のことと存じ、何かの御用にもと店の若者伺はせ
ます
○御主人様御留守中のことではあり、あの火足の早さにはさぞく
安き心もおはさざりしこと、察し上候
○間もなく鎮火となりました由
○御類焼遊ばされました由、驚き入りました
○昨夜の大火に御類焼の厄にお遭ひなさいました由
○全く思ひがけぬ災難にて
○御隣家まで来てやうやく焼止りました由
○身の毛もよだつ猛火と想像いたしました
○皆々様お恙なくお立退き遊ばされましたこと、何よりのお幸ひと
存じ上げます
○お道具なども大方はお持ち出し遊ばされました様子
○今朝の新聞にて御地大火の記事を見、御類焼のこと承知、まことに
に驚き入りました
○あの烈風の中を藤屋から出火して、吉野様まで目抜の通りを二百
戸も類焼させたとのこと、きつと御宅も御災難だつたのでせう
○多少ともお荷物などお持出しになるおひまがございましたか
○折角御苦心經營のお店を、一たまりもなく烏有に歸せられたる御
落膽のほど深く拜察
○當座のお凌ぎとして、失禮ながら持合せの品二三お届けいたしま
した
○御勤務先の會社も同じ災厄にあはれました由
○非常の際のはからひとして、失禮ながら持合せの品にて早速のお役
に立つやう思はれますものお送りいたします。御主人様へはよろ
しくおとりなして下さいませ
○何せよこの寒空には御不自由の限りでせうと存じ、とりあへず私
共の不斷着二襲づつに眞綿そへて取いそぎ送りました(妹等へ)
○さし當り當座の御用にと、食料品とりませお見舞のお印までにお

居 假 住	避 難	總 跡	原 野	晴 天	間 瞬 く	消 防	中 取 込	品 食 料	一 襲	着 不 斷	烏 有
居 假 住	避 難	總 跡	原 野	晴 天	間 瞬 く	消 防	中 取 込	品 食 料	一 襲	着 不 斷	烏 有

送りいたします
○何なりと御入用の品がございましたら、御遠慮なく仰せつけ下さ
います
○とりあへず御見舞まで
○お取込中と存じわざと参上をさしひかへました
○早速お見舞にあがりたいたのですが、女の身とて却てお邪魔になる
ばかりと存じ

同 返事の用語

○この度の大火につき早速にお見舞いたゞき、まことにありがたく
○その上御恵送頂きまじたお心づくしの品々澤山 時にとつてこの
上なく重寶、ありがたく頂戴いたしました
○一時は私共の方も危いかと思ひまして、荷物などそちこちまとも
でしたが、中途にて幸ひ風向きが變り類焼を免れました
○消防の方の必死のお働きにて火は割合早く喰ひ止められ、私共も
幸ひに類焼を免れました
○すつと晴天つゞきにて乾き切つてをりました事とて、瞬く間もあ
らせず炎上いたしました
○當座の入用だけはやうやく運び出しました
○御承知の通りの小さな町が、目抜のところをすつかり焼き拂はれ
一面の焼野原となりました
○一物もとゞめぬ焼跡に立つて、たゞ前夜の猛火を夢の如く感
じをります
○幸ひ家族は老人はじめ一同無事避難いたしましたから御安心下さ
います
○さし當り當座の間表記に住ひを定めました
○とりあへずこゝを假りの住居といたし、早速にも店の方の跡始末
をいたしましたすつもり
○何とも残念なのは父の記念の書籍など、烏有に歸したことでござ
います

跡始

復興

暴風

水害

連日

豪雨

大増

洪水

氾濫

濁水

出水

地域

跡始

復興

暴風

水害

連日

豪雨

大増

洪水

氾濫

濁水

出水

地域

○早速の御はからひにてお壽司澤山お届け下さいまして、何よりうれしく存じました

○どうやら案外早く復興いたすらしく存せられます

○とりいそぎ御禮まで

暴風水害見舞の用語

○連日の豪雨にて諸川大増水と承つてをりました

○近年稀なる大洪水の由にて

○今朝の新聞にて利根川氾濫の記事を見、びつくりいたしこの手紙認めます

○今朝の新聞にて御地方の風水害の模様承知いたし驚き入りました

○××川氾濫の地域一帯の水害、田畑の流失、倒壊家屋などの文字も見えます

○どうぞお力落し遊ばされずお心強くお後の手配遊ばしますやうに

○御被害甚大のやう傳聞いたし

○御住居のあたりは山つゞきの高地ゆゑ、御被害はあるまいと存せられますが、田畑などの御損害いかゞとお案じ申しをります

○御收穫前の洪水にては田畑の惨害も思ひの外のことと思はれ

○あの一望千里の沃野が濁水におし流されてしまつたのは、いかにも残念と存せられます

○そちら様、地つゞきの叔父上様宅の御安否いかゞでいらつしやいませうか

○出水のあととはとかく悪疫の流行することが多いさうですから、くれぐれも御健康に御注意下さいませ

○幸ひに事なくお慶ぎのことひたすら祈念いたしをります

○水中却て飲料水に事缺かれますこと

○いまだに電信電話不通のこと、やむなく手紙にて御安否おたづねいたします

○今ごろは水の上にて御難儀ではないかしらなどと想像いたします

一帯

田畑

流失

倒壊

家屋

破損

被害

損害

惨害

甚大

收穫

沃野

一帯

田畑

流失

倒壊

家屋

破損

被害

損害

惨害

甚大

收穫

沃野

と、居ても立つてもゐられませんが

○真夜中に堤防決潰とのこと、被害の程もいかゞとお案じいたします

○御病臥中の御主人様にお障りなきかとお案じ申上げてをります

○皆々様御無事御避難遊ばされましたでせうか

○皆様御無事にいらせられ候や

○なほ御都合によつては、お子様方だけでもこちらにてお預りいたしませう

○當座のお凌ぎに雑語類少々使にてお届けいたします

○昨夜来の暴風雨御地方は特にはげしきやう報せられ候ところ

○おそろしい風でございましたが

○家屋の倒壊も少からざる由

○電信電話一切不通と申しますにも、被害は少からぬやう存せられ

○お住ひに御被害はおありになりませんでしたか

○昨夜来の暴風、御地海岸一帯は殊に被害はげしかりしやう報せられ候ところ

○高臺で見晴しには恵まれていられますだけに、風當りも強くどんなにか御心配遊ばしたること

○通信機關も故障のためか、ラヂオにてもその後委しきニュース入らず

○日頃は海を見下す眺めよろしきお住ひだけに、あの南風には風あたりいかばかり烈しかりし事ごと、母は夜もすがら案じをり候

○厄日とは申しながらあまりな荒れ方

○昨日のあらしに引かへて今日は忘れたやうな上天気、憎らしい気がします

○お宅や御附近はいかゞでございましたか

○心せくま、取急ぎ御様子お伺ひいたします

○何卒御一報下さいませ

同 返事用語

悪疫 飲料水 通信機 電信 電話 電線 不通 安否 堤防 決壊 昨夜

悪疫 飲料水 通信機 電信 電話 電線 不通 安否 堤防 決壊 昨夜

○早速にお見舞頂き 忝く存じます
 ○この度の風水害は思ひの外に甚だしく
 ○河邊ちかい一帯の家屋は床を没するほどの氾濫にて、従つてあたりの田畑の被害も多く
 ○畑の手入れなど、終へし人々の悲嘆も想像以上でございます
 ○風害の方は裏山の森にさへぎられて、風の激しきわりにはこれと申す被害もなく
 ○幸ひに子供たちは元氣にて、破損箇所をさも手柄顔に數へたてなどいたしをります
 ○老父も何かと村方を案じ力落しの様子にございませが
 ○一時那珂川の橋が落ちました際は、流石に主人も茫然自失の態でございませが
 ○山地のこととてまるで鹽の水を覆すやうな水足の速さには、人の家の倒壊も流失も手の下しやうもなく
 ○住居も倉も土臺まで浸水いたし、どうなることやらと生きた心地もございませが
 ○幸ひにも皆々無事に逃れましたから、お喜び下され度お願ひ申し上げます
 ○一週間ははたらくものにも事欠き、井戸水も使へず難儀いたしました
 ○四五日は小学校も休校の様にて
 ○今はたゞ落膽してゐる場合にはこれなく、復興のため村の人たちと力を協せなければなりませんので
 ○こちらの住居は今度の水害には全く無事でした
 ○川ぞひの村は水に浸つて鏡がなつたり、一時はなか／＼の騒ぎでしたが、どうやらその方も水が引き出した
 ○被害と申しては庭木が七八本根こぎにされました事と、表の板塀の倒壊ぐらゐにて
 ○皆々無事避難いたしましたから御安心下さいませ
 ○田も早稲は大方やられました、晩稲は開花がこれからといふと

海岸 故障 板塀 瓦屋根 青年團 震災 強震 地震源 餘震 揺返 津浪 襲来

海岸 故障 板塀 瓦屋根 青年團 震災 強震 地震源 餘震 揺返 津浪 襲来

ところで助かりました
 ○電線 悉く切られ、たど／＼しい蠟燭の燈で認めをります
 ○前年の大暴風に懲りて逸早く備へていたしたので、大難は免れました
 ○住ひも工場の方も屋根瓦少々飛びました位のことにて
 ○青年團の必死の活動にてこの度は全村災難を免れました
 ○御恵送の品々早速近所の方々にもおわけいたし重寶いたしました
 ○何より食物の不自由の折柄、澤山の雑詰類頂き生きかへつた心地いたしました
 ○御安心いたゞき度とりあへず走りがきにて、御禮旁々様子お知らせいたします
震災見舞の用語
 ○昨夜の地震には吃驚いたしました
 ○今ラヂオにて御地は強震と知り、二度びつくりいたしました
 ○どんなにお驚きになつたことかと、遙かにお察しいたします
 ○今朝の號外にて御地は強震にて倒壊した家屋もあります由
 ○新聞紙上にて 承り候へば ○御無事御避難遊ばされ候や
 ○震源地に遠からざる由にて ○御被害はおはしませず候や
 ○火災さへ起りましたさうで一層被害も甚大のことと
 ○御住居、御家の方々におさはりはございませんか
 ○夜中不意のことにてさぞ／＼お驚きのことと存じます
 ○此地でも二度までも餘震で眠りを破られました
 ○關東大震災にあつて地震ぐるゐる恐いものは無いと、しみ／＼経験してをりますので
 ○御地海岸一帯は津浪襲來とかラヂオにて報せられ
 ○御新築の御住居にて地震の方は兎も角も、津浪の御被害いかゞとお案じ申しをり候
 ○御新居は堅牢な日本建のことに地震には大丈夫と存じますが

棚 震 壁 吃 員 心 附 病 中 調 事
 棚 動 壁 驚 傷 痛 添 院 業 帶 故

○この邊さへかなり強く感じましたから
 ○お小さい方々のお驚きいかばかりとお察しいたします
 ○何よりお産後間もないあなたにおさはりなきかとお案じ申し
 ○御病人をお抱へになつてさぞお心細くおられましたことと
 同 返事の用語
 ○お早々に御心配頂きありがたう存じます
 ○昨夜の地震につき早速の御見舞
 ○咄嗟のことにて驚きはいたしました、被害としては申す程のこと
 もなく
 ○棚のものが落ちて散らかりました位のことにて
 ○土蔵の壁に地震のあとを残しましたばかりにて
 ○住ひにも人にも何の障りも無之何卒御安心被下度
 ○思はず飛び出し ○日中であつたのが幸ひ
 ○關西より上京の老母が慣れない事とて吃驚いたし
 ○その様をかしかつたと笑ひあひ

怪 我 見 舞 の 用 語

電 衝 全 傷 人 不 遭 狼 出 打 骨 骨
 車 突 治 御 事 省 難 狼 血 撲 折 腿
 車 突 治 御 事 省 難 狼 血 撲 折 腿

○どんなに御心配、御不安だつたでございませう
 ○お足もお立ちにならないか、誰かお抱きして病院へおつれしま
 したと伺ひ驚きました
 ○御老母様お二階よりお墜ちになりお怪我遊ばしましたとか
 ○工場にて御作業中、調帯にはさまれてお手に御負傷遊ばされまし
 た由
 ○今朝の新聞にて昨夕の電車の衝突事故のため御負傷のこと承知、
 全く驚き入りました
 ○全治までには十数日を要するとの記事にて、御重傷なのではない
 かとお案じ申し上げてをります
 ○傳へ聞きにて御怪我の程度判明いたしませんか
 ○御經過大變およろしいとのこと安心いたしました
 ○不意のことにてさぞかしお驚き遊ばしたと存じます
 ○早速にお見舞に上りたいのでございますが
 ○幸ひにお軽くいらせられ安堵いたしました
 ○人事不省に陥られたと伺ひ ○御家族御一同様の御心痛いかば
 かりかと
 ○御歸京の途中の汽車にて思ひもかけず御怪我なさいました御由
 ○ラチオを聞きをります中、思ひもかけず遭難の飛行機にて御歸阪
 の途中御重傷の御様子
 ○その後の御容態いかゞでございますか
 ○全治遊ばすまでは快して御無理遊ばしませんやうのり上げます
 ○果物一籠お見舞のしるしまでにお届けいたします
 同 返事の用語
 ○早速の御見舞にてまことにありがたう存じます
 ○何分咄嗟の出来事にて、病院より電話をうけま
 しましたか
 ○出血量が少かつたため、快癒が早いとの
 たしました

いよいよ度

物お 鏡 空 買 高 盗 傷 明 意 腕 別 糊
召 鏡 巢 物 價 難 痕 瞭 識 木 條 帶

お召物 鏡新 空巢 買物 高價 盗難 傷痕 明瞭 意識 腕木 別條 糊帶

○ たゞ打撲傷のみにて骨折などはいたしをりませぬ様子
○ レントゲン照射の結果、少々腿の骨をいためましただけに
○ 頭も顔も糊帯で包んだのを見ました時は、と胸をつかれる思ひが
いたしましたか
○ 幸ひと腦の方には別條ございませんでした
○ もう日ならず腕木もとれますらしいので
○ 最初から意識も明瞭、傷の痛みも日と共に軽くなりますので
○ 大難が小難ですんだと本人は元氣でをります故御安心下さいませ
○ この分なら全治の上は、元の通りになるものと喜びをります
○ 心配いたしました熱も出ませず、経過は至つてよろしく
○ 頂戴の葡萄酒を殊の外喜び毎日いたゞいてをります
○ 御心配頂きましたが傷は在外輕うございまして、全治後は傷痕も
のこりません由で安心いたしました
○ 日ならず元氣な姿でお禮申し上げます

盗難見舞の用語

○ ゆふべお宅では盗難にあはれました由、今朝出入のものより伺ひ
○ 高價のお品澤山お御遭難の由
○ 御揃ひお買物にお出掛けのお留守の間に御災難の由
○ ふだんからお留守勝ちなのをねらつてゐたものでございませう
○ 玄關へ鏡をおろさずにお出まじになつたのではありませんか
○ お召物などそつくりおとられなさいましたとか
○ あんなに締りを嚴重にしてゐられますのにどうして入りましたか
○ お大切な品おとられになつたのではございせんか
○ どなたにもお怪我がなくて何より
○ これが夜中に押入られて、双物でも振廻されたのでは堪りません
○ まあ、お召物が身代りになつたと思し召して
○ 泥棒におどかされるなどといふことは、話にきくほどあるもので
もないと思つてゐましたのに

中不 窓 戸裏 現 宅御 番 戸 泥 強 双 押 嚴
在 窓 裏 金 御 犬 締 棒 盗 物 入 重

不中在 窓窓 裏裏 現金 御宅 番犬 戸締り 泥棒 強盗 双物 押入 嚴重

○ 戸締りなど長い間には手ぬかりといふこともありますが
○ 矢張り災難はいつどこからやつて来るかわかりません
○ 又萬事御近所ともお力になりあふやうになさるがよいと存じます
○ 無人ではいらつしやいますし、番犬をお伺ひになることをせひお
すゝめいたします
○ お留守居の方はお一人下さぞお驚きになつた事せう
○ お正月を前にしてとんだ御災難でございました
○ 今朝の新聞でお宅の御盗難のこと承知、驚きました
○ この後暫くは御心持のおわるいことと存じますが
○ とりあへず盗難届はすぐにお出しになつて
○ なるべくお留守居をおいでにお出まじになるやう
○ この際御主人様の御歸宅時間を、繰上げて貰ひになることですね
○ お小さい方々が、こはい目をこらんならなかつただけでも幸
でございました

同 返事の用語

○ 盗られましたものは現金ばかりにて額も少なく
○ 夕方先に歸宅いたしました主人が、裏木戸のあいてゐるのを見て不審
いたしました
○ 締められた風呂場の窓から忍び入りしましたらしく
○ 幸ひと子供たちが騒ぎを知らずに眠つてをりました
○ 心のしまりの無さを警告せられましたやうで、頂門の一針とも申
すところ
○ 家人不在中のごとにて、誰にも怪我のなかつたのが何よりと
○ 方々から御見舞いたゞき却つておはづかし
○ まづ、大難が小難ですみました次第
○ 一寸市場へ用足しにしました間のごとにて
○ 仰せまでもなく以後は締りを嚴重に御近所とも協力いたします
やう

○ 早速の御見舞にて恐れ入りました

豫て 中御心 中御胸 きお歎 傷御愁 し力落 音御計 報御悲 りお致 界御他 眠御永 去御逝

豫て 中御心 中御胸 きお歎 傷御愁 し力落 音御計 報御悲 りお致 界御他 眠御永 去御逝

お悔みの用語

- 御母堂様御逝去の御知らせあまり突然の事として本當とは
- 承り候へば御令息様には俄かの御わづらひにて御逝去遊ばされ候(御由(目上の人))
- 御良人様にはお手厚い御看護の甲斐もなく遂に御永眠遊ばされ承り候へば小川先生にはかねて御病中のところ御養生かなはせられず御逝去遊ばされ候(御由)
- 御隠居様には昨夕遂に御他界遊ばされ候(御由)
- 秋子様おなくなりのお由、あなた様のお力落しはさぞかしと
- 冬子様には今曉突然御逝去遊ばされ候(御由) 由驚き入り候
- 承れば一郎様お致くなりのお由驚き入りしました
- 御悲報に接し胸つぶる、思ひ
- 御全快の日をひたすらお待ち申し上げてをりましたのに
- 御訃音に接し御心中御察し申上候
- 夢かとはかり驚き入りしました ○さぞかし御愁傷の御事と
- 御兩親様の御胸中 ○御子様方のお歎き
- あなた様のお歎きをお察してたゞ心痛むのみでございませす
- 皆々様にはさぞかし御歎きのことと心よりお悔み申上候
- あなた様のお嘆き、又お母様のお力落し、いかばかりにおはし候はんと ○他人の私でさへこれほどに思ふ位ですから
- あのおやさしいお母様についての思出は繰つても盡きない程でございませす
- この世ではもう目のあたりお目にかゝる事も出来ないとは、何といふ残念なこととございませす
- あなた様のお心の中はどんなにか辛いことと(同輩へ)
- 私も大きな頼りを失つたやうな気がいたします
- 遙かに御靈の安らかなお旅立ちをおいのりいたします
- あれが御最後にならうとも思ひませんでしたので

料御香 前御佛 前御靈 福御冥 冥途 骸御亡 永別 後御最 御靈 御悔 残念 驚き入り

料御香 前御佛 前御靈 福御冥 冥途 骸御亡 永別 後御最 御靈 御悔 残念 驚き入り

- あの可愛いお姿やいたいけな御様子次々とお思ひ出しになつて
- お宅様の御事故どんなにか御手厚い御看護を遊ばした事とございませうに
- あれほどまでに全身全霊を傾けて御つくしになつて御本復遊ばさなかつたのですから
- 御良人様はつね々お心の底から奥様に感謝してゐられましたし
- 永の御病中あの涙ぐましい御看護には私共皆々敬服いたしました次第
- 子として親の命の長きが上に長かれと希ふは人情でございます
- 今は私たちが涙を拂つて御母堂様の御冥福をいのり上げませう
- この上はお子様の御養育に御力の限りお傾けになりました
- お子様お三人お揃ひにて御健康御利發にいらせられ、末にお樂しみの多い事とございませすから
- 冬子様は御兩親の愛にかけては何人も及ばぬ幸福を得られてお致くなりになりました
- あまりお歎きになつては却つて冥途のさはりと昔から申します
- そのお聲も今は耳にすることを得ずその御姿も拜することを得ぬ悲しき御別れと相成申候
- 先生のお教へは教へ子たちの生ける限りその胸に生きて
- お亡くなりになつて見ると一層惜し濟まない氣もいたします
- 泣きても泣ききれぬは肉親との永別にこそ候へ
- あまりのお歎きに御身をそこなはせられぬやう願ひ上げませす
- すぐにもかけつけせて御亡骸に一同お別れも申し上げ、あなたをお慰めしたいと思つたのですが
- せめては亡きお方様へのまごころのお務めとして及ばずながら、この後いつまでも御相談相手の末にお加へ頂き度
- お母様もあなたもお體に御無理のか、らないやう
- これ皆天命とおあきらめ遊ばされ(友達又は目下へ)
- 御心中御察し申し上げるさへ御いたはしく
- お悔み申し上げん言葉もこれなく ○御追善專一に遊ばされ度
- 直ぐ參上何かのお手傳ひでもさせて戴きたいのでございませす

御香	御供	御物	御玉串	花輪	香華	天命
古香	供物	御物	玉串	花輪	香華	天命
古香	供物	御物	玉串	花輪	香華	天命

○親しく御目にかゝりお悔み申し上げ、御野邊をとお見立て致したく存じ候へども

○何分遠く山河をへだて、それも叶ひがたく

○取敢へず御悔み申上候

○同封の寫替御香料のしるしまでに

○生花一對別に持たせて差出しました

○別封の寫替は心ばかりの香華の資にと

○遠路思ふにまかせず書面を以て取敢へず御悔み申し上げます

○御靈前へ粗菓一折別便にてお送りいたしました

○御佛前 ○御香奠 御香料 ○御供物 ○御玉串料

○御靈前 ○御華料 ○御花環料

同返事の用語

○この度母の死に際しては早速に御申下され

○冬手がなくなりましてに於いて早速御悔み状態はり

追善	野邊	弔問	弔慰	感懐	無量
追善	野邊	弔問	弔慰	感懐	無量
追善	野邊	弔問	弔慰	感懐	無量

○御心籠れるおくやみの御状に添へてお供へるまで頂戴いたしました

○御心籠められ候御品(目上) ○御心入の品

○早速御慰な御弔慰を頂戴

○故人の靈も深く感謝仕候ことと

○御弔問御香奠を賜はり ○過分な御花輪をお飾り戴き

○御心こめられた御品お供へ下さいまして

○御懇なお言葉にそへ御重なる御供物頂戴しまして

○厚いお志の御香料はすぐさま靈前に供へました

○亡き妻の昔の友達のあなたから御慰問のお手紙を頂いて感懐無量です

○子供もあること故さうもしてゐられないとどうやらあきらめて

○お優しいお力添へのお言葉を頂戴いたしました

○いつもかはらぬあなたのお心に心から感謝いたします

○御忠告に従ひせいに氣持を引立てませう(目下)

○何卒この後ともお力添へ願ひ上げます



文話 婦人手紙文範 八波則吉著

これ一冊あれば、どんなむづかしい手紙も、自由に見事に書けます

- 新時代の生きた手紙
- 手紙の文と普通の文
- 婦人の手紙と男子の手紙
- 手紙の形式
- 手紙の書式
- 手紙の認め方に關する注意
- 葉書文の作り方と注意
- 葉書の認め方と注意
- 婦人手紙上達法
- 手紙の種類
- 年賀状
- お祝ひの手紙
- お見舞いの手紙
- 招待の手紙
- 勧誘の手紙
- 贈物に添へる手紙
- お禮の手紙
- 通知の手紙
- 紹介の手紙
- お願ひの手紙
- 問合せの手紙
- 注文の手紙
- 催促の手紙
- お断りの手紙
- お詫びの手紙
- 相談の手紙
- 慰めの手紙
- 激励の手紙
- 忠告の手紙
- お悔みの手紙
- 近況を知らせる手紙
- 趣味の手紙
- 巻紙の書式
- 葉書の書式
- 書簡箋の書式
- 和封筒洋封筒認め方
- 巻紙と書簡箋の折り方と封筒へ入れ方
- 繪葉書の認め方
- 手紙一切の用語例

定價一圓五十錢

送料内地十四錢・朝鮮・臺灣・滿洲・樺太・南洋・支那 十八錢

新年會

新年會

新年會に招待する用語

相催

お備し

○先生を中心にして昔語りや半日を楽しく過したく
○同窓の方だけで水入らずの新年會

例年

何年

○ことしも正月七日吉例の新年會いたしたう存じますが
○今年は祖母の古稀の祝ひをかねて、せい一杯賑やかにしよう

吉例

去何

○時節柄ほんのおふだん着のま、
○どちら様へもお子様つれにてお出で下さいますやう、申上げてあ
りますから

賑やか

賑やか

○吉例の歌留多會はこの土曜日といふことにいたしました
○今度は姉がお臺所を一人で引受けてくれますので

時節

時節柄

○あなたは姉が新婚早々の旦那様を、百萬の味方とばかり
○あなたがお出で下さらないと、斷然味方の勝味がないのですの
○萬難を排して参加して下さいませぬ

團居

團居

○去年のカタキうちにお嫌でも、お出で下さらなければ(友へ)
○小さい方々ばかりの新年會を催したく存じます

餘興

餘興

○あのお祖母さんを圍んでの團居、どんなに楽しいこととございま
せう ○御家庭御團樂の中にお加へ下さいますこと身に餘る光榮

歌留多

歌留多

○新年早々におなつかしい先生はじめ、同級の方々にお目にか、れ
ます由 ○かるたはともかく、皆様にお目にか、れますだけでも

會來

會來

○私だけ少し早目に三時頃からお手傳ひのつもりで伺ひます
○去年のカタキと申されると斷然戰意が躍動してまゐります

參加

參加

○今から土曜日が待ち遠しく、何だかそは／＼してをります
○一寸心配なのは、皆様昨年よりもずつとお腕がお上りなすつたで
せうといふ事ですの

遊戯

遊戯

○今年のお正月には一向歌留多の練習など致しませんでした
○でもお強いあなたとは、今年も組にして戴けますから安心ですわ

御集

御集

○當日のお菓子だけは私の方より持参いたします
○仰せまでもなく萬難を排し精鏡の新敵見参とばかり参上

練習

練習

誕生祝に招待する用語

参上

参上

○十七日の日曜日は私の誕生日でございますから
○第×回目の誕辰を迎へましたので、いさゝか小宴を催したく

誕生祝

誕生祝

○生れるとからあんなに可愛がつて戴きました花子の、この頃の成
人ぶりも御覽に入れたく

相當

相當

○小さい方々ばかりお集り願つて、一日のりとお遊び戴きたく
○本人もきつと喜ぶこととございませう

小宴

小宴

○心ばかりの晩餐をさし上げたたく○さ、やかな手料理には候へども
○午後五時までに、私宅まで御來車下さいませう

祝宴

祝宴

○一郎もぜひ先生にお目にか、り、御高恩の数々御禮申上度申しを
り候ま、○お運び願上候は恐入候事に候へども

心置

心置

○お招きしたのはあなたの外に光子さん、知子さん、雪子さん
○御遠慮のない方々ばかりですから ○メンバーは揃つてますの

祝宴

祝宴

○お歸りは車でお送りいたしますから、雨が降つてもぜひいらして
下さい

晩餐

晩餐

○花子さんおめでたう、あなたの二十二回のお誕生のお祝ひにはせ
ひ連らせて戴きます

自慢

自慢

○粗末な品お送りいたしましたのに、そんなに喜んで戴いてうれし
うございませう(普通)

降雨

降雨

○却つて恐縮に存じます(自上へ)
○當日は参上ぜひ、お祝ひ申しのべたく ○親しく御祝詞を

降雨

降雨

○おめでたいお誕生祝ひには、何を措いても参上いたします
○あのお可愛かつた一郎様、はやそれほどに御成人なされたかと驚
き入り

同 返事の用語

撰草相	太鼓	居村芝	神興	山車	祝賀	戦勝	豊作	鎮守	八幡様	秋祭	祭禮
草相撰	太鼓	村芝居	神興	山車	祝賀	戦勝	豊作	鎮守	八幡様	秋祭	祭禮

祭禮に招待する用語

○彼岸花が眞赤にもえて秋祭の日が近づいて参りました
 ○八月二十日は村の八幡様のお祭でございませうから
 ○此頃は鎮守の祭も近づき村の人々が心も空に日夜騒いでをります
 ○村にては数年来の豊作とて、祭禮も一入賑はしき事と存せられ候
 ませ、

○戦勝祝賀のことろをこめて
 ○めづらしき山車も久しぶりにて出ますさうですから
 ○太鼓の音は子供の頃のなつかしい夢をよびさましてくれるでせう
 ○祭の提灯のほかげは、幼い日の幻をうかび出させてくれませう
 ○晝は法樂の草相撲を例年より盛大に催します由
 ○老杉にこだまする踊の音頭
 ○こちらの踊りは郷土舞踊としても有名で
 ○田舎のことろでさし上げる御馳走はきまつてをります
 ○名物の神樂をどり ○古めかしき行事 ○ひなびたる村芝居
 ○時節柄栗もみのり、柿も色づいてをり
 ○あの八幡様の社殿に額づいて祈つた乙女の日の思出
 ○乙女の日が今更ながらなつかしまれます
 ○お子様方御揃ひにて(目上へ)
 ○お子供衆皆々おつれになつて(目下へ)
 ○今年はぜひ叔母上様、こちらの祭を御覽願ひたう存じます
 ○お宜しければ三四日前からお越し下さいますやう
 ○子供たちは、今より叔母様のお出でをまちわびてをります
 ○祭にかこつけてあなたのお出を願ひ、久々に心ゆくまで秋の夜長を語り明したく
 ○おいでの日と時間お知らせ下されば、私が停車場までお迎えにあげます
 ○近くには紅葉で名高い山もございませうから御案内申し上げたく

郷土	舞踊	神樂	音頭	一周忌	七回忌	法要	申陰	命日	御親交	供養	佛事
郷土	舞踊	神樂	音頭	一周忌	七回忌	法要	申陰	命日	御親交	供養	佛事

○鎮守祭のお招きありがたう存じます
 ○あなたの町や鎮守の森やそこから見える遠い山々が、目にうかぶ
 ことがあります ○久しぶりに俗塵を拂ひたく
 ○神興の渡御を御一緒に並んで拜した思出
 ○子供たちも大喜びにて、一人残らずお邪魔に上りたいと申しをり
 ます ○時節柄祖國意識を高め候ためにも

同 返事の用語

佛事に招待する用語

○来る十九日は亡き姉の一周忌に相當りますので、心ばかりの法要
 を営みたく存じます ○三周忌 ○三年忌 ○三回忌
 ○来る七日は亡母貞鏡院清高妙薫大姉七回忌に相當り候につき
 ○明後八日は亡兄の満中陰忌に相當り候については
 ○亡夫の記念の品も原隊よりお送り届け下され候、ついてはありし
 日の思出語りに故人をなぐさめ度
 ○明十三日は弟二郎戦死の命日でございませうので
 ○きのふけふと思ひ候うちはや満中陰の供養をいたすことと相なり
 ○佛事を営みたく存じますゆゑ ○いさゝか法要を営み度
 ○生前御親交をたまはりました方々に
 ○午後二時より牛込寺町慈光院にて供養の後、近くの「花月」にて
 粗餐用意いたし候ませ、
 ○序を以て遺墨を御覽に入りたいと存じます
 ○晝中のことに候へば御みなりなど御氣輕にお出向き下され候やう

同 返事の用語

○亡き御母堂様御一周忌の御法要御営みの由にて、私まで御招きに
 あつかり、ありがたく御受上げます
 ○この品わづかばかりでございませうが、御靈前に御手向け下され度

法會 生前 遺愛 御形 新築 落成 設計 繰合せ 通風 採光 庭 眺め

法會 生前 遺愛 御形 新築 落成 設計 繰合せ 通風 採光 庭 眺め

○當日はぜひ御参詣申上げた
 ○故人御遺愛の御品々拜見いたしたく
 ○壮烈な御最期の御様子なども細々承りたく
 ○戦地よりお送りとつけられ候御形見の品々拜見させて戴き度
 ○御法會の御案内を頂いて、今更のやうに悲しき思出が胸によみがへつてまゐります
 ○御父上様御生前殊の外愛でさせられ候この白菊、御佛前にお供へ下され候やう
 ○年ごとに御思出の数は盡きざるべく私どもまで在りし日の御事ども語りて一時を過し候

新築祝に招待する用語

○いろいろ御心配頂いてをりました私共宅の新築も、おかげ様でやうやく落成いたしました
 ○粗末な安普請にて御覽願ひますのもおはづかし
 ○さ、やかなる店舗新築いたし候につき
 ○當日は奥様ばかりを御招待申上げることにしたし
 ○費用の少い割にはよい出来榮えと存じますので
 ○思ひの外に住み心地もよろしきやうにて
 ○窓の具合、樹木の配置までいろいろ苦心して戴きましたので
 ○母のなぐさみにと茶室しつらへましたにつき、その據開きをかねて仙花園(植木屋)に工夫させました庭の作りなど御覽に入れ度
 ○主人の素人設計 ○家はともかく眺めのよろしきが何より
 ○お勝手元の設備などにつきまして、お考へも伺はせて戴きたく
 ○主人の新考案と鼻高々の書齋のつくりも、ぜひ御覽頂きたく
 ○老父の好みにて離屋は数寄屋風にたてましたので
 ○加藤工務所の新進の技師の方の御設計にて
 ○臺所と子供部屋には少々私の工夫も加へて見ましたので
 ○何分場所柄敷地も手狭にてほんのさ、やかな住ひでございませう

茶室 書齋 勝手元 場所柄 敷地 風情 食堂 發案 番組 獨唱 藝鑑 披露

茶室 書齋 勝手元 場所柄 敷地 風情 食堂 發案 番組 獨唱 藝鑑 披露

○大勢の子供たちのため、何より陽當りよろしきやう設計いたし
 ○書齋の飾りには、伯父様より頂戴の横額が一段と光彩をそへてをります
 ○頂戴の額、朝に夕に御教訓として仰ぎ
 ○玄關のつくりはお宅様の御趣向を拜借いたし、こゝばかり些か風情ある心地
 ○便利本位にて風情もない新居でございませう

クリスマスに招待する用語

○クリスマス・イヴの二十四日に、私の宅で小さいお祝ひのパーティーをいたします
 ○今年はいつものお客様の外にお珍しい新顔が増えましたのよ
 ○食事の後で思ひきり遊ぼうといふ計畫でございませう
 ○今年には姉の發案で、昔の日曜學校の同級生全部の方に集つて戴くことに
 ○六時までぜひ、おいで下さいませ
 ○番組は當日のお楽しみに一切内緒にしておきますけれど
 ○その代り御馳走の方は、腕によりをかけて私が承ります
 ○今年には私たち姉弟ばかりの趣向なんです
 ○その代り兄からは新しいレコードが届いてますから、それもお楽しみの一つにして
 ○小さい方々を吃驚させるやうな、面白い餘興を御相談して考へたいと思ひます
 同 返事の用語
 ○今年も楽しいクリスマス・イヴにお招き戴きまして
 ○今度は新しいお客様もお見えになります由、とても楽しみでございませう
 ○お時間通り家族揃つてお伺ひいたします
 ○私もこの頃仕入れたばかりの隠し藝を御披露いたします

浴海 水	避暑	乗船	遠浅	大潮	狩干 干	決行	辨當	役案 内	同勢	行先	田舎 道
海水浴	避暑	乗船	遠浅	大潮	狩干	決行	辨當	案内役	同勢	行先	田舎道

ピクニックに誘ふ用語

○このところ大變よい氣候になつてまゐりました
 ○この長閑な季候に、田舎道を歩いて見たらさぞかしと思ひ
 ○今度の休日もこのまゝ、よいお天氣でしたら、お宅の梅子さんと夫
 さんも御一緒にピクニックに出かけよう
 ○こちらの同勢はあるじに弟に子供二人、それに私で五人
 ○この前一度行つた弟が案内役をいたします
 ○およろしかつたら皆様お揃ひで御一緒にお出かけ下さいませんか
 ○お膳はお粗末ながら手軽なものを此方で用意いたします
 ○もし雨なれば次の日曜に決行いたします
 ○お返事楽しみにしてお待ちいたします ○折返し御返事を

汐干狩に誘ふ用語

○来る三日は大潮ださうで
 ○昨年お誘ひ戴いた汐干狩が楽しかつたとて、子供達ががみま
 ので ○年中行事にしたいなど旨いことを申し
 ○久々ぶり海を吸つて来ようといふことになり
 ○あの邊は遠浅で水もきれいで、東京近邊の海より獲物も澤山
 あるとのこと ○あの海は何處より安全な遠浅ゆゑ
 ○お子様にも危ない所がございません故 ○誠に安全第一の汐干狩
 ○おさしつかへなければどうか皆様でお出かけ下さいませんか
 ○八時兩國發の電車に乗る事にいたし
 ○お辨當、乗船は姉の方で用意いたして頂けます故
 ○ぜひ、御都合遊ばして ○お返事皆でお待ちいたしてをります

避暑、海水浴に誘ふ用語

演奏	技倆	御興	琴	呼物	新歸 朝	音樂會	散步道	釣糸	登山道	雜沓	海岸
演奏	技倆	御興	琴	呼物	新歸朝	音樂會	散步道	釣糸	登山道	雜沓	海岸

音樂會に誘ふ用語

○東京はお暑さ堪へがたいとみえ昨日今日海水浴の客が一時に増え
 ました
 ○子供の夏休みに入るとすぐ房州の海岸へ参る豫定でございますが
 ○子供たちも仲よしの五郎さん菊子さんたちお出で戴ければ、どん
 なに喜ぶだらうと
 ○夏場もあまり雜沓いたしませんので
 ○こちらは山又山の頂點のやうなところで、景色もよく空氣もよく、
 子供たちに危氣のない登山道もありまして
 ○釣糸を垂れる山川もあり秋草の咲き亂れた散歩道もあり
 ○お件出来ますやうなれば朝涼の中に先方に着き度存じますので、
 前夜より私共にお出で戴きたく

觀劇に誘ふ用語

○来る十一日紀元節に愛國婦人會の主催で、日本青年館で音樂會
 が催されます
 ○當日は新歸朝の田中朝子さんの獨唱に呼物になつてをります
 ○御母様はお琴を大變お好きとかね、承り
 ○妹はまだお取しい技倆ですけれど始めての演奏なので、ぜひ成
 功させてやりたい
 ○もし御都合よろしき様なればお伴いたしたいと存じ、入場券一枚
 封入いたし
 ○プログラム御覽下さいまして ○近來にない豪華なプログラム故
 ○當日會場にてお目にかゝるのを樂しみにいたして
 ○もし他にお出で下さる方ならば入場券早速にお送り申上げます
 ○もし御都合叶はずば切符はどなたか然るべき方におまはし戴き度
 ○それも叶はずば御手数ながら御返送下さいませ

券入場

切符

興行

歌伎

出演

大芝居

名優

座席

開催中

展覧會

洋畫

會期

入場券

切符

無月

歌舞伎

出演

大芝居

名優

座席

開催中

展覧會

洋畫

會期

かねて噂のありました大和座二月興行は東京大歌舞伎出演の由減多に見られない大芝居と聞きますので

○今月は大層評判よろしく ○東京の名優ぞろひで

○次の日曜日御都合如何でせうか(友人)

○私は十日迄なら何日でも母が出してくれませんが

○お伴させて戴けますなら當日は少し早目にお誘ひに上ります

○切符は此方で用意いたします

○御返事次第座席を申し込みます ○入場券はもう父が求めてくれましたから

○只今上野で開催中の代用品展覧會は、時節柄是非見ておくと父が申しますので

○この間もお話しました、妹たちの洋畫展覧會が、明日から一週間三越で開かれる事になりました

○随分参考になるものがある様子 ○興味多き出品豊富に候由

○會期中にぜひ一度まわりたいと思ひますがあなたはいかんですか

○私の外に松子さん、花枝さん、葛子さんなど五六人で相談いたしましたので

展覧會に誘ふ用語

講演會に誘ふ用語

講演

講師

好機

來週

講習會

書道

入會

一週

切

計畫書

御餐

達成

そちら様へお誘ひに上ります

○會場入口にてお待ちうけいたします

講演會に誘ふ用語

○來週から毎土曜日の夜萬壽院に×××先生の御出張御指導あつて書道の講習會を催されます由

○一月先生はラヂオや新聞でもよくお名前を存じ上げてゐるお方で

○會場も幸ひ近いところ ○里子様も御入會なさるさうですから

○よい便宜があつたらお習字の稽古をしたいと、かねて仰つてゐましたから

○こんな恵まれた機會にお一人でも多くお誘ひしたいと存じ

○ぜひ〱御入會になつて御一緒にお稽古いたしたく

○十三日から一週間、午後二時から五時迄の間

○規則書と申込書同封いたしました故御覽下さいまして

○申込〱切は明後日ですが時節柄予定人員より多くなりさうなので

寄付金募集の勧誘用語

○今回婦人會の發起にて酷寒の野にある皇軍將士慰問のため、防寒具をお贈りする計畫をたて ○各方面の御同情を集めたく ○別紙計畫書の通り廣く一般から御寄付を仰ぐことに致しました ○零下何十度の骨も凍る山野に、勇戦力闘命を捧けて日夜を分たす御苦心の將士の上を思ふにつけ ○せめて暖き毛糸の手袋靴下なりと ○何卒、私の趣旨に御賛同下さいまして ○發起人の一人として折入つてお願ひいたします ○一口五十錢以上何程にても ○目的達成いたしますやう ○例年の如く歳末窮民慰問のための募金 ○前校長謝恩のため胸像を獻じたいとの相談がまとまり

振成 り人	婆お 轉	葉一	詣お り宮	寫眞	り手 作	物御 好	暮御 歳	元御 中	粗 品	輕 少	見暑 舞中
成人振り	お轉婆	一葉	お宮詣	寫眞	手作り	好物	古歳暮	古中元	粗品	輕少	見暑舞中

お中元を贈る用語

○お暑さの折柄皆様おさはりもなくいらせられますか
 ○炎暑殊の外きびしく候處皆様御揃ひ御恙なくわたらせられ候や
 ○降つて私方一同お蔭様にて無事消光いたしを候間 (憚様な
 から) 御休神被下成度候
 ○本日××屋に託し粗品拜呈いたし候間御笑留賜はり度
 ○御笑草までに ○暑中見舞として ○御見舞かたぐ
 ○本日まことに輕少なから御中元のしるしとして、粗品お目につ
 候間御受納下され度候
 ○お浴衣一反せいふ、奥様のお好みにあひさうな柄合をえらびま
 て、御中元までにお送り申上げました
 ○お暑さをのりから皆様御身御大切に遊ばしますやう

お歳暮を贈る用語

夜お 七	振袖	調和	御就	御盡	子弟	教育	本會	立盛 つり	勤儉	貯蓄	奨勵
お七夜	振袖	調和	御就	御盡	子弟	教育	本會	立盛 つり	勤儉	貯蓄	奨勵

寫眞を贈る用語

○年末御挨拶のしるしまでに手作りの帶留一本
 ○よいお年をお迎へ遊ばしますやう祈り上げます
 ○春には又改めて御挨拶申述べ度存じ居候
 ○私共の結婚記念寫眞が昨日やうやく出来てまゐりましたから一
 枚お送り申上げます
 ○坊やお宮詣りの記念に撮りました寫眞が出来て参りましたから
 先達此地在住の同級生が集り候折の寫眞一葉お目につかけ申候
 ○見苦しい出来にてお恥しうございりますがお納めおき下さいませ
 ○素人寫眞ゆゑ殊にをかしく
 ○十年前のお轉變時代をお思ひ出しになつてお笑ひ遊ばすことと
 ○一郎の成人振りおしのび戴き度
 ○松男のお七夜に主人が撮りました寫眞、これでは一向わかりませ
 んが、實物はお祖父様似にて
 ○叔母様から頂いたこの帯が振袖によく調和して、目のあたり御覽
 願へたらと
 ○どうぞ御覽下さいませ ○御笑ひ草までにお目につかけます
 ○あなた様のも近頃のをぜひ一枚 ○お新しいものを
 ○お目もじは叶はず、せめてお寫眞なりと拜したく

記念品を贈る用語

○先生には校長として御就任以來茲に十年、一日の如く子弟の指導
 教育に御盡瘁下され、御薫陶を受けて世に立てるもの既に二千餘
 を數へ
 ○女子青年團創立に當り團長に御就任、以來本團を盛り立てその目
 的たる勤儉貯蓄の奨勵に御盡力
 ○私共卒業生一同、先生永年の御高恩の萬分の一に報いるため、

時局	参考書	御著	著者	古典	読取	愛讀	一部	讀古	記念品	創立	青年
時局	参考書	御著	著者	古典	読取	愛讀	一部	讀古	記念品	創立	青年
時局	参考書	御著	著者	古典	読取	愛讀	一部	讀古	記念品	創立	青年

一には時々はお思ひ出し願へますための記念として
 ○今回御轉任に當りまして同級生一同感謝の意を表し、記念として
 机一基御贈り申上げます
 ○何卒御納め下さいますやう ○御受納下され度
 ○開業記念として別包粗品御送り申上げました

書籍を贈る用語

○先日友人から勧められて讀んだ吉川英治先生の『親鸞』大變に面白うございましたので、讀古して失禮ながらお送りいたします
 ○春の夜のつれづれのお相手にもと、この頃出版の『愛染かつら』一部御送り申上候
 ○思ひついで平家物語一冊お送りします、あなたの年頃には姉さんも夢中になつて愛讀したものです
 ○現代の本も勿論ですが、過ぎた世の人々の私共に残してくれたものの中から、昔の日本の姿を讀取ることも必要と思ひますから
 ○あなたもきつと日本の古典が好きになれるでせう
 ○お淋しい時、悲しい時、苦しい時、この書のどの頁でもがあなたをお慰めすること
 ○私もその昔この著者の慰めによつて、失望の底から救はれたのでございます

○有名な小崎先生の御著故
 ○先生の面影が躍動してをります
 ○洋裁の参考書も澤山讀みましたが、これが一番わかり易く
 ○時局常識讀本としてお嬢様たちにぜひ御覽頂きたくと存じ
 ○御一讀下さいませれば
 ○讀後の御感想お洩し下さいますやう
 ○長く座右にお置き下され度
 ○およろしければ次の號もお送りいたします
 ○御藏書の中にお加へ下さいませ

物到來	分御福	草餅	御味笑	自稱	壓巻	御書藏	座右	御感想	讀後	讀一	讀本
物到來	分御福	草餅	御味笑	自稱	壓巻	御書藏	座右	御感想	讀後	讀一	讀本
物到來	分御福	草餅	御味笑	自稱	壓巻	御書藏	座右	御感想	讀後	讀一	讀本

果物を贈る用語

○父が自慢にいたして作りました桃、今年は少々出来がよろしいやうで一籠お送りいたします
 ○裏山の蜜柑今年は大當りにて見上げるも豊かなりさま、せめて味ばかりでもお贈りいたし度くと、今日別送いたし
 ○先年大そうお喜び頂きました御所柿
 ○この地名産の梨『二十世紀』味は果物中の壓巻と自稱自慢いたすほどにもなるべく候へども何さま名に高きもの故御賞味願ひ度
 ○香りの失せぬ中に召し上つて戴き度
 ○皆様で御笑味下さいませ
 ○はじめて出来ましたので ○僅かばかりなのですが
 ○たゞお珍しいばかりで ○あなた様お好みと伺ひをり

お福分けに添へる用語

○昨日アメリカから歸りました友達が只今グレープ・フルーツとオレンヂをお土産にとつけてまゐりました
 ○只今國許の母より草餅少々送りました
 ○大變結構なお味なので失禮でございますが少々御福分けいたします (贈る時は「福分」、頂いた方からは「福分」といふ)
 ○お先に頂き失禮でございますが
 ○母が畦道の草を摘みとりて作りました由にて
 ○名をき、ますも始めてのこと、お味はわかりませんが
 ○あまり見事なので ○到來物にて甚だ失禮でございますが
 ○このまゝ、召し上つても又焼いて召し上るもよろしき由
 ○あの地の名産と伺ひ ○父上様御晩酌のお相手にかゝと
 ○僅ばかりお福分けいたします
 ○およろしければ後程又お届け申上げます

監督

遠隔

迂闊

娘若

誘惑

手離

不束

不届

映畫

御注

行儀

訓戒

監督

遠隔

迂闊

美娘

誘惑

不束

不届

映畫

御注

行儀

訓戒

子弟の監督を依頼する用語

○長女貞子この度御地東亞女子大入學のことに相談がまとまりました

○弟 芳夫ことこの度御地小學校に奉職のため近く赴任いたしました

○まことに御無理な御願ひで申上げかねますけれど

○それにつき大變御迷惑とは存じますが、一つ折入つて御願ひがござい

○御地には親戚が一軒もなく困つてゐるのでございます

○何分遠隔の地ではあり、他に存じ上げてゐる方とてございませ

○まだほんの子供のこと故身のまはりの始末さへ醫東なく存ぜられ

○家を離れて暮しますのは最初のことでもございませ

○新しく出来るお友達のこと心にかゝります

○何分年若い娘のことではございませし世間知らずのふところ子で

○若い娘の心を惑はす誘惑も少からぬことと存じ

○一人手離すはまことに心許なく

○何かと御監督頂けますならこの上もない仕合せと存じます

○不束者としてお手傳ひどころか、却つて御迷惑おかけいたしますこと

○お宅様へお願ひして同じ年頃の美子様のお相手もさせて戴き

○御家庭の一人としてお使ひ立て願はれますれば

○私の手一つにて育てましたこととて、萬事不行届の我儘もの

○映畫などは必ず叔母様美子様のお伴してまゐるやうにと

○母になり代つた御つもりにて、御遠慮なく何彼と御注意賜はりま

○身のまはり御行儀についても絶えず御教へ戴きたく

○時々御宅へお伺ひいたさせます故何とぞ御訓戒

寄宿

學資

女中

世話

親許

郷里

雇入

宿に

歸國

周旋

交際

言葉

寄宿

學資

女中

世話

親許

郷里

雇入

宿に

歸國

周旋

交際

言葉

○時々御宅へおよび下され美子様のお相手にさせて戴きたく

○休日にはお邪魔に上るやう本人にも申聞けおきます故

○何かの御相談は叔母様に御願ひするやう、よく申しふくめおきま

○したから

○御序の折には寄宿舍にもおたちより様子御らん下さいませやう

○學用品以外の買物などは御相談申上げよと申しおき候ま、

○月々の學資は毎月初めあなた様宛お送り申上げます故

○あなた様から入用の分だけ本人にお渡し下さいませやう

○出京の上は早速本人を伺はせませすから何分その節はおよろしく

○又こなたへも勉學の様子など、時折お知らせ戴かれませれば仕合

○せに存じます

○御主人様へはあなた様からよしなに仰せ上げ願ひたう存じます

○いづれ近日上京いたし、お目もじの上萬々お願ひ申上ぐる心組

○ではございませ

女中の世話を依頼する用語

○久しくをりました女中がこの度嫁にまゐりますので

○實は今春より雇入れてをりました女中が、國の母の病氣にて急に

○年若の方の女中先頃病氣のため宿に下げましたところ、暫く休養

○いたしたき由申しました

○東京は今女中がなか／＼ありません

○ついではそのあとに來てもらふ女中のことにつきまして御願ひ

○周旋屋からまはしてくるのには、なか／＼よい人に行き當るこ

○と少く

○同じことならしつかりした親許のある娘さんをおあづかりして

○あなた様は御交際もお廣くおられますこと故

○郷里の娘さんならば何彼と言葉や習慣の點でも便利のことと存じ

○田舎の人が正直で體が丈夫でよいと思ひます

目見	叶ふ	益暮	給金	好子供	無人	奉公	素直	丈夫	娘さん	便利	習慣
目見	叶ふ	益暮	給金	好子供	無人	奉公	素直	丈夫	娘さん	便利	習慣

○学校の卒業生の中適當のひとがございましたら
 ○適當な娘さんがございましたら、御紹介お願いいたしたいと存じます
 ○向きさうな娘さんがありましたらどうぞ
 ○御承知の如く當方家族は無人 ○小人數の家ゆゑ
 ○小さい子供が多く骨が折れる事とは存じますが
 ○用事も朝夕を除きましては忙しいほどの事もなし
 ○本人の心がけ一つでは勉強なども十分いたす時間がございますし
 ○夜分など子供が寢んでしまへば、用事らしい用事もございませんから
 ○年は十七から二十位迄で丈夫で素直な人であれば、他に何も注文はございません
 ○御承知のやうに外出勝ちでございますから、留守居をさせますにも年とつた方がよろしくと存じ
 ○なるべく子供好きの人 ○お裁縫の心得も少々あれば尙更結構
 ○なるべくならはじめて奉公に出るといふ人
 ○お給金は十圓、益暮には應分の心づけをいたします
 ○お給金は最初七圓位で、長くるてくれるやうなればおひく増す事といいたし
 ○すべてお任せいたしますからどうぞ何分よろしく御願申上げます
 ○あなた様のお目がねに叶つた人なら、お目見などの手数を省き、すぐにお取りきめ下さいまして
 ○同じ村のことなれば親達も安心して私共にあづけてくれませうし
 ○おひく年末も近づきますので、一日も早く手代りがほしいと存じます
 ○私のお産も間近にせまつてをりますので、ぜひその前に

就職を依頼する用語

○早速ながら折入つてのお願ひでございますが
 ○近頃まことに御迷惑と存じますが、弟時夫の事につき折入つて御

平凡	心當り	合告知	傳手	手蔓	口勤め	合併	珠算	簿記	折入	依頼
平凡	心當り	合告知	傳手	手蔓	口勤め	合併	珠算	簿記	折入	依頼

願ひ申上げます
 ○實は一郎もいよく來春は大學の門を出る事になりましたが
 ○あるじ遠縁の者この度郷里の工業學校を卒業いたし、職をもとめて上京いたし候
 ○あるじは現在つとめをります會社の成績思はしからず、近々他の會社と合併せられますについて、自然職を離れることに相なり
 ○この際何よりも気がかりなのは就職口で
 ○本人も頻りに心配いたしてをります
 ○今は時期がわるいか、どこにも勤め口がございません
 ○私方には少々畑違ひとて、適當の手蔓なく頻りに苦慮いたしをり候
 ○文科のこととて工科や理科のやうにゆかないことは、本人も萬々承知いたしてをります
 ○よほどよい傳手でもございませんと就職はなか／＼むつかしく
 ○この節では就職も容易ならぬことは萬々承知いたしてをります
 ○それにつきまして御主人様は教育界の方面にお顔もひろく、事情にもお精しいことと存じ上げますので
 ○どちらかお知合の方へ御世話頂くにはまゐりませんでせうか
 ○御關係の會社などにて御採用頂かれますれば、此の上ない幸ひと存じます
 ○適當なる方面でお心當りがございましたら、是非御推薦なり御紹介なり頂きたう存じます
 ○私に出来ることならどんな事でもいたします
 ○學校の成績、健康の状態などは、いつぞやお目にかゝりました節申上げました通り
 ○まことに平凡な人間でございますが、たゞいたつて正直で従順で熱心な點だけは誰にも劣ることはないやうに存じ
 ○珠算と簿記には自信があるやうでございます ○多少の長所とも
 ○體は丈夫でございますので働く時間は長くとまかまひません
 ○口さへあればどんな遠方でもいととはぬと申しをります

訪問
訪問

走御馳
走御馳

用御多
用御多

厚お手
厚お手

温容
温容

長居
長居

長座
長座

数お手
数お手

日曜日
日曜日

息御休
息御休

理御料
理御料

味御趣
味御趣

訪問したあとのお禮の用語

○昨日は御多用のところへ突然お伺ひ申上げ
○突然お伺ひ申上げましたのに、あの様なお手厚い御もてなしにあ
づかり

○久しぶりの御温容に接しおなつかしさのあまり長居いたし
○ちよつとお目にかかりたいと思つて、お伺ひしましたのに意外の
長座をいたしました

○すぐお暇申上げるつもりでしたのに
○何かと御配慮にあづかり ○大層お手数を相かけ
○お蔭様にて日頃のうさも名残なく忘れ去り

○ほんたうに昨日は私にとつて恵まれた日でございます
○楽しい愉快な一日を過ごさせて頂きました
○昨日は子供ついで上りまして
○折角の日曜日に上りまして御休息のお妨げをいたし

○お話伺ひながら頂く御料理の結構さ
○初めてお伺ひいたしましたが大層閑静なよいお所に
○お家の造りお庭の趣きお二方様の御趣味の床しさもしのばれて
○いつもお變りなき御様子を拜し

○皆々様お揃ひお健やかにわたらせられる御様子拜し上げ
○歸りには驛までお見送り頂きまして何とも申し譯ございません
○その中又よせて頂きたいと思つてをります

○御主人様へもよしなにおつたへ下さいませ
○あなた様も近い中せひ一度お越し下さいますやう
○どうぞ私方へも御出掛け下さいますやう

世話になつた御禮の用語

○この度の事につきましては一方ならぬ御盡力を辱し御禮の申

御掛出
御掛出

世話
世話

力御盡
力御盡

志望
志望

慮御配
慮御配

旋御周
旋御周

日頃
日頃

訓御教
訓御教

陰日向
陰日向

恩御高
恩御高

忘却
忘却

行届
行届

し上げやうもございません
○お蔭様で私もかねての志望が叶ひまして
○何もかも並々ならぬ先生の御心づくしの賜と、深く感謝いた
してをります

○長い間いろいろお世話様になり
○御配慮を忝うし ○御周旋下され
○おかげ様で家の中も俄かに明るくなり皆々喜びにあふれて
○どこまでも先生の日頃の御教訓をしつかりと守りまして、陰日向
なく勵んでゆきたいと

○この御恩は一生忘れません ○私もやつと安堵いたしました
○御高恩一生忘却 仕るまじく
○何から何まで行届いたお心づくし
○おかげ様で萬事好都合に運び

○御芳志の段々を母に語り聞かせましたところ、母も大層喜びまし
て厚く御禮申上ぐるやうとのこと
○私など普通ではこんな大會社になど、とても入れるわけではない
のでございます

○全くあなた様の御親切な御紹介によりますものと
○今後よろしく御引立のほどを願ひ上げます
○いつれ近い日曜日に母ともく参上、御禮申述べさせて頂くつ
もりでございます

○とりあへず御報告旁々御禮認めさせて頂きます
○奥様にもおよろしくお申しつたへ下さいませ

卒業後先生への御禮の用語

○在學中は一方ならぬお世話様になりました
○在學中は御いづくしみ深きお導きにあつかりまして
○長い間親も及ばないやうな有難い御薫陶をうけて
○今になつて先生の御恩の深さをしみとと思ひかへしてをります

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

萬事 好都合 幸業 先生 中在 陶御 當座 似見 上 情御 溢る 問違

○お寒い時もお暑い時も御熱心にお教へ下さいました先生のお蔭と
 ○はじめて學校から離れて一人になりました當座は、何かにつけて
 學校がなつかしく
 ○朝が来てふともう自分は學校へ行くのではないと思ひますと、
 何ともいへず物足りない淋しさで
 ○この頃では母のするのを見真似て少しづつ家のことを手傳ひ
 ○將來も一身上のことについて先生の御指導を仰ぎたいと存じます
 から
 ○先生の御眞情溢る、御涙によつて、間違ひから引戻して頂きまし
 たことも再三ならず
 ○お戒を守つて人の道に外れぬやう心掛けたく
 ○末永く御導き下さいますやう
 ○主人をはじめ家内一同偏に先生の長々の御教への賜と、深く感謝
 いたしてをります (親が出す場合)
 ○この御恩のありがたさは、一夫の一生を通じて忘れる事の出来な
 いものと存じます (同)

手傳ひをうけた御禮の用語

○この頃中はいろくお使ひでいたし
 ○母死去の際は何かとお手傳ひ下さいまして、お蔭様で葬儀萬端滞
 りなく相濟ませる事が出来ました
 ○このほどはお忙しいところをお引とめ申上げて、お手傳ひを願ひ
 ○御許様の御指圖に力を得て、おかげ様で無事にすべて相濟ませる
 ことが出来ました
 ○さぞかし御迷惑でもありお疲れでもございましたでせう
 ○先達は永々お女中さんをお貸し頂き
 ○私共では大助かりいたしました、お宅様ではさぞかし御不自
 由遊ばしたること
 ○お蔭様で病兒も今はすっかり恢復いたし

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

草履 一向 取込 病兒 取行 永々 相濟 滞り 萬端 末永 再三 引戻

○はじめての佛事をお蔭様で無事滞りなく相濟ませました
 ○すべて都合よく取りはこび ○まことに好都合でございました
 ○あの節は取込中のことではあり、心も空にて一向御かまひ申上げ
 ず失禮ばかり重ねまして
 ○こゝにお詫びをかねて御禮申上げます
 ○この品甚だ粗末でございますが、御禮の印までにお納め下さいま
 すやう

買物の御禮の用語

○このほどは御多用のところへ、心なき買物など御願ひ申上げ相濟
 みませんでした
 ○御心忙しき御旅行中に、とんだ御無理を御願ひ申上げ候にもか、
 はらす
 ○品々御買求めお送り下され、まことにありがたく
 ○御願ひいたしました草履、肩掛、袋帯の三品、今日三越より送つ
 てまゐりました
 ○さすがにお目の高いあなた様のお見立てだけあつて
 ○色といひ柄といひ、たゞ見とれるばかりの美しさ
 ○いつもながらお見立てのお上手なのに皆々敬服いたし
 ○肩掛はあたゝかくて軽くて手ざはりよく、母はもう大喜びでござ
 います
 ○さすがは本場の品と父はお客様にまで自慢いたし
 ○この邊ではたうてい見られませぬ品
 ○早速重寶いたしてをります
 ○こんなに品々お買集め下さいますには、さだめしお氣忙しかつた
 ことと存じます
 ○あんなにお安い値段でこんなに上等の品々お求め戴きました
 ○代金は只今爲替にてお送り申上げましたから御受取下さいませ
 ○使にもたせてさし出しましたゆゑ

肩掛 袋帯 色柄 本場 買集 氣忙 上等 旅立 任地 故郷 官舎 車中

肩掛 袋帯 色柄 本場 買集 氣忙 上等 旅立 任地 故郷 官舎 車中

見送りの御禮の用語

○この度はお忙しいところをわざわざ、お見送り下さいまして
 ○たつた一人で都を離れる心細い旅立ちが、あなたの御見送りでご
 んなに勵まされた事でせう
 ○おかげ様にて途中無事、昨日任地に着きました
 ○村は昔のやうになつかしく、故郷の山々はやはりなつかしく迎
 へてくれました
 ○すぐに表記の官舎におちつきました故どうぞ御安心下さいませ
 ○汽車の進むにつれて車中で聞く言葉訛りが強くなりますますにつけて
 も、東京との距りがしみると思はれ
 ○久しく御懇意にして戴きましたこととて、御地を離れるのがお名
 残り惜しうございました
 ○出発の際くりかへしく仰せられたお言葉を思ひ浮べ
 ○まだ土地の様子など少しもわからずまご／＼いたしをります
 ○あなた様にもおひまの折はお手紙お思ひ下さいませ
 ○先は御禮かた／＼安着御知らせませ
 ○夏にはよいお土産話澤山もつて歸京いたしますから

お金を拝借した御禮の用語

○先頃はとんだ御迷惑な御願ひを申上げましたところ、早速御快諾
 の上御融通下さいまして
 ○叔父はじめ皆々私のかけつけたことを喜んでくれますにつけても
 ○おかげ様にて早速入院させ、即日手術をうける事が出来まして
 ○ほんたうに涙の出るほどありがたく、道々も感激して歸りました
 ○来月までには主人の病氣も快方に向ひ、期日までにはきつと御返
 しが出来ることと
 ○これにて事業失敗後の打撃も大方片附きましたので

訃言 御懇 即日 期日 失敗 打撃 再起 年貢 賣上 近頃 無駄 積立

訃言 御懇 即日 期日 失敗 打撃 再起 年貢 賣上 近頃 無駄 積立

舊主人への御禮の用語

○主人はじめ皆々深く感謝いたしてをります
 ○この度の御親切に對しても、一層努力せすにはゐられないと申し
 をります
 ○何ともありがたくうれしく、はるかに御恩を拜してをります
 ○再起を期し皆々心を一つにはげみををります
 ○その節も申上げましたやうに、國許より年貢米賣上の送金あり次
 第に御返済いたします故
 ○いづれ益過ぎには御恩借のもの揃へて御返済申上げ度
 ○いづれ主人が御挨拶に參上いたしますが

○お側近くをりました間は、奥様の一方ならぬ御配慮を頂きまして
 ○四年も無事に勤めさせて頂きました
 ○いたらぬ私を何から何まで手をとるやうにしてお教へ戴きました
 ○お暇の折はお心づくしの品を頂き、まことに忝く存じ
 ○兩親にまで御土産頂戴いたし御禮の申上げやうも御座なく候
 ○不束者をお氣長にお導き下さいまして
 ○郷里に歸りましたからは家の事一切を引受けましたので、大變に
 喜ばれてをります
 ○さ、やかながら一家の主婦となりました今日、今更ながらお教へ
 の數々ありがたく身にしみ
 ○殊に無駄遣ひせぬやうにと日頃おさとし下さいましたので
 ○お給金を積立てて戴きましたので
 ○今度のやうな場合目に見えて役立ちますので、父母が何よりあり
 がたいと喜んでをります
 ○毎日のやうにお坊ちやま方のお噂を母たちにいたしてをります
 ○頂戴いたしましたお品はいつまでも大切にいたします
 ○どうぞ今後とも何かとお導き下さいませ
 ○旦那様へもおよろしく御つたへ下さいませ

過分	逗留	長旅	道中	名産	名物	籠物	御歳暮	御中	好物	包装	羊羹
過分	逗留	長旅	道中	名産	名物	籠物	御歳暮	御中	好物	包装	羊羹
過分	逗留	長旅	道中	名産	名物	籠物	御歳暮	御中	好物	包装	羊羹

○お坊ちやま方皆々様御大事に遊ばして下さいませ

お餞別を頂いた御禮の用語

○私上京の折はわざわざ一驛までお見送り下され、その上お小遣まであんなに澤山頂きまして

○この度の歸國につきましては、過分の御餞別を頂きまことにありがたく

○御地逗留中は一方ならぬお世話様に相なり、その上出發に際しましては御餞別まで頂戴いたしました ○御名産御餞別に頂き

○おかげ様にて長旅の道中何の恙もなく、昨日當地に安着いたしました

○おひく土地慣れますにつれ、珍しきよりさし上げられることと存じますが

○いづれゆる／＼おたより申上げますが

○とりあへず御禮をかね御挨拶まで申上げます

頂きものの御禮の用語

○この度は思ひもかけず御地名産の鯛の漬焼をお送り下され

○今日は三越より美しい果物の籠おとゞけ賜はり

○只今御はがきと前後して御恵送の文旦澤山に頂戴いたしました

○御丁寧な御歳暮を頂きまして ○見事な品御福分頂き

○殊に生乾の干物はあるじの何よりの好物ゆゑ、さぞ喜んで頂きま

すことと歸宅をまちかねてをります
○皆々たのしみに包装をとけば、まあお珍しいお國名物
○かね／＼欲しい／＼と思つてゐました日傘、どうして御存じでお贈り下さいましたの(親しい人、姉などへ)
○風味も一層に覺えました ○何とも中せぬ風味

日傘	雨傘	風味	賞味	拜受	御祓	御大	大助	拜借	編手	鑑賞	御招
日傘	雨傘	風味	賞味	拜受	御祓	御大	大助	拜借	編手	鑑賞	御招
日傘	雨傘	風味	賞味	拜受	御祓	御大	大助	拜借	編手	鑑賞	御招

○お志のほどもうれしく、とま／＼に賞味いたしました

○さすがはあなたのお見立と母も目を細めてをります

○全くこちらから御注文した品を頂いたやう

○なつかしい故郷の季節の香りを一家揃うて賞味いたしました

○母はお國へ歸つたやうだと大喜び

○重ね／＼恐縮のいたりで ○御芳志の程感謝いたします

○とりあへず拜受御禮申上候

品物返済の御禮の用語

○御祓藏の花器永らく拜借いたしましたこと、忝／＼厚く御禮
○お言葉に甘えて御大切な御本拜借させて戴き
○拜借の雨傘とコート、只今使にもたせてお返し申上げます
○お快く御貸し下さいました時の私のうれしさは、どのやうでございましてか

○思ひがけなく雨具をすつかり貸して戴き大助かりいたしました

○編手本を目の前において編みますと全く苦もなく編めますので、今度は大助かりいたしました

○珍しいレコード、大人の私共まで鑑賞の御招待いたしました

○失禮ながら小包便にてお返しいたしました

○拜借の品々とりそろへ使にもたせてお返し申上げますから、何卒お改めの上御受取下さいませ

○このお天氣で傘はまだ十分乾いてをりませんから、お手数ながらどうぞお干しになつて下さいませ

○お禮のしるしまでに御笑納下さいませ
○持参するなどいつてをりますと、又のび／＼になりますので
○主人が持つてお伺ひいたさねば、すまぬことでございますが
○いづれ近日改めて御禮に参上いたす心組でございますが
○末筆ながら御主人様へも、この御禮よろしくおたへ下さいませ
やう ○筆末失禮ながら

住居	郊外	立寄	表記	継ぎ	實家	改姓	書中	お見知り	倍舊	今後	通知
住居	郊外	立寄	表記	継ぎ	實家	改姓	書中	お見知り	倍舊	今後	通知

結婚改姓通知の用語

○この度母校の山岡先生の御媒約にて、松田三郎と結婚いたしましたし、たにつき御通知申し上げます

○今回山田一郎と結婚左記に新居を構へましたため、併せて御通知申し上げます

○私共、兩人青年訓練所長齋藤五郎氏御媒約により結婚いたし、滿洲農村移民として渡滿、奉天省大和村にて開拓に従事いたす事に相成り候につき

○今後共同卒倍舊の御懇情をたまはり度、一層御指導賜はり度

○お見知りおき下され度、○今後とも何分よろしく

○略儀ながら書中を以て右御挨拶かた、御通知まで

○左の通り改姓いたしましたから御通知申し上げます

○この度母の實家を継ぎ左の通り改姓いたしましたから

○なほ住所はこれまでの通りでございますから、然様御承知下さいませ

○同時にさ、やかなる新居を下記のとこに構へました故、とりあへず御知らせ申上げ

轉居通知の用語

○この度表記のところへ轉居いたし候につき御通知申上候

○今回表記に小やかな住居を新築、移轉いたしました

○あるじの勤めの都合でこゝへ移りました

○お通りがかりの節はどうぞお立寄り下さいませ

○子供たちの健康のため郊外へ住みたいと思つてをりました矢先、手頃の貸家がありましたので

○主人の病後の療養のため、今度こちらに住居を移すことにいたしました

散歩	お序	片附	省線	市電	下車	道順	略圖	出発	出立	出帆	車臺
散歩	お序	片附	省線	市電	下車	道順	略圖	出発	出立	出帆	車臺

出發通知の用語

○さ、やかな住ひで何の風情もございませんが、驛より徒歩十分位の道がいかに田舎めいてをりました

○子供の通學に便利なところをと思ひまして

○お子様おつれになり、お散歩のお序にでも時々お立ちより下さいませ、○お立寄り願ひたう存じ上げます(鄭重に)

○私共は先月二十七日に轉任のときまり、やうやくこの一日にこちらに引越を終りました

○急なことで御挨拶に出る暇もございませす何とも

○新しい家の片付けや何かでまだ落着きませんが、とりあへず御知らせいたします

○こちらは櫻の名所と聞いてをりますので、その季節にはぜひ御案内いたしたく存じをります

○遠方ですがこの方面へお出掛けの節は、何卒お立寄り下さいませ

○省線ならば信濃町下車三丁ほど、市電ならば左門町下車一丁ほど

○荻窪から徒歩にて十五分、道順は下手な略圖をそへておきました

○明後十五日朝九時三十分東京驛發にて出立いたし候間、御通知申上候

○この度布哇支店詰と相なり候については、来る十七日午後二時横濱出帆の平洋丸にて渡布いたし候ことに決定いたし候間

○おばあ様は明後日朝七時こちらをおたちになります、こちらにお着きになるのは午後二時頃の豫定ですから、お出迎へ願ひます

○荷物もかなり澤山ありますから、どなたか男の方の御出迎へを

○妹、雪子十一日午後五時御地着の汽車にてたせませす、二等寢臺ですからブラットホームまでお出迎へ下さいませ

○汽車は最後部の三等車に席をとらせませすから

○白馬登山隊一行、明後夕七時半新宿待合室にて勢揃ひ、八時夜行にて出發と相談一決いたしました、お知らせませ

送中	滞在中	御地	錦地	到着	安着	同行	見送り	夜行	ひ勢揃	室待合	汽車
送中	滞在中	御地	錦地	到着	安着	同行	見送り	夜行	ひ勢揃	室待合	汽車

○この度瀨支移民村訪問のため木村先生の御一行に加はり、来る十日午前六時盛岡驛を出発いたしました

○早朝のこと故お見送りなど一切御無用に願ひ上げます

○留守中は何分よろしくお願ひいたします

○あちらに何か御用もございましたら、御遠慮なく御申し聞け下さいませ

○お手許にお召使ひ願ひます娘冬こと、この八日朝九時上野着の汽車にてさしつかはします

○恐れ入りますがどなたか一人お迎え願ひ度

○おつれ下さるのは、かねて奥様御面識ある山本先生でございますから

○お見わけ易きやう髪には白樺の大輪の花簪さ、せおきます故

○目下出發準備に忙殺されをり候、ま、

○何分早急の出發でございますので ○御老人の一人旅のことで氣にかゝります故

○はじめの旅で心もとなく存ぜられます故

○生憎と同行いたすものがをりませんので

○途中の汽車旅のつかれもいかゞと案じられますので

○書中を以て御挨拶かたゞ御知らせまで

○御知らせかたゞ御願ひまで

安着通知の用語

小荷物	小包	便鐵道	品物	見違	餞別	土産	番頭	安眠	乗心地	初旅	退屈
小荷物	小包	便鐵道	品物	見違	餞別	土産	番頭	安眠	乗心地	初旅	退屈

○途中無事た今當地へ安着いたし候間とありへす御通知申上候

○その上御心のこもつたお贈物まで頂戴いたし有難う存じます

○御心配頂きましたが、途中何のさほりもなく當温泉に到着

○けさ七時無事お着きになりましたから、どうぞ御安心下さいませ

○いろいろお心づくし頂いて、一人旅の途中も退屈せずまゐりました様子で

○ねてゐます中にいつか身は都に運ばれてをりました

○初旅のおそろしさも忘れ、都の賑はしさを目を見張りをります

○東京はあの通りのあた、かさでしたのに、こちらは一面の雪

○驛には芳子様わがざ〜お出迎へ下さいました

○御殿場あたりで夜があけて、朝日に映える富士の姿を仰ぎました

○寝臺車の乗心地もまことによろしく十分安眠いたしました

○汽車はなか〜混みあつてをりましたが、あなた様の御はからひで腰を下すことが出来まして

○驛には宿の番頭が出迎へてくれました

○叔母様はお料理を拵らへて待つて下さいました(身内へ)

○久しぶりで母や妹と一緒に夕食飯の膳につきました(他人へ)

○いろいろお心づくしのお土産を母と二人でそれ〜の所にお福分けいたしました

○私共大好物のお土産山頂きまして

○その節はお餞別までも賜はり

○おきに叔父様も會社よりお歸りになり一回打ちくつろいで、東京や大阪の話を賑やかにいたしました

○母が心配いたしました慈意の産婆さんに見てもらひましたところ、旅のさほりもなかつたこと

○母も喜びましてよろしく御禮申上げますやうにと

○留守中何かと御不自由のことと存じます

○皆さんが見違へるやうに大人になつたと驚いてゐられます

○此方のお家はどことなく古風で落ちついた感じがいたします

御送	附送	好物	運送	お受取り	託送	配運	送金	お申付け	爲替	同額	入用	お申し越
御送	附送	好物	運送	お受取り	託送	配運	送金	お申付け	爲替	同額	入用	お申し越
御送	附送	好物	運送	お受取り	託送	配運	送金	お申付け	爲替	同額	入用	お申し越

○今夜はつかれてもをりますので、取敢へず安着お知らせのみ
 ○いづれ落ちつき次第、おひきと申上げる事にいたしました
 ○おばあ様も御禮状さし上げたいとおつしやつていらつしやいます
 が、お疲れの御様子ゆゑ
 ○取りあへず代つて、私より御安着の御知らせ申上げます

品物到着通知の用語

○十二月十日鐵道便にお託しの木箱一個、菰包二個、今十三日午前
 たしかに到着
 ○御送附下され候 海苔二箱今三日たしかに拜受
 ○お届け下さいました花器無事につきました
 ○只今學校から歸つてまゐりましたら、小包が机の上のつてをり
 ました
 ○老父の何よりの好物とて早速頂戴いたしました
 ○御旅行先よりお送り下さいました見事なお盆、少しの破損もなく
 只今拜受
 ○日頃ほしいと思つてゐた品々をつくりお送り戴き何よりうれしく
 ござります
 ○小荷物三個只今丸中運送店より相届き
 ○荷拵へ十分にして頂きましたので少しの損じもなく
 ○お歳暮とお送り下さいましたお國の蜜柑只今到着、待ちかねて
 をりました子供たちもう大喜びにて
 ○山下様に御託送の數の子たしかにお受取りいたしました
 ○先日注文いたし候 改良天火、アルマイト二重鋼本日正にお受取
 いたし候 間御知らせ申上候
 ○おばあ様宛の小包只今到着、お好きな梅干飴が入つてゐたとて大
 變なお喜びやうでございます
 ○一郎にとて御送り下さいました自轉車、只今池袋驛より配達、早
 速庭を乗りまして一寸も手をはなせない様子、代つて私より
 取敢へず御受けの御禮申上げます

送金	送料	荷造	賣上	代金	急送	振替	別送	無駄	一應	出納	餘分
送金	送料	荷造	賣上	代金	急送	振替	別送	無駄	一應	出納	餘分
送金	送料	荷造	賣上	代金	急送	振替	別送	無駄	一應	出納	餘分

送金通知の用語

○うれしくて早速大急ぎで開けてみました
 ○右とりあへず御禮券と御知らせまで
 ○お父様のお申付けにより同封爲替にて二十圓お送りします
 ○こゝに六十圓の爲替券同封します
 ○これから暫くの間毎月私から同額つづお助けする事に
 ○もし又臨時の入用でもある時は、私の方へお申越下さるやう
 ○十圓の餘分は夏休みに歸る旅費として、お父様がお加へ下さつた
 のです
 ○受取つたらずく御禮をお出さないね(目下へ)
 ○序で結構ですから毎月の出納は一應お見せ下さいね(同)
 ○あなたのこと故無駄費ひなどするとは思ひませんが、お金の出し
 入れは上手にきちんとする習慣を今からつけておくことが大切で
 すから
 ○かねて購置中の婦人俱樂部前金切の御通知により本日別途振替に
 て金三圓也御送金申上候 間御受取の上引續き御送本被下度候
 ○電報拜見、とりあへず入院諸費用二百圓也病院あて電報爲替にて
 急送、御受取のことと存候が、その後の経過後報あり度
 ○先日御預りの毛糸の中、太糸十五ポンド中細八ポンド賣れました
 ので、代金九十二圓御送り申上げます
 ○残りの賣上代金は來月末計算後送いたします
 ○先日お送りのカタログにより十七號の椅子卓子一組求めたく候
 につき代金二十六圓、他に荷造送料三圓併せて二十九圓也爲替に
 て御送り申上候 間よろしくお取計らひ願上候
 ○封入の小爲替まことに輕少なから、恤兵獻金として

死亡通知の用語

瓶 把 本 枝 客 急 永 式 葬 神 本
 瓶 把 本 枝 客 急 永 式 葬 神 本

瓶 把 本 枝 客 急 永 式 葬 神 本
 瓶 把 本 枝 客 急 永 式 葬 神 本

數量の呼び方

○生花 一瓶 ○衣桁 一架 ○椅子 一脚
 ○糸 一把 ○掛 一掛 ○衣服 一枚 ○領 一領 ○製 一製 ○着 一着
 ○家 一戸 一字 一棟 一軒 ○葉書 一枚 一葉 ○袴 一具 一流
 ○パイオリン 一挺 ○蠟燭 一挺 一本 一束 ○荷車 一臺
 ○鉄 一挺 ○蠟燭 一挺 一本 一束 ○荷車 一臺
 ○花 一本 一枝 一朶 一輪 ○ハンカチーフ 一枚 一打
 ○鶏 一番 一羽 ○人形 一箇 一組
 ○荷物 一包 一駄 一荷 一箇 ○帽子 一箇
 ○胡蘿 一本 一把 ○筵 一本 ○本一冊 一部 一卷
 ○盆 一箇 一本 ○乾魚 一折 一串 ○ペン 一本 一打
 ○本箱 一箇 一本 ○部屋 一間 ○豆腐 一丁
 ○告別式 一口 一振 ○燈籠 一基 一張 ○豆腐 一丁
 ○於て相替むこと 箇 ○鳥 一羽 一匹 一番
 ○葬儀は明後二十八日午前十時
 ○遺骸は茶毘に附し候上、来る三月八日午
 ○により相替み申候 ○茶器 一組
 ○遺骸は茶毘に附し候上、来る三月八日午
 ○により相替み申候 ○茶器 一組
 ○寺にて本葬仕 候 ○地圖 一枚
 ○来る六日午後一時より三時迄自宅に於て佛式により牛
 ○仕 候 間 生前の御厚誼拜謝旁々御通知申上候 ○重箱 一組 一提
 ○舞町五番町 舞町教會にて、キリスト教式により告別式を相
 ○ます ○張 一垂 一張
 ○明後十三日午後一時出棺二時護國寺にて葬儀執行いたし候
 ○内々のものにて葬儀を相濟ませましたから、此段御通知申上
 ○げます
 ○供華放鳥の儀は故人の遺志により固く御断り申上げます
 ○お供物などの御心配御無用になすつて下さいませ

戸 流 冊 封 籠 軸 組 疊 對 贅 表
 戸 流 冊 封 籠 軸 組 疊 對 贅 表

戸 流 冊 封 籠 軸 組 疊 對 贅 表
 戸 流 冊 封 籠 軸 組 疊 對 贅 表

○机 一脚 ○鼓 一張 一丁 ○頭巾 一
 ○寢臺 一臺 ○茄子 一顆 一つ ○鬼 一
 ○牛 一匹 一頭 ○産着 一襲 一重 ○團扇 一
 ○魚 一四 一尾 一籠 ○海苔 一帖 一箱 一籠 ○鏡 一
 ○櫛 一條 一本 一筋 ○夜具 一組 一襲 ○卷紙 一
 ○槍 一包 一把 ○袱紗 一枚 一條 ○長持 一
 ○眞綿 一本 一管 一莖 一對 ○風呂敷 一枚
 ○筆 一本 一管 一莖 一對 ○風呂敷 一枚
 ○風呂 一据 ○風呂敷 一枚
 ○行李 一箇 一合 ○琴 一面 一張
 ○蝦 一折 一尾 ○鉛筆 一本 一打 ○手紙 一本
 ○手拭 一本 一筋 ○手袋 一組
 ○田地 一畝 一段 一町 一頃 ○雨戸 一
 ○砂糖 一袋 一口 ○魚 一尾 一匹 一種
 ○盆 一盞 一口 ○魚 一尾 一匹 一種
 ○金子 一封 ○芝居 一幕 ○雜誌 一冊 一部
 ○飯 一膳 一椀 ○詩 一首 一絶 一律 一篇
 ○寫眞 一枚 一葉 ○鹽 一升 一斤 一石 一
 ○障子 一枚 一貼 一册 ○書箱 一册 一奩
 ○書翰箋 一枚 一帖 一册 ○書箱 一册 一奩
 ○食卓 一脚 ○證書 一札 一通 ○ませうか
 ○火箸 一具 一對 ○書 一對 一揃 ○赤
 ○扇 一膳 一人前 ○離 一對 一揃 ○赤
 ○扇子 一對 一本 ○離 一對 一揃 ○赤
 ○線香 一束 一把 ○離 一對 一揃 ○赤
 ○鯨 一折 一人前 ○離 一對 一揃 ○赤

○妹の縁談につき一寸お目にか
 ○近日一度お宅へ参上いたし度存じますが

昭和十四年二月十一日印刷納本
 昭和十四年二月一日發行
 第二十卷 第二號
 婦人俱樂部二月號附錄
 發行所 大日本雄辯會講談社
 印刷所 中外印刷株式會社
 振替東京三三九〇番
 六三 議録

御送	好物	運送	取り受	託送	配達	送金	お申上	立寄	遠路	無駄	足	お慰
御送	好物	運送	取り受	託送	配達	送金	お申上	立寄	遠路	無駄	足	お慰
御送	好物	運送	取り受	託送	配達	送金	お申上	立寄	遠路	無駄	足	お慰

○今夜はつかれてもをりますので、取敢へず安着お知らせのみ
 ○いづれ落ちつき次第、おひくくと申上げる事にいたしました
 ○おはあ様も御禮状さし上げたとおつしやつていらつしやいます
 が、お疲れの御様子ゆゑ
 ○取りあへず代つて、私より御安着の御知らせ申上げます

品物到着通知の用語

○十二月十日鐵道便にお託しの木箱一個、菰包二個、今十さいですが
 たしかに到着
 ○御送附下され候 海苔二纏今三日たしかに拜受
 ○お届け下さいました花器無事につきました
 ○只今學校から歸つてまゐりましたら、
 ました

用語

○祖父の何よりの好出で下さいましたのに生憎と外出いたしをり、
 ○御旅行先は申譯なく
 ○只今立ち歸りますと思ひがけぬ御訪問を頂きました由、留守の者
 より承り
 ○私が夜家をあける事などほんとに無いことでございますが、昨
 夜は珍しく主人に誘はれてニュース映畫を見にまゐり
 ○あの吹き降りの中をお越し戴きひたすら恐縮に存じます
 ○久々にての御入らせ、お目にかゝりたうございました
 ○遠路のところめづらしきお越を私もお目にかゝらず
 ○留守居のものも気がき、ませんで ○無駄足おさせ申し
 ○どうぞこれにお慰りなく次の日曜日にはぜひお出掛け下さいませ
 ○お返事なればお出で下さるものとしまして、御馳走澤山拵へお待
 ちいたしをります
 ○この方お通りがかりの節は何とぞ御立寄り下さいますやう
 ○明日からは當分在宅のつもりですから
 ○不調法の段とりいそぎ御詫び申上げます

奇界子守唄

保美・獨唱

名曲集



○うれしくて早速大急ぎで開けてみました

- シューベルトの子守唄
- モーツアルトの子守唄
- クライスラーの子守唄
- ジョスランの子守唄
- フラームスの子守唄
- 日本古謡 子守唄

牛山 充先生曰く……

銀鈴を振るやうなとは、能く美しい聲の形容詞として用ひられる言葉であるが、美保嬢の聲は全く銀のフルートのやうな圓味と張りとを有つて、歌ひ出しから聴く人をうつとりとさせる。

誰の胸にもやさしい夢を思ひ起させる、美しい寶石の様な、キング自慢の藝術家です。

時 十 組枚
 美麗アバルム (加藤さまを先生装頓) 詩集附 (詩人謙幸先生解説) 五圓十五錢



ドーコ

昨冬末 加療中 今曉 他界 死去 客死 急死 永眠 告別式 葬儀 神式 本葬

○父恭二郎ことながく病氣でございましたが
○母やす子儀昨冬來腎臟病にて入院加療中のところ
○種々手當の甲斐もなく今曉三時遂に他界いたしました
○容態俄かに革まり今朝八時七十歳を一期として永眠致し候
○夫太郎儀病臥中の處養生相叶はず、本日午前八時二十分死去
仕候について
○長女百合子昨日俄かに發病今朝七時眠るが如く死去いたしました
○夫義夫儀先般來公務を帯びて東北地方出張中突然病を得、去る
七日午後六時山形病院にて客死いたしました
○弟孝雄こと今回北アルプス登山中不慮の災厄に遭ひ急死仕候
○病中一方ならぬ御配慮に預りましたこと厚く御禮申上げます
○生前一方ならぬ御厚誼にあづかり、わけて病中數々の御配慮を頂
きましたこと茲に厚く御禮申上げます
○八十三歳の高齡をせめてのあきらめと存じをります
○告別式は當人の希望により、來る五月十三日郷里長野市善光寺に
於て相営むことにいたします
○葬儀は明後二十八日午前十時より十一時まで青山齋場にて、神式
により相営み申候
○遺骸は茶毘に附し候上、來る三月八日午後二時四谷南寺町慈光
寺にて本葬仕候
○來る六日午後一時より三時迄自宅に於て佛式により告別式執行
仕候 間 生前の御厚誼拜謝旁々御通知申上候
○龜町五番町龜町教會にて、キリスト教式により告別式を相営み
ます
○明後十三日午後一時出棺二時護國寺にて葬儀執行いたし候
○内々のもので、葬儀を相濟ませましたから、此段御通知申上
げます
○供華放鳥の儀は故人の遺志により固く御斷り申上げます
○お供物などの御心配御無用になすつて下さいませ

堅實 校風 修業 年限 校名 所在地 洋裁 主義 主張 風習 贅澤 表裏

堅實 校風 修業 年限 校名 所在地 洋裁 主義 主張 風習 贅澤 表裏

學校選擇について問合せる用語

○御存じの妹道子近く女學校を卒業いたしましたので
○成績も相當で體もいたつて丈夫なので、先生は府立を受けさせて
はとお勧め下さいますか
○とかく世間は表裏のあるものでございますから
○校風堅實、費用のあまりかゝらない、修業年限四年の女學校を御
存じでございましたら
○御存じでしたら校名、所在地お教へ戴き度
○規則書など取りよせ 豫め研究してみたいと
○同校の主義主張のやうに内容も立派なものでございませうか
○生徒の風習はいかゞ、他校と比べて贅澤といふやうな事はござい
ませんでせうか
○何なりとお聞及びのことがございましたらお知らせ戴きたく
○同校卒業生に御知り合ひでもございましたら
○私共教育界のことについては、一向不案内でございませうので
○なるべくなら省線にて通學出来ますところを
○なほ學費の外に一ヶ月の材料費は凡そ何程かゝりませうか
○入學試験はどの程度 ○途中入學も叶ひませうか
○それらの事も併せてお伺ひ申したく ○寄宿舎の様子
○お手数おそれ入りますが御意見お聞かせ下さいませ
在宅の日を問合せる用語
○かねて御配慮願ひをりました例の件につき拜眉の上とくと御意見
承りたく
○久々にてお目にかゝりその後の御様子お伺ひいたし度く
○妹の縁談につき一寸お目にかゝり度存じます
○近日一度お宅へ參上いたし度存じますが

不案内	拜眉	御在宅	自家用	御住所	轉地先	紙片	紛失	見物	滞在	旅館	愉快
不案内	有眉	御在宅	自家用	御住所	轉地先	紙片	紛失	見物	滞在	旅館	愉快

○いつお伺ひいたしましたらお目にか、れませうか
 ○いつ参上いたしましたら御都合宜しうございませうか(目上の人へ)
 ○御引見願はれませうか(目上の人へ)
 ○おそれ入りますが御在宅の日時御一報頂き度
 ○お忙しいところ恐入りますが ○自家用にて恐縮に存じますが
 ○お差支ない日をお知らせ下さいませ
 ○折返しお都合お知らせ願ひ度 ○同封のハガキにて

住所を問合せる用語

○承りますればこの程山下先生この地に御住ひの由でございませう
 が御住所御存じでしたら先輩へ)
 ○香川絹子様御結婚遊ばし東京にお住ひと伺ひましたが
 ○御存じでございましたらお教へ下さいませ
 ○先日お 妹様の御轉地先を伺つて書留めてまりました紙片紛失
 いたし(目上の友達へ)
 ○國許の姉が上京いたし淺岡良子様お訪ね申上げたいと申します
 が、御宅はやはり以前の小石川原町でございませうか
 ○御保養先今一度お教へ下さいませ
 ○花田和子様に出しました同窓會通知御轉居先不明にて、返つてま
 りりましたが新御住所御存じならば

旅館を問合せる用語

○早速でございますが母が保養のため、二三日箱根に参りたいと申
 しますので
 ○両親打ちつれ東京見物に出たいと申しをりますが
 ○妹が上野の音楽學校受験のためこのほど上京いたしますにつき
 ○然るべき宿につかせたいと存じますので ○親切な宿にて
 ○一ヶ月位滞在の豫定 ○出入りに便利なところ

御近所	共同	運賃	荷造り	何程	發送	見本	編賃	便宜	割引	吟味	講座
御近所	共同	運賃	荷造り	何程	發送	見本	編賃	便宜	割引	吟味	講座

○静かにてあまり費用のかゝらぬ旅館
 ○子供づれの事故なるべくお恰好にて、混雑しない宿屋をと願ひ
 ○あなた様は度々御上京にて、自然御懇意の旅館もおありのことと
 存じますので

値段を問合せる用語

○左記のことお電話にてもお問合せの上、お知らせ下さるやうお願
 ひいたします
 ○昨冬は大層よい白菜をお送り下さいまして大喜びいたしました
 ○御近所七八軒共同にて二十俵ばかり求めたく存じます
 ○運賃も加へて何程か、りませうか、又いつ頃發送になりませう
 か、御手数恐れ入りますがお調べの上お知らせ下さいませ
 ○御地名産若狭巻煙草セット七組求めたく
 ○せいゝ勉強して戴き度存じ候
 ○見本帖二七號の毛糸にて男子用スエター編んで戴きたく存じます
 が、編賃共にて何程か、りませうか
 ○なほ月賦拂ひの便宜も有之候はゞ、序にお知らせ願上度
 ○期日もせまりをりますので折返し御一報願上げます
 ○御面倒ながらなるべく御早く御返事下さいませ
 ○いくらか割引いて ○品はせいゝ吟味して戴いて

書物を問合せる用語

○早速ですがこの頃柄にもなく支那語のラヂオ講座をきいてゐるの
 ですけど、日支會話の本はどんなのがよろしいでせうか
 ○妹の安子が専檢をうけたいとて、大變に意氣込んでをりますの
 で今から勉強させ度

倫理	隨筆	化學	物理	植物	動物	地理	歴史	公民	漢文	專檢	全集
倫理	隨筆	化學	物理	植物	動物	地理	歴史	公民	漢文	專檢	全集
倫理	隨筆	化學	物理	植物	動物	地理	歴史	公民	漢文	專檢	全集

○漢文と公民のよい参考書二三御教へ下さいませ
 ○初心のものにもわかるやうに書かれた本
 ○歴史とか地理とかその他何かにつけて、子供の質問にこたへられるやうな手頃な家庭百科全書がほしいと存じ
 ○お忙しいあなたをお煩はししては相済みませんが
 ○田舎では本はほんたうに求めにくうございまして
 ○一向にふだんその方の事は氣をつけてをりませんので
 ○どうぞお序の時お知らせ下さいませ
 ○お手數恐れ入りますがお教へ戴きたう存じます

忘れ物を問合せる用語

○昨日は長時間お邪魔いたしました、その節古びた子供帽子お支關に忘れて歸りましたやうに存じ ○輕率にもつい失念
 ○黒地纏子張男持洋傘お見當りでございましてらお知らせを戴き度
 ○いつもながらの粗忽者とさぞお笑ひ遊ばしたとお恥しく
 ○今日用事があつて外出しようとして、一昨日何處かへ手袋忘れて來たことに氣づきました
 ○忘れる位故忘れ場所もわからないのでございませが
 ○あんまりうつかりなのに自分でもをかしくなります
 ○不注意の段おはづかしく存じます
 ○この使にお渡し下さいませ ○お邪魔ながら暫らくお預りおき
 ○どうぞこの次お伺ひいたす迄お預りおき下さいませ
 ○わざわざお届け下さるには及ばず、此方より頂きに參上いたします ○どうぞお届けは下さいませぬやう

荷物の着否を問合せる用語

○先日御依頼の浴衣一反、一週間前小包二個にわけてお送り申上げましたが

行商	廣告	着否	未着	追加	柄合	荷拵	書留	浴衣	粗忽者	全書	百科
行商	廣告	着否	未着	追加	柄合	荷拵	書留	浴衣	粗忽者	全書	百科
行商	廣告	着否	未着	追加	柄合	荷拵	書留	浴衣	粗忽者	全書	百科

○お手元に届きましたでせうか ○御受取下さいましたでせうか
 ○いづぞやからお頼まれしてました伯母様咳のお薬、一昨日漢薬屋に參り直接お送りするやう申しつけましたか
 ○女中がうっかりして書留になかつたと申しますので
 ○間違ひなく届いたかどうか心配で(目下へ)
 ○御入手下さいましたでせうか、心許なく存せられ(目上へ)
 ○荷拵へは十分丁寧いたしましたつもりですが、途中損じもなく着きましたでせうか
 ○父が育てました苗ゆゑ特にいたはる氣になり、お訊ねいたします
 ○柄合などお氣に召しませんやうでございましたら、御遠慮なくお返し下さいませ
 ○損じてをりましたら追加してお送りいたしますから
 ○未着なれば早速店の方催促いたします故
 ○御伺ひまで ○着否御たづね旁々御意をお伺ひ申上げます

雇人の身元を問合せる用語

○大變御迷惑なお願ですが少々おたづね申上げたことが
 ○先頃或方より宅の書生にと若い人をお頼まれたのですが
 ○周旋屋より女中さし向けてくれましたが
 ○小店員募集の廣告を見て雇はれたいとてまゐりました少年ですが
 ○一通り目はしも利き健康らしく見られますが
 ○出來ますことなら身元確かに承知しての上で取りきめたいと存じ
 ○名前は松川ひなと申します ○父親は魚の行商致しをります由
 ○幸ひあなた様のお家とは近く高山村の生れと申しますので
 ○圖らずもあなた様以前のお教へ子と伺ひ
 ○本人はあなた様御一家をよく存じ上げてゐる由で
 ○もしやあなた様本人を御承知でいらつしやいましたなら
 ○御近所の事自然御聞及びの事どもございましてらお知らせ戴き
 ○雇入れた上はななるべく長く使ひたいと存じ

持参	生花	立華	投入	藤花	稽古	紹介	入門	先達	心當	召使	買直
持参	生花	立華	投入	藤花	稽古	紹介	入門	先達	心當	召使	買直
持参	生花	立華	投入	藤花	稽古	紹介	入門	先達	心當	召使	買直

お花の先生に紹介する用語

○この番持参の方は私の親友で
 ○書中失禮ながら友人の娘山崎花子さんを御紹介いたします
 ○今度生花のお稽古をはじめたいといはれますので
 ○生花はかなり稽古をつんでゐられるのですが、少し投入を習つて見たいとのことで
 ○ぜひ先生の御教へをうけたいとのことで御座いますので
 ○かねて先生のお名前を承り、ぜひ入門させて戴きたいと申し居られましたから
 ○今度の月曜日にそちら様へ伺ひ、直接いろいろお聞きになるやう申しおきましたから
 ○私同様どうぞよろしくお導き下さいますやう

女中を紹介する用語

○先達お話のございました女中のことでございますが
 ○心當りがございまして御紹介申し上げます
 ○宅で召使つてをります者の妹でございますが
 ○郷里の先生より託されました娘でございますが
 ○只今私の郷里福井市在住にて十八歳
 ○然るべき方へ御奉公いたしたき希望にて
 ○この者はもう三年ほど實直に働き性質もまことによろしく
 ○人柄としてはまづ／＼申分なきやう存せられ
 ○體はいたつて丈夫 ○言ひつけた事はよく守つてくれ
 ○私宅にて少し手傳ひいたさせましたところ
 ○長年御隠居様にお仕へいたしをりました様子
 ○子供たちの面倒を大變よく見てくれますので
 ○身元は私共で保證いたします

近目	科耳	齒科	内科	産科	小児科	兆候	お仕	御長	家風	保証	身元
近目	耳鼻科	齒科	内科	産科	小児科	兆候	お仕	御長	家風	保証	身元
近目	耳鼻科	齒科	内科	産科	小児科	兆候	お仕	御長	家風	保証	身元

醫者に紹介する用語

○御家風にあふやうお氣長にお仕込み下されば
 ○お墓所にお使ひ遊ばすのでしたらきつとお氣に召すだらうと
 ○御宅様のお希望にも近いやう存せられますので
 ○お宅様のやうなところで使つて戴ければ、さだめし本人も仕合せいたすことと
 ○御給料なども澤山頂くことを望みませす
 ○將來主婦として役立ちますやう、御行儀その他お仕込み戴きたいと申しをります故
 ○どうか本人におあひ下さいましていろいろお聞とり下さいませ
 ○お給金は七八圓で結構と申をります
 ○もしお使ひ下さいますやうなれば早速によびませ御目見いたさせます

○今度こちらに御轉任になりましたばかりで、何かと御相談申上げる小児科先生を探してをられますので
 ○先生を御紹介いたし、私の名刺さし上げておきました
 ○今年七歳のお子様がどうもお顔色が悪く、此項目に立つてお元氣がないので大變御心配になり
 ○この春御結婚なすつばかりでございますが、どうもお目出度い御兆候らしいので
 ○どなたかよい小児科の先生をと申されますので
 ○一度先生の御診察をおうけになつてはと、お勧めいたしましたところ
 ○私、先年の難病も先生の御蔭にて快治いたしましたことをお話いたしましたところ
 ○ついでには先生にとくと御診察を願ひ
 ○近日そのお子様をつれて病院の方へ上ること存じます
 ○どうぞその節にはよろしくお願ひ申上げます

春の用語

春寒

餘寒

立春

早春

春暖

日増

鶯

小鳥

日毎

雛祭

花の

花の

○春寒の砌 ○餘寒の候 ○餘寒殊の外きびしく
○餘寒去りやらず候 折柄 ○いつまでもお寒いことで
○多がまたあと戻りしたやうなこのお寒さ
○春になつて却つてお寒さが増したやうに思はれますが
○春寒凌ぎがたく候 折から ○桃のお節句も近づきましたのに
○立春とは申しながら何とまたお寒いこととございませう
○春とは名のみ昨今の厳しさ、わけても御地はまだ、寒さもきび
しうございませう

○早春の候 ○春暖の候 ○寒氣ゆるみ
○暖氣相催し候 折柄 ○大分春めいて参りました
○追々暖かくなつて参りましたが
○海邊に近いお住居は定めし寒氣も和いで
○日増しに暖かくなりまして、お子供さん方もお喜びでございませ
うね

○雪も溶け路の藪の見えかくれする今日この頃
○一雨ごとに暖かく相成り候ところ
○樹々の梢に蕾ふくらみ、春も眼に見えて近づきました
○なんと申しても春は春、氣候も大分おだやかになりましたやうで
○海は青く、丘には夏蜜柑が黄金色に色づいてゐるし、来てよかつ
たと思ひますの

○この二三日漸く寒氣もゆるみ
○四方の山々もだん／＼春めいてまゐり
○ついこの間まで寒いと申して居りましたが
○もう野も山もすつかり春になりましたわね
○春めいて参りましたが氣候の變り目にお惱みの御持病は如何かと
○けさ鶯の初音を聞きました
○今、小鳥が庭の梅の枝にきて啼いて居りますのよ

元

草花

櫻花

爛漫

早咲

満開

花見

桃花

春雨

筍

茶摘

青麥

花の

○空の色に、毎にふくらむ梅の蕾にも、心からのびやかさを覺は
○いつしか草の芽のフレッツシユな緑が地に萌え初めて
○春寒の候、○のどかな春になりました
○寒い／＼と申してゐる中にもうお雛様のお仕度ですのね
○お雛祭の間に合ふやうにと思つて、このお手紙と一緒にお人形を
○美子ちゃん、今年もまた新しいお人形を買つて戴いたんでせう
○春陽麗かに花の季節と相成り申候

○この雨が過ぎましたら、きつとちきに櫻も咲きますでせう
○窓の陽さしも明るく今日は近頃にない穩かな春日和で
○もうそろ／＼花の噂を聞く頃になりましたが
○私のところのチューリップもやつと青い芽を出し初めてまゐり
○お花好きの叔父さまは、毎日草花いちりをお初めになつて
○もうちきにまた櫻が咲くやうになるでせう
○この三四日のお暖かさで上野の花も間もなく開々かと存じ
○櫻花爛漫の折柄 ○もうすつかり春でございませう
○當地では早咲きの櫻かも早や満開にて
○昨今の陽氣では満開も近いことと存じ上げ
○庭先の櫻も今が丁度三分咲きといふところとございませう
○本年もお花見の集りが催されて
○出征兵士方の勞苦を思へば花見も遠慮してと

○十五日頃が丁度お花見には好都合でございませうから
○圓山の櫻も老木ながらほつ／＼と咲き初めて
○近村はもう櫻や桃の眞盛りで
○春雨にけぶる山にほんのりと薄紅の櫻が盛り上つて見え
○父が大事にしています竹藪にもう筍が出るやうになりました
○花の噂に人の心も浮き／＼する折柄
○第三日曜の帝都の花見の人数は四十萬とか申しました
○遠近の山はうら／＼と霞みわたたりて心浮き立つた

○御家風にあふやうお氣長にお土ふた下されば

手本

くづし字手

手紙常用語

手紙常用語

書出しの用語

先方の安否を問合せる用語

御無沙汰の御詫の用語

結びの用語

協附、追て書ける用語

自他の呼び方

時辰見舞の用語

春の用語

夏の用語

秋の用語

冬の用語

新年、年末の用語

縁談、結婚の用語

結婚の用語

お祝と返事の用語

出産祝の用語

初節句祝の用語

同 通知とお祝の用語

お目にもかゝりませんのに、誠に無様でございますが
高塚竹堂
服部嘉香

中等學校入學祝の用語

卒業祝の用語

就職祝の用語

就職祝の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

同 通知と返事の用語

〇返書は、おくれまして誠に相済みません
五月十一日附のお手紙、只今拜受いたしました



生 持

拜 啓

謹 啓

一 筆

取 急

手 紙

葉 書

略 儀

幸 便

突 然

唐 突

無 禮

8)

春 寒

書 出

書 出 しの 用 語

一 般 の 書 出 しの 用 語

有 然 一 筆 取 急 手 紙 葉 書 略 儀 幸 便 突 然 唐 突 無 禮

- 拜啓 ○謹啓 ○肅啓 ○啓上 ○拜呈
- 一筆申し上げます ○一筆しめし上げまらせ候
- 文して聞え上げ候 ○書中を以て申上候
- 取急ぎ手紙にて申し上げます
- 葉書で失禮でございますが ○葉書で御免下さいませ
- 略儀ながら葉書にて申上候
- 手紙にて申し入れ候(目下に對して)
- 人に手紙をとつてる時には、
- 幸便に託して申し上げます ○好便に任せ申します
- 弟に持参いたさせ ○清子に託して一筆しめしまらせ候
- また、親しい間柄に對しては、
- 父上様 ○伯母様 ○姉上様 ○園田先生
- おなつかしき雪子様
- といふ風に、また同輩や目下、心安い人には、
- 承りますれば ○先達てのお話は
- 昨日は失禮いたしました
- 先日はお忙しいところを長時間お邪魔致し
- 昨夜はおそくまで、なが〜とお邪魔申上げ
- この度はいろ〜と御配慮にあづかりまして
- といふやうに、すぐ用件を切り出すこともあります。

初 め て 手 紙 を 出 す 時 の 書 出 し

身 元

才 元

再 度

御 覽

恐 縮

御 通 知

申 上 候

前 略

前 文

御 免

早 速

拜 復

無 禮

再 度 御 覽 恐 縮 御 通 知 申 上 候 前 略 前 文 御 免 早 速 拜 復

○御家風にあふやうお氣長にお仕込み下されば
 ○お臺所にお使ひ遊ばすのでしたらきつとお氣に召すだらうと
 ○お臺所にお使ひ遊ばすのも近いやう存せられますので
 ○色に、毎にふくらむ梅の蕾にも、心からのびやかなさを觀せ

○誠に突然に、候の候 ○のどかな春になりました
 ○だしぬけに先、い〜と申してゐる中にもうお雛様のお仕度ですのね
 ○突然手紙を、お雛様の間に合ふやうにと思つて、このお手紙と一緒に
 ○重ね
 ○度々
 ○先日の
 ○度々申上げ
 ○二月十日附の手紙 御披見下され候、まして
 ○重ねてお願ひ申し上げるのでございますが
 ○かねて御通知を差上げましたやうに

前 文 を 略 す 時 の 書 出 し

- 前略 ○前文お許し下さいませ ○前略御免下され度候
- 慶巾や見舞の手紙などには時候の挨拶は書かないのが普通で、
- 承りますれば ○承り候へば ○千代子様から伺ひますと
- また、急ぎの手紙には、
- 早速ながら ○早速でございますが
- 取急ぎ手紙にて申し上げます ○誠に突然ながら
- といふ風に、すぐ用件に入つてもよいのです。

返 事 を 出 す 時 の 書 出 し

- 拜復 ○拜啓 ○取急ぎお返事申し上げます
- お手紙有難うございました ○お手紙拜見いたしました
- 御文たまはり ○おなつかしき御文拜見いたしました

新日本女性

百萬人の合唱

さあ長期建設に
心を合せ手を握
り進め、日本の
女性軍！

東洋平和の礎を
築くは今ぞこの時ぞ
無駄を省いて質實に
護る家庭に、輝くは

國策商品

みやぶ染

家庭染料

みやぶ染



お洗濯には

★獨乙の特許權を日本で買つて出來た
のが、このワツセンです、石鹼の色
色の缺點を一掃したところに特許の
價值があるのです、石鹼とどんなに
異ふか一度お試し下さい、二度と石
鹼は使へません

★本品は特に毛織物スフ類の洗濯に適
し家庭でクリーニングが簡単に出來
ます、毛布、シヨール、洋服、男女
學生服、婦人服等ぜひ一度お試し下
さい、洗ひ染えの素晴らしさと經濟的
な事にビックリされます

本舗 株式会社桂屋商店
東京市日本橋區小舟町一

小 三、三五セン
大 一、二〇セン

全國藥店ニアリ

特許 三ヤコ ワツセン

特許ホルモンの配合
強力栄養クリーム

クブラブ美身クリーム

この強力性能

★
肌の若返りに...

小じわ・たるみをとるホルモンの威力にほどなたる感

★
アレ止めに...

お勝手・お洗濯・お掃除などの冷たい水仕事の後にクブラブ美身クリームをつけると、お顔や手が決してアレません！ホルモンや脂肪分が肌の中へぐんぐんしみこんで強力な保湿作用をするからです。



★
手の美容に...

手は人からをあらはれま

★
健康化粧に...

お化粧のコツはクリーム一つ！まづクブラブ乳液で肌の脂や汚れをとり、次にクブラブ美身クリームをのばし、そこへクブラブはき白粉をつけると、肌によい健康化粧が手早く出来ます。



第第

お気に召すたらうと

MADE IN NIPPON (JAPAN)

びやかさを覺え
箱にお
たんでせう